

# 令和5年度 SAFEアワード 取組事例集



# 目次

1. はじめに	3
2. 事例一覧	4
3. 転倒災害防止部門	13
4. 腰痛予防部門	24
5. 安全な職場づくり部門	36
6. エイジフレンドリー部門	71
7. 企業等間連携部門	78

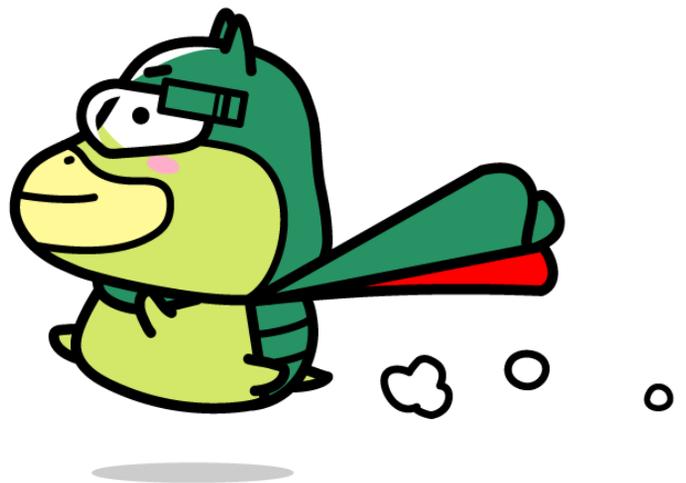
# 1. はじめに

「SAFEコンソーシアム」※では、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組事例を募集し、表彰することで、優良な取組を進める職場の「見える化」を図り、企業・労働者による更なる取組を促進することを目的として「SAFEアワード」を実施しています。令和5年度には次の部門別に応募いただき、一般投票等を経て優良事例が選出されました。

- ・ 転倒災害防止部門
- ・ 腰痛予防部門
- ・ 安全な職場づくり部門
- ・ エイジフレンドリー部門
- ・ 企業等間連携部門

※ 労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし、いま、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒などの労働者個人の身体機能が影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。

## 2. 事例一覽



## 転倒災害防止部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	やってみよう！かんたんセルフチェック～転倒に強い体づくり～	花王株式会社	製造業	300～
2	安全活動のデータベース化「みんなの“いいね”集」による転倒災害防止	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
3	効果絶大!!職員で作る転倒防止ハザードマップ	社会福祉法人東北福祉会	保健衛生業	300～
4	『転倒危険マップ』の作成で転倒災害の防止と思いやりの心を広げる	社会福祉法人宮城福祉会	保健衛生業	300～
5	職員の転倒事故を無くし、安心して働き続けられる職場にしよう！	みやぎ生活協同組合	小売業	300～
6	転倒危険箇所マップで転倒予防	社会福祉法人みゆき福祉会	保健衛生業	100～299
7	安全基本行動の実践による行動災害の防止	JFEスチール株式会社	製造業	300～
8	転倒災害ゼロに向け、転倒災害予防研修を全事業場統一的に実施	独立行政法人国立印刷局	製造業	300～
9	体力年齢測定会 転倒リスク・筋力アップのリテラシー&モチベーション向上！	ユニ・チャーム株式会社	製造業	300～
10	強アルカリイオン電解水の活用により安全性を重視した床面洗浄作業を実現	株式会社ビシステム・クリーン	清掃業	100～299
11	転倒防止! 豆知識クイズ	CP成田株式会社 ANAクラウンプラザホテル成田	宿泊業	100～299
12	転倒災害防止!!オンリーワンの啓発活動	深田サルベージ建設株式会社	建設業	300～
13	転倒防止セミナー開催による転倒災害防止への取り組み	KMバイオロジクス株式会社	製造業	300～
14	コンクリート打設前の鉄骨階段の段差解消と見える化による転倒災害防止	東洋建設株式会社 東北支店 アイ・テック北上工場 新築工事	建設業	50～99
15	転倒災害防止・腰痛予防への取り組み	三輝機工株式会社	建設業	10～29
16	ヒヤリハットシールの活用によるヒヤリハット体験の見える化	東洋建設株式会社 九州支店 東洋・みらい特定建設工事共同企業体 令和3年度鹿児島港(谷山二区)係留施設築造工事(第2次)	建設業	30～49



## 腰痛予防部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	腰痛予防!!従業員の体力と動作へアプローチ 20年間の取組みで休業者減少	JFEスチール株式会社	製造業	300～
2	重量物の平行移動で腰への負担軽減!	株式会社 ササキ 宮城本部	製造業	100～299
3	ペガサスが腰痛を徹底サポート～医師・理学療法士・作業療法士が専門性を活かして～	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	300～
4	オンラインストレッチ 全国・在宅勤務の社員も参加! 正しい座り方と腰痛予防を学ぶ	ユニ・チャーム株式会社	製造業	300～
5	腰痛防止対策!身近な建設資材の重さは?	株式会社 竹中工務店 北関東支店 高田製薬株式会社北埼玉工場2号棟建設プロジェクト	建設業	100～299
6	腰痛災害防止のための介護設備・機器導入(ナザレの家あさひ)	社会福祉法人ロザリオの聖母会	保健衛生業	300～
7	全スタッフがポジティブ参加「腰痛(コシータ)to腰楽(コシラック)」で予防促進!	社会福祉法人同塵会 特別養護老人ホーム日野サザンポート	保健衛生業	50～99
8	介護の標準化とテクノロジーを活用した腰痛予防の取り組み	社会福祉法人杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館	保健衛生業	50～99
9	ササキが考えるDEI(それぞれが公平に尊重されるために必要な仕組みづくり)	株式会社ササキ	製造業	100～299
10	立ち仕事もへっちゃら腰痛防止マットと机のかさあげ	株式会社ササキ	製造業	100～299
11	セルフケア+福祉用具活用で腰痛予防	社会福祉法人 愛宕福祉会	保健衛生業	300～
12	NO!腰痛!NO!!労働災害!!腰痛等労働災害のない福祉施設を目指して	社会福祉法人宣長康久会ささづ苑	保健衛生業	100～299
13	業務の中に運動を取り入れ、持続性の強化を図る!	医療法人 医誠会	保健衛生業	300～
14	保育現場における腰痛予防への取り組み～専門家と共につくるAiko体操を通して～	社会福祉法人 愛耕福祉会	保健衛生業	50～99
15	イオン北海道オリジナル準備運動で体も心も準備OK!	イオン北海道株式会社	小売業	300～
16	腰痛や肩こり予防への取り組み	大洋建設株式会社	建設業	100～299
17	法人内研修資料を活用した安全衛生活動～介護のボディメカニクス8原則等の周知～	社会福祉法人生活クラブ	保健衛生業	300～
18	腰をかがめない作業姿勢の確保による腰痛防止	株式会社 日本ネットワークサポート 播磨工場	製造業	50～99
19	「全体」「個別」アプローチの組み合わせで腰痛予防の推進	社会福祉法人あかつき福祉会	保健衛生業	100～299

## 安全な職場づくり部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	言語や文化の多様な外国人介護職員への安全衛生対策の「見える化」	社会福祉法人 蓬愛会	保健衛生業	300～
2	安全な職場環境を自律的に創る店舗安全推進活動	株式会社カインズ	小売業	300～
3	正しい作業手順を動画で理解し、労働災害防止へ	マックスバリュ東海株式会社	小売業	300～
4	動画マニュアルで標準化（全国30拠点以上）	ASKUL LOGIST株式会社	運輸業	300～
5	セーフティシューズで安全・安心！ 従業員を「挟まれ事故」から守ろう！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
6	全員参加のヒヤリハット！ みんなの職場をみんなで守ろう！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
7	こまめな水分補給で熱中症予防	社会福祉法人みゆき福祉会	保健衛生業	100～299
8	激突!! ドアの向こうに危険！～ワッと、ヒヤッとを防止せよ～	日東精密工業株式会社	製造業	100～299
9	安全ミニ動画活用による類似災害、重篤災害の防止	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
10	フィールド安全推進事例の紹介	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
11	「SOMPOひまわり体操」制作・健康応援セミナー開催で安全衛生強化！	SOMPOひまわり生命保険株式会社	金融業	300～
12	意識から変えよう「ご安全に」活動	イオンリテール株式会社	小売業	300～
13	可視化がポイント！ 同種災害は二度と発生させない	イオンリテール株式会社	小売業	300～
14	みんなで考えよう！ 労災防止委員会の設置と実施	イオンリテール株式会社	小売業	300～
15	グッドコンディション体操～少しでも みんなで 楽しく継続できる運動習慣づくり～	株式会社IHIエスキューブ	通信業	300～
16	e-ラーニングを活用し、安全衛生年間教育を実施！	株式会社カクヤス	小売業	300～
17	芸能界を安全安心で快適な職場に改善する「耳で聞く安全衛生♪」ポッドキャスト番組	一般社団法人日本芸能従事者協会	その他	100～299
18	組織での再発予防～介護を続けるための復帰プロセス～	社会福祉法人 彩光会 あけぼの	保健衛生業	100～299

## 安全な職場づくり部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
19	ちょっとした工夫と気遣いで、もう「痛い」思いはしません！	社会福祉法人三育ライフ シャローム若葉	保健衛生業	100～299
20	DXを活用した 安全衛生週間スローガン啓蒙活動	株式会社ササキ	製造業	100～299
21	みんなで城のぼり 楽しく体づくり 安全で健康にたてものづくり	藤原工業株式会社	建設業	10～29
22	ヒヤリハット報告の簡易化と対策のスピード化による労働災害未然防止	イオンリテール株式会社 北陸信越カンパニー	小売業	300～
23	利用者と一緒に運動習慣と介護予防～ペガサス健康クラブ～	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	300～
24	実行力を高める！安全教育（教育コンテンツの漫画化と動画化）	ロイヤルホームセンター株式会社	小売業	300～
25	23上期労災ゼロ月間の取り組み	京都生活協同組合	小売業	100～299
26	「Workplace」を利用した動画KYによる危険感受性の向上	株式会社 L I X I L 有明工場	製造業	300～
27	危険感受性を高める充実の活動を！～安全・全員参加型・職場密着【現場KY】～	KMバイオロジクス株式会社	製造業	300～
28	マグネット式パトライトでヒヤリハットを未然に防ぐ！	中山機械株式会社	製造業	50～99
29	反転しても外れない！ボルト留めの角当てで落下を防ぐ	中山機械株式会社	製造業	50～99
30	維持管理上の安全べんり表示	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
31	外国人就労者の言語能力の見える化	株式会社竹中工務店 東北支店 ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所	建設業	100～299
32	作業員入場シールによる識別	株式会社竹中工務店 東北支店 ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所	建設業	100～299
33	多目的アスレチックコーナーの設置	株式会社竹中工務店 東北支店 ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所	建設業	100～299
34	北海道でも油断大敵！熱中症防止対策！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
35	コミュニケーションで心の健康を	社会福祉法人みゆき福祉会	保健衛生業	100～299
36	災害事例を活かした危険予知、リスクアセスメントの活性化	株式会社フコク	製造業	300～

## 安全な職場づくり部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
37	粗相ゼロ！～男性従業員の安心とトイレの清潔を守る～	カジマメカトロエンジニアリング株式会社 川越事業所	製造業	100～299
38	安全・5Sパトロールの実施～事故を未然に防止するために～	株式会社 鐵建	製造業	50～99
39	KY・ヒヤリハット報告の表彰～事故を未然に防止するために～	株式会社 鐵建	製造業	50～99
40	安全見える化活動	神鋼鋼板加工株式会社	製造業	50～99
41	労働災害防止 オリジナルポスターの作成	北野建設株式会社	建設業	300～
42	建築現場における危険予知活動の実施	ミサワホーム株式会社	建設業	300～
43	業務時間内の仮眠を推奨する「パワーナップ制度」	株式会社OKUTA	建設業	100～299
44	お客様や就活生等に対し、河本工業の安全衛生活動を効率的にアピールしたい	河本工業株式会社	建設業	100～299
45	「3分KY運動」「セーフティリボン運動」の更なる進化を図るための活動	大洋建設株式会社	建設業	100～299
46	高所作業車上昇時の「挟まれ防止ブザー」使用による挟まれ災害防止	東洋建設株式会社 関東建築支店 東洋・川口土建特定建設工事共同企業体 加須市上樋遣川倉庫新築工事	建設業	50～99
47	地域にマーケットインする安心安全な現場づくり	株式会社萩原工業	建設業	10～29
48	労働安全衛生ニュース - 労災特別号 - の発行	イオンリテール株式会社	小売業	300～
49	みんなに伝わる安全の見える化	株式会社トーコン	運輸業	300～
50	ヒヤリハットの活性化活動	親和エンジニアリング株式会社	電気通信工事業	10～29
51	事故0を目指して ～現場の見える化～	株式会社西行土木	建設業	50～99
52	事故0を目指して② ～現場の見える化～	株式会社西行土木	建設業	50～99
53	作業所独自ルールの取り決めと「見える化」による安全職場づくり	東洋建設株式会社 名古屋支店 令和3年度 設楽ダム設楽根羽線3号橋左岸下部工事	建設業	10～29

## 安全な職場づくり部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
54	バッテリー式運転車両の警告音の変更による安全性の向上	株式会社日本ネットワークサポート 佐野工場	製造業	50～99
55	フォークリフトへの「スピード警告装置」の取付けについて	株式会社日本ネットワークサポート 滋賀工場	製造業	50～99
56	みんなで工場をキレイに！ 「滋賀工場クリーン運動／4S」の取組み	株式会社日本ネットワークサポート 滋賀工場	製造業	50～99
57	施設（館内）事故防止のための危険個所調査	社会福祉法人 川福会	保健衛生業	300～
58	「IDガードマン」設置による、重機との接触災害防止	東洋建設株式会社 四国支店 金磯岸壁改良工事	建設業	10～29
59	社員の健康と命を守る経営【熱中症対策】重傷者0を継続する取組	リライアンス・セキュリティー株式会社	警備業	100～299
60	熱中症危険予報シートで熱中症対策 暑熱環境作業の多い職場における細やかな声掛け	KMバイオロジクス株式会社	製造業	300～
61	保護具着用宣言！～保護具着用の動機付けは毎朝礼時の自己申告スタイルで～	KMバイオロジクス株式会社	製造業	300～
62	障がいのある人ない人が働ける安全な職場づくり	オムロン太陽株式会社	製造業	50～99
63	入口ドアに室内の開口部深さを表示することによる安全意識の向上	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
64	落下防止網の取付によるマンホール作業時の安全対策	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～



## エイジフレンドリー部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	エイジフレンドリーな職場の現実に向けて～シニアの健康対策～	株式会社サッポロライオン	飲食業	300～
2	体力測定で健康促進に繋げる環境づくり	社会医療法人ベガサス	保健衛生業	300～
3	気づきを工夫に改善に！ 経験や年齢層を超えて創る安全職場	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	300～
4	かご台車の改善による高齢者の作業性向上	株式会社 ササキ 宮城本部	製造業	100～299
5	いつまでも元気に働くために！ 高齢作業員のリスク認識の為にポスターを作成、掲示	清水建設株式会社 東京支店	建設業	300～
6	造園業者が開発した 身体能力テスト フィールドワークポテンシャルテスト	株式会社バンブー苑	建設業	10～29
7	高齢者を含む多様性を考慮した健康経営	オムロン太陽株式会社	製造業	50～99
8	多様な人が働く職場での転倒防止	オムロン太陽株式会社	製造業	50～99



## 企業等間連携部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	イオン1分間体操	イオンリテール株式会社 × 日本理学療法士協会	小売業ほか	300～
2	ピラティスの要素で「正しい身体の使い方」を学ぶ！	ANAホールディングス株式会社 × 有限会社マスタートピースコンソート	運輸業ほか	300～
3	転倒リスク計測・予防セミナー ～運動へのきっかけを作り、コケない身体づくりへ～	シャープ株式会社 × UNTRACKED株式会社 /株式会社ユーフォリア	製造業ほか	300～
4	転倒災害リスク低減を目指して！(株)ルネサンス様と新しい体操を開発！	一般財団法人 サンスター財団 × 株式会社ルネサンス	製造業ほか	300～
5	2023西濃 STOP！転倒災害プロジェクト	一般社団法人大垣労働基準協会 × 大垣ミナモトソフトボールクラブ	その他	1～9
6	労働災害防止のための体づくり＆運動習慣のきっかけづくりイベントの開催	株式会社ケーズホールディングス × 株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント	小売業ほか	300～
7	地域保健と職域保健の連携に基づく骨健康度測定会開催	生活協同組合ユーコープ × UNTRACKED株式会社、 神奈川県労働局、神奈川県、横浜市	小売業ほか	300～
8	現場従業員の体調のヒヤリハットを防ぐ！ミカサ金属様におけるフィジカルサポート革命	ミカサ金属株式会社 × 株式会社ユーフォリア	製造業ほか	50～99
9	(株)名古屋銀行様との行員様＆お得意先様の健康応援の取組	株式会社名古屋銀行 × ミズノ株式会社	金融業ほか	300～
10	ハマロードサポーターへの参加	大洋建設株式会社 × 横浜市戸塚土木事務所	建設業ほか	100～299
11	VR機器を使用した関係者を含めた職場全体での安全体感教育を実施	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部 × 自治体、同一職場内の関係企業	建設業ほか	300～



### 3. 転倒災害防止部門



# ゴールド賞

# 花王株式会社

1	製造業	従業員数 300～	関東
---	-----	--------------	----



## やってみよう!かんたんセルフチェック ～ 転倒に強い身体づくり～

事業者名 : 花王株式会社  
 業界・業種 : 製造業  
 従業員規模 : 8,403人  
 地域 : 関東

背景 (課題・ニーズ)	グループ会社で店頭美容部員による転倒災害が増加 ⇒ 美容部員に、いかに転倒災害へ当事者意識を持っていただくか	
取り組んだ プロジェクト内容	全美容部員約3,800名へ、動画で転倒防止啓発を実施 (各10分 × 年3回)	
	<p>前半:情報提供(5分)</p> <p>視聴者の当事者意識醸成のため <b>職種特性</b>にあわせた内容も発信 (例) 勤務用と通勤用で靴を分ける</p> <p>環境面の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 清潔に片足を放置しない ✓ 片足を「L」型にしない ✓ 片足を「V」型に片寄せする</li> <li>② 通勤や通勤に適した靴を履く ✓ 通勤と勤務に履き分ける ✓ 片足から片足へ乗り換える</li> <li>③ リスクのある場所を確認する ✓ アンダーシューズも片足で片足で確認する</li> </ul> <p>視聴者の記憶に残るよう 担当者2名によるQ&amp;A方式で進行</p>	<p>後半:セルフチェック&amp;トレーニング(5分)</p> <p>『転びの予防 体力チェック』 (中災防)を基に セルフチェック</p> <p>【やってみよう】セルフチェック 画面の音で、転倒の転倒リスクをセルフチェックしてみましょう</p> <p>花王陸上競技部OB が測定項目に 沿ったトレーニング を指導・実演</p> <p>セルフチェック</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 重心ステップテスト(第1弾) 柔軟性の測定</li> <li>2. 膝幅片足立ち(第1弾) 静的バランスの測定</li> <li>3. 2ステップテスト(第2弾) 歩行能力の測定</li> <li>4. フランジショールナリチ(第3弾) 動的バランスの測定</li> </ol> <p>注意: 一緒に上げておかないません</p>
やってみての効果	転倒災害の発生件数が前年から <b>65%</b> 減少	2022年:20件 ⇒ 2023年: <b>7</b> 件 (※1~10月累計)
今後の目標や展望	グループ全体へ波及させ、転倒災害ゼロ化 (現在、別のグループ会社1社でも水平展開中)	

## ポイント

自分は転倒と無縁と思っている労働者の方がほとんどです。全ての方に当事者意識を持っていただくことが対策の重要な第一歩となります。



# シルバー賞

## 東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部

2	建設業	従業員数 300～	北海道・東北
---	-----	--------------	--------

**TOSHIBA**

### 安全活動のデータベース化 「みんなの“いいね”集」活用による転倒防止

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部  
業界・業種：建設業・電機  
従業員規模：2,000人  
地域：北海道・東北/宮城

#### 背景（課題・ニーズ）

工事中の安全活動の内容を「みんなの“いいね”集」と題して、Microsoft Teams を活用した安全活動のデータベース化を2020年から推進している。課内メンバーに加えて工事協力会社（13社）にも定期的な研修会と勉強会にて水平展開を行い、新たな発想の誘発に繋げている。また相互の意見やアイデアの創出で連帯感を育むコミュニケーションのツールとしても有効手段となっている。「みんなの“いいね”集」から見える安全コンクールにも2016年から継続して応募している。本事例は、雨水ポンプ場電気設備工事から選抜した。（1）散歩する市民の転倒防止 （2）作業中の転倒防止 （3）維持管理中の転倒防止 （4）体幹強化による転倒防止 の活動アイテムになっている。

#### みんなの“いいね”集

現場代理人「研修会」での水平展開

#### 2. 作業中の転倒防止

- ・トリックアートによる視認性向上
- ・ソーラー回転台と点滅ランプによる安全標識
- ・クッション材と回転ランプによる転倒防止

#### 3. 維持管理中の転倒防止

- ・内側固定による置き防止
- ・スリットチューブの使用
- ・切り欠き幅の狭小化による転倒防止

#### 1. 散歩する市民の転倒防止

- ・市内パトロールでも感謝された
- ・旧入場ゲートの支柱跡（突出部）をカットし、モルタル仕上げ

#### 4. 体幹強化による転倒防止

- ・バランスボールの活用
- ・社内ウォーキングイベントへの参加

## ポイント

ICTも活用しながら、工夫を凝らした効果的な設備対策と、身体機能の維持向上を組み合わせた総合的な対策（ハード・ソフト両面からの対策）に取り組まれています。



# ブロンズ賞

# 社会福祉法人東北福社会

3	保健衛生業	従業員数 300～	北海道・東北
---	-------	--------------	--------



社会福祉法人  
東北福社会  
せんだんの社

効果絶大!!

## 職員で作る転倒防止ハザードマップ

事業者名：社会福祉法人東北福社会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：およそ550人  
地域：東北/宮城

### 1. せんだんの社の転倒事故事例

# 転倒



せんだんの社が位置する仙台市青葉区国見ヶ丘は、市内でも比較的標高が高く、雪が多い地域。



朝・夕の通勤時等、通勤ルートや駐車場での転倒事故が多発しました。

### 2. せんだんの社 転倒防止ハザードマップ



衛生委員会の取組で  
職員が自作してくれた  
ハザードマップ

過去の労災事例や、歩行以外の注意点も記載され、写真付きで実用的でした。

### 3. ハザードマップ活用の効果

- ◆設置場所  
出勤時利用する通用口の掲示版など職員が毎日利用する場所
- ◆効果  
1) 職員が危険な場所を把握しやすくなりました。  
2) ハザードマップを日々目にする事で、転倒防止の意識付けとなりました。  
3) ハザードマップ設置後、職員転倒事故が減少しました。特に冬季の効果は絶大です。
- ◆付加価値  
職員の代表者である委員が作成したことで「職場からやらされている」ではなく「自分たちが作った」という当事者意識が育まれ、他の安全活動へも繋がりました。

### 4. 自分たちと会社で取り組む、安心・安全な職場作り



職員と会社が一体的に取り組む良い職場作りを行い、より良いサービスへ繋げて行きたいと考えております。

## ポイント

実際の転倒事例やヒヤリハット事例を集約して共有することは、基本的な取組ですが対策として有効です。当事者意識の醸成にもつながります。

## 北海道・東北ブロック賞



4	社会福祉法人宮城福祉会	保健衛生業	従業員数 300～	北海道・東北
---	-------------	-------	--------------	--------

社会福祉法人  
宮城福祉会

### 『転倒危険マップ』の作成で 転倒災害の防止と思いやりの心を広げる

事業者名：社会福祉法人宮城福祉会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：約730名  
地域：東北/宮城

**背景（課題・ニーズ）**

2021年11月～2022年1月の期間に法人内で転倒災害が4件発生。職員の長期休業は事業所の運営に大きく影響することから転倒災害の防止対策が課題。

**取り組んだプロジェクト内容**

**■ 転倒危険マップの作成**

職員への注意喚起を図るため、事業所敷地内の転倒危険マップの作成を行った。特に冬場には路面が凍結して駐車場から事業所までの移動中の転倒リスクが高くなること、また前年も路面凍結による転倒災害が複数発生していることから、路面凍結による転倒に留意したマップを作成した。作成にあたっては転倒による怪我で職員が長期休業となる事態を避けるために「転倒危険マップ」の作成が有効との共通認識のもと職員と一緒に危険個所の収集を行った。

**やってみての効果**

今回は法人内の一拠点事業所での取り組みであったが、転倒災害への注意喚起を深め、転倒災害を0にすることができた。また、危険個所の凍結による転倒防止のために融雪剤の散布や「率な除雪の実施など職員の自発的な行動の広がりにも良い影響があった。

**今後の目標や展望**

転倒災害の防止対策を目的に転倒危険マップを作成しましたが、その取り組みが職員の自発的な行動に広がるとは予想していませんでした。今後も思いやりの心を広げて人間関係を円滑にし、労働災害を予防し働きやすい職場環境にしていきます。

## 北海道・東北ブロック賞



5	みやぎ生活協同組合	小売業	従業員数 300～	北海道・東北
---	-----------	-----	--------------	--------

みやぎ生活協

### 職員の転倒事故を無くし、 安心して働き続けられる職場にしよう！

事業者名：みやぎ生活協同組合  
業界・業種：小売  
従業員規模：約5360人（店舗）  
地域：北海道・東北

**背景（課題・ニーズ）**

労災通災事故で最も多いのが転倒事故で、21年12月からの3か月の通勤災害では14件中13件が転倒で、うち9件が骨折でした。骨折者はすべて50歳以上の女性で、そのほとんどが手首や肘の骨折です。転倒理由は急いでいた、履物を間違えた、寝不足など様々ですが、骨折者の多くは長期休業に加えて、家族に負担をかけることについての後悔を口にしていました。ケガは本人、家族、同僚などの多くの人を不幸にします。

**取り組んだプロジェクト内容**

転倒の原因は履物だけではなく、体力低下や体調、危険個所の認知、油断やせりなど様々なことが複合的に影響していることを踏まえて、以下の項目を重点にし、毎月、安全衛生ニュースの読み合せを店舗現場に指示し、周知と注意喚起に取り組みました。

- ①自身の体力（能力）の現実を知り、過信しないこと。
- ②体幹を鍛える必要性を自覚し、日常的に筋力アップすることで過信を自信に変える。
- ③履物と服装選びはTPOに加えて自身の体力や傾向を考える。ファッションより安全が第一！雪道を歩く時、車を運転する時、平らなところでもつまずく人、それぞれに相応しい履物の選び方のポイントを知る。
- ④あらゆるところに潜む危険を事前に察知し、事故予防ができるようになる。ヒヤリハットや労災の事例を読み合せ学習することで、危険な場所や状況の知識を蓄積しKY能力の向上を目指す。物理的改善が難しい所は注意看板やマップで周知する。

**やってみての効果**

23年度4月～10月の転倒事故件数は、前年の14件から6件へと半減しました。冬場を含めた1年間の比較では前年23件が17件まで減少しました。

**今後の目標や展望**

高齢者の転倒事故が少ない職場環境は、しょうがいを持った者も、新規採用者も、皆が安全で働きやすい職場と考え、エイジフレンドリーを進める中で今回の取り組みを継続、進化させていきます。

北海道・東北ブロック賞



6	社会福祉法人みゆき福祉会	保健衛生業	従業員数 100~299	北海道・東北
---	--------------	-------	-----------------	--------

**転倒危険箇所マップで転倒予防**

**背景**  
施設の敷地内での転倒による骨折と休業が続いたため、転倒の発生箇所や危険事例・危険箇所について見やすい形にまとめ、職員に周知したいと考えました。

**取り組み**  
「転倒危険箇所マップ」を作成  
・転倒、その他労災が起きた場所や危険だと思われる案件について見やすい形で周知  
・転倒予防だけでなく転んでも大きなケガにつながらないよう対策も記載

**方法**  
①これまでに起きた労災の場所の洗い出し  
②危険箇所の聞き取り  
③危険事例の聞き取り  
④マップの作成と随時更新

**主な事例**  
・雪道での転倒と骨折  
・濡れたマンホール上での転倒と骨折  
・凹凸のある駐車場での転倒と骨折  
・雪のついた靴でプレーキペダルの踏み外し  
・車の屋根からの雪崩

**結果**  
可視化することでわかりやすく伝えることができています。取り組み自体も職員に伝わったことで危険箇所の報告も増えており、予防対策にもつながっています。

**主な記事事項例**

- ・雨や積雪の日の注意事項として、両手に物を持たない、ながら歩きに注意、滑りにくい靴を履く
- ・積雪時は靴の底の雪を落としてから運転、車の屋根の雪を下してから出発
- ・コンセントの差込口が浮き上がっている場所
- ・滑りやすい箇所としてマンホールの上とその凍結

社会福祉法人みゆき福祉会  
業界・業種：保健衛生業  
従業員規模：100~299  
地域：北海道・東北

関東ブロック賞



7	JFEスチール株式会社	製造業	従業員数 300~	関東
---	-------------	-----	--------------	----

**安全基本行動の実践による行動災害の防止**

**背景(課題・ニーズ)**  
製鉄所内で発生する労働災害の約40%を占める“行動災害”を防止・撲滅すべく、全ての作業者が守れる行動指針を作成。

**取り組んだプロジェクト内容**  
【安全基本行動10箇条の制定】  
現場掲示やポケットカードで周知し、実践を呼びかけ。

**事業者名**: JFEスチール株  
東日本製鉄所(京浜地区)  
**業界・業種**: 製造  
**従業員規模**: 4,522人  
**地域**: 関東/神奈川

**やってみての効果**  
【定量評価】  
22年に発生した行動災害: 68%減少(対21年)  
※ポケットカードを作業者が携帯できるため、現場で朝礼やTBMで再確認・周知しやすい。  
(ポスター掲示に比べ、認識・定着率が向上)

**今後の目標や展望**  
行動災害の撲滅を目指して、推進活動を継続する。  
また、DX技術を活用した基本行動実践を支援する技術の開発も進めていく。

関東ブロック賞



8	独立行政法人国立印刷局	製造業	従業員数 300～	関東
---	-------------	-----	--------------	----



**転倒災害ゼロに向け、  
転倒災害予防研修を全事業場統一的に実施**

事業者名：独立行政法人国立印刷局  
業界・業種：製造業  
従業員規模：4,170人  
地域：関東/東京

**背景（課題・ニーズ）**

- 転倒による労働災害が全国統計と同様に国立印刷局においても増加傾向
- 転倒危険箇所の見える化などの設備的改善の実施とともに、職員の安全意識の高揚と身体能力の自覚が必須

**取り組んだプロジェクト内容**

**Step1 転倒危険箇所の見える化**  
転倒危険箇所の見える化を全事業場において実施。

**Step2 職員の安全意識高揚**  
転倒災害予防に関する安全意識の醸成・浸透を目的に、厚生労働省のリーフレット等を活用し、「転倒は誰にでも起こるもの」、「転倒危険箇所の案内」、「転倒しないためのポイント」などの安全教育を全職員を対象に実施。

**Step3 転倒災害予防研修**  
転倒災害の原因の一つとして、加齢による運動機能の低下や感覚機能の衰えが転倒につながることから、自身の身体能力を自覚させ、その変化に気付きを促すために、全事業場統一の研修プログラムを作成し、50歳以上の職員を対象に全事業場において転倒災害予防研修を実施。



研修資料など統一プログラムを作成し、全事業場に展開



研修風景

※転倒災害予防研修の様子はSAFE Consortiumポータルサイトに掲載されています。



**やってみての効果**

本局、研究所、東京二場、王子工場、小田原工場、静岡二場、彦根工場、岡山工場の8事業場において転倒災害予防研修を実施し、約600人/年が受講。  
【定量的効果】  
令和5年4月～10月末現在転倒災害件数**1件のみ**（令和4年度4件）

**今後の目標や展望**

**国立印刷局は、職員の転倒災害予防に継続して取り組みます！**

関東ブロック賞



9	ユニ・チャーム株式会社	製造業	従業員数 300～	関東
---	-------------	-----	--------------	----



**体力年齢測定会  
転倒リスク・筋力アップの  
リテラシー&モチベーション向上！**

事業者名：ユニ・チャーム株式会社  
業界・業種：製造  
従業員規模：約2,300名  
地域：全国

**背景（課題・ニーズ）**

筋骨格系の疾病損失日数が昨年比微増。出勤と在宅のハイブリット勤務となっているため、社員の筋力低下・転倒リスク上昇が懸念されている。また今後、社員の平均年齢の上昇も予測されるため、**転倒災害防止対策**が必要である。

**取り組んだプロジェクト内容**

**健康保険組合の協力をいただき、体力年齢測定会を開催**

効果的な準備体操のレクチャー



参加者全員、一生懸命取り組みました



★筋力・柔軟性・敏捷性・瞬発性・血循環など短い時間で幅広く把握  
★結果表および種目説明の配布とともに、専門家からのフィードバック  
★時間ごとに小グループで実施し、一体感！



結果表



**やってみての効果**

「体力年齢がはっきり見えて良かった」「思ったより体力年齢が高く愕然とした」「活動量を増やそうと思う」等**リテラシー**や**モチベーションの向上に繋がった**という感想が多数得られた。

**今後の目標や展望**

- ・社員にとり次回の開催が目標となるようにするため、**定期的な開催**とする。
- ・より多くの社員が参加できるように、**多拠点開催**とする。

関東ブロック賞



10

株式会社ビステム・クリーン

清掃業

従業員数  
100~299

関東



強アルカリイオン電解水の活用により  
安全性を重視した床面洗浄作業を実現

事業者名：株式会社ビステム・クリーン  
業界・業種：サービス  
従業員規模：120名（パート社員含む）  
地域：関東／神奈川県

1. 背景（課題・ニーズ）

特に高齢者や小さな子供が多いマンション共用部の床の洗浄作業では、予想外の進入や洗剤成分による滑りやすさが問題となっている。

2. 目的

居住者や作業者の転倒事故を防ぐこと。

3. 取り組んだプロジェクト内容

弊社は昨年、ウルトラファインバブルをプラスし洗浄効果を高めた強アルカリ性（pH13.2）の電解水「ハルカリくん+」を生成する設備を導入し、この電解水をすべての洗浄作業に使用することを決定した。この電解水には洗剤成分が含まれず、床に残留しても滑りにくく、転倒事故を予防できる特長がある。

なお、強アルカリ性の電解水を使用する場合は、その性質から注意すべき事項があるため「使用方法マニュアル」を作成しスタッフ内に共有した。

4. やってみたいの効果

強アルカリイオン電解水を使用した洗浄作業では洗剤成分が残留せず、すぎ作業が短縮でき、転倒事故のリスクを大幅に減少させることができた。

5. 利用顧客のコメント

【A社】「今まで使用していた洗剤での作業と比べて泡が発生しないため、リンス作業が軽減されて効率も安全性も増しました。とても助かっています」



関東ブロック賞



11

CP成田株式会社  
ANAクラウンプラザホテル成田

宿泊業

従業員数  
100~299

関東



転倒防止！  
豆知識クイズ

事業者名：CP成田株式会社  
業界・業種：飲食・旅館業  
従業員規模：100~299  
地域：関東

背景（課題・ニーズ）

2023年4月~8月の期間において、転倒災害が2件発生しており、転倒災害を減らすため社内会議にてクイズという形での警鐘を行う。

取り組んだプロジェクト内容

転倒災害は日本全国で発生しており、自分の身にいつ起こってもおかしくないという意識を付けてもらう為、社内会議にてクイズを出題しました。オペレーションの都合上単日での開催だと人が集まりづらいので3日間開催し、合計50名ほどの参加になっています。



やってみたいの効果

現場からの声で「運動習慣をつけるようになった」「ながら歩きをしない」といった声が上がっていますが、労災が減少するかは今後の一年間で検証します。

今後の目標や展望

転倒災害に限らず、AEDの使い方、救護活動、熱中症対策などのクイズ出題や、社内での普通救命開催など、従業員の安全・環境整備の為、様々な事に挑戦していきたいと思っています。



近畿ブロック賞



12

深田サルベージ建設株式会社

建設業

従業員数  
300～

近畿

【転倒災害防止部門】



転倒災害防止！  
オンリーワンの啓発活動

事業者名：深田サルベージ建設株式会社  
業界・業種：建設業  
従業員規模：364人  
地域：大阪

背景（課題・ニーズ）

当社は、海上での作業が多く、転倒による骨折などの災害だけではなく、海中転落など重大事故につながる可能性があります。当社内でのヒヤリハット・気がかり情報は転倒災害に関する提出が一番多く、その内容を分析、重点課題を抽出して、転倒災害防止に重点的に取り組んでいます。

取り組んだプロジェクト内容

【ヒヤリハット・気がかり情報を分析】  
2022年提出総数：1,682件



転倒は  
全体の  
15.5%



【重点課題】

- ・作業場所に不要な物や障害物がある
- ・作業場所が泥で汚れていた、雨・海水で濡れていると滑りやすい

【対策】

作業環境の★3Sの徹底！  
整理・整頓・清掃  
当たり前のごとをきちんとやる！

【具体的方策】

- ①オリジナルDVDによる啓発
- ②オリジナルポスターによる啓発



やってみての効果

転倒事故の発生は、2020年の1件から  
2021年、2022年、2023年：0件を継続中

九州・沖縄ブロック賞



13

KMバイオロジクス株式会社

製造業

従業員数  
300～

九州・  
沖縄



転倒防止セミナー開催による転倒災害防止への取り組み

事業者名：KMバイオロジクス株式会社  
業界・業種：製造  
従業員規模：約2,000人  
地域：熊本県

背景（課題・ニーズ）

2023年5月～6月において転倒災害が続発したため、50歳以上の工場勤務者を対象として転倒防止セミナーを実施した

取り組んだプロジェクト内容

中央労働災害防止協会にて作成されている「転びの予防 体力チェック」を参考にして、以下の流れで転倒防止セミナーを開催した。  
①転倒の怖さを知る（加齢と共に重症化）→②体力チェックを通じて、自分自身の体力を自覚した上で、転倒のリスクを知る→③体力維持・体力強化の方法を知る

【転倒防止セミナーの内容】

- (1) ロコチェック（立ち上がりテスト）
- (2) 転びの予防体力チェック
- (3) 身体計測の結果を基に評価（レーダーチャート）
- (4) 転倒防止のための対策、日常管理  
→スロースクワットの実践



やってみての効果

工場長からの呼びかけにより、熊本県内の50歳以上の87%が参加した！  
実証後のアンケートでは、「少しでも体を動かしていきたい」、「日常生活にストレッチ・筋トレを取り入れたい」、「スロースクワットを行いたい」などの意見があり、参加された方の90%以上が今後同かからの取り組みを行うとの回答した。

今後の目標や展望

今回は熊本工場の実施であったが、今後は他工場や管理スタッフにもセミナーを展開する。「スロースクワット」の継続して、社内全体の転倒災害予防・社員の意識の啓発に努めていきます！

14

東洋建設株式会社 東北支店  
アイ・テック北上工場新築工事

建設業

従業員数  
50~99

北海道・東北



## コンクリート打設前の鉄骨階段の 段差解消と見える化による転倒災害防止

事業者名：東洋建設株式会社 東北支店  
アイ・テック北上工場新築工事  
業界・業種：建設業  
従業員規模：50~99人  
地域：北海道/東北

### 背景（課題・ニーズ）

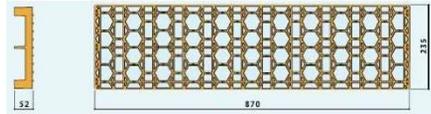
- ・コンクリート打設前の鉄骨階段はコンクリートの厚み分低くなり且つあらかじめ厚み分の枠がついており段の先端にプレートが立ち上がっているため頑きや転倒のおそれがある
- ・建設現場は仮設照明であり日没以降は影等の影響で足元が見づらい

### 目的

- ・枠による段差を解消し、段部分を見やすく目立つようにすることによりつまずき転倒を防止する。

### 取り組んだプロジェクト内容

安全マット「ステアーマット」を使用して、段差を解消し黄色く目立たせるとともに滑り止め効果も実現した。



### やってみての効果

#### 【定量的効果】

- ・11月10日現在、躓き転倒災害ゼロを継続中。

15

三輝機工株式会社

建設業

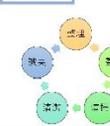
従業員数  
10~29

関東

当社の5S活動とは、**整理**（必要なものを必要な場所に集約）、**整頓**（必要なものを必要な場所に目立つように配置）、**清掃**（作業現場を清潔に保つ）、**清潔**（作業現場を清潔に保つ）、**誠実**（ルールを守る）の一連の行動です。  
「職場にルールを定め、効率的に**安全な職場環境を作る**」という目的で行っています。5S活動を全員が意識することで、職場が整理・整頓・清掃・清潔な状態を保たれ、結果的に作業しやすい職場となりました。また、毎日ラジオ体操を行うことで従業員の健康増進になり、高齢者も活躍できる職場になっています。

### 5S活動

#### 取組内容



#### 工夫点



- ・収納番号や色を区分け、一目で収納場所が分かるようにしました。
- ・定期的にルール基準について検討し、意見を出し合い改善点を見つけていきます。

#### 効果

【物によるつまずきがなくなった】

### ラジオ体操

始業前に毎日ラジオ体操をしています。  
全身運動による**基礎代謝の向上や体力の維持**、  
血行促進による首・肩こりや腰痛予防、  
屈伸運動や跳躍運動による**骨粗鬆症予防**になっています。

#### 【足腰強化】



転倒災害“0”の継続達成

16

東洋建設株式会社 九州支店  
 東洋・みらい特定建設工事共同企業体  
 令和3年度鹿児島港（谷山二区）係留施設  
 築造工事（第2次）

建設業

従業員数  
 30～49

九州・  
 沖縄



## ヒヤリハットシールの活用による ヒヤリハット体験の見える化

事業者名：東洋建設株式会社 九州支店  
 東洋・みらい特定建設工事共同企業体  
 令和3年度鹿児島港（谷山二区）係留施設  
 築造工事（第2次）  
 業界・業種：建設業  
 従業員規模：30～49人  
 地域：九州/沖縄

### 背景（課題・ニーズ）

- ・ヒヤリハットが上がってきても有効に活用されていない
- ・1件の重大災害には29件の軽微な災害が、29件の軽微な災害には300件のヒヤリハットが隠れているとされている(ハインリッヒの法則)

### 目的

- ・ヒヤリハット体験を見える化し、災害防止に有効活用する。

### 取り組んだプロジェクト内容

「ヒヤリハット」体験をした場所に貼るためのシールを作成し掲示することで、転倒の恐れなどの危険認識を共有（見える化）する。



### やってみての効果

#### 【定量的効果】

- ・2022年10月より活用しており、11月10日現在13か月無事故無災害継続中。



## 4. 腰痛予防部門



## ゴールド賞

## JFEスチール株式会社

1

製造業

従業員数  
300～

中国・四国

腰痛予防!! 従業員の体力と動作へアプローチ  
20年間の取組みで休業者減少

事業者名: JFEスチール(株)  
西日本製鉄所(倉敷地区)  
業界・業種: 製造  
従業員規模: 3850人  
地域: 中国/岡山

倉敷地区約5,000名の休業原因ワースト1であった筋骨格系疾患減少のためJFE誕生(当センターも同時開設)の2003年から取組み開始

## 取組みの背景

## 私傷病の休業理由(統合前後)

- ・休業件数率: 1999年～6年間
- ・休業日数率: 1999年～5年間

## ワースト1が筋骨格系疾患であった



- ・前屈み、持ち上げ作業など腰部に負担のかかる作業の全てを改善することは難しい状態であった

## そこで体力と動作への改善アプローチも追加した

- ①スムーズな前屈み姿勢の獲得や脚力での持ち上げを習慣化できるように職場体操や体力チェックを実施
- ②持ち上げ時に背中が丸くなるなどひとりひとりの課題点を専門家が改善できる体制も構築

## ポピュレーションアプローチ

## 各職場で行う1次予防(04年～)

「アクティブ体操®」part I

8:50～毎日実施 10種目4分30秒



動画

- ・作業を調査し、負担となる部位の柔軟性改善、作業に必要な筋力の向上や正しい動作の獲得を目的とした体操を開発

## 健診で行う2次予防(04年～)

腰痛リスクテスト2種目



独自の5段階評価でフォロー

- 評価3以上「維持・安全」特になし
- 評価2「注意域」: 運動指導
- 評価1「危険域」: 運動指導後再測定や面談等

## ハイリスクアプローチ

## 運動担当者が行う3次予防

背中が丸まらずに背筋を伸ばして脚力を持ち上げることができるように体力と動きを改善



前屈みリフティングの原因を修正

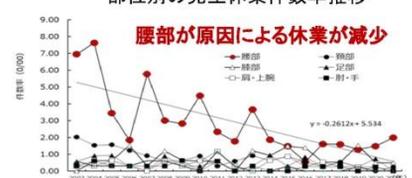
スクワットリフティングの獲得がゴール



## 結果 2003～2021(倉敷地区)筋骨格系疾患: 休業日数の損失金額



## 部位別の発生休業件数率推移



## ポイント

労働災害の防止のため、設備的な対策に限らず、労働者の方の身体機能の維持向上の支援にも20年にわたり取り組まれ、労働災害を着実に減少させています。



シルバー賞

# 株式会社 ササキ 宮城本部

2

製造業

従業員数  
100～299

北海道・東北

SASAKI  
Connecting trust more.

## 重量物の平行移動で腰への負担軽減！

事業者名：株式会社ササキ  
業界・業種：製造  
従業員規模：－  
地域：北海道・東北/宮城

### 背景（課題・ニーズ）

製品検査を行うために約20kg～40kgの製品(ケーブル)を机上へ乗せる作業があり、その都度検査員が製品の上げ下ろしを行わなければならない、腰痛のリスクが高まっていた。

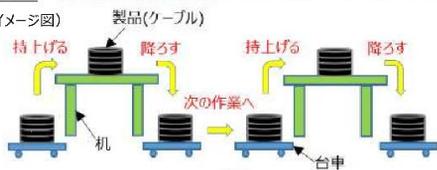
### 目的

重量物を平行移動させることで作業員の上げ下ろし作業を“ゼロ”にする

### 取り組んだプロジェクト内容

**改善前** 各自の作業机で検査していたため、検査の度に製品を机の上に持ち上げる必要があった

(イメージ図)



\*実作業



\*重量物(ケーブル約30kg)



**改善後** 平行移動を可能にするために机同士を連結して長机として配置。机上に製品を乗せた台車ごと次の作業員へ送ることで重量物の上げ下げを無くした検査工程を実現

(イメージ図)



\*実作業



※改善のワンポイント

机上での搬送を可能にするため台車も内製化  
非力な人でも楽に搬送が可能に



### やってみての効果

- ・検査工程内での重量製品の上げ下ろし作業が、改善前“93回/日(2022.10.05)→改善後“ゼロ回/日(2023.10.18)になり大幅に改善
- ・今回の平行移動の実現により非力な人でも作業が可能になり、女性が活躍する機会も増加
- <以下作業者の声>
- ・平行移動が可能になり、腰痛の不安がなくなり作業も楽になりました。

### 今後の目標や展望

重量製品取り扱いによる身体への負担は、検査業務だけでなく他工程でも大きな課題のため、早急に今回の改善を前後の工程に横展開していきたいと思っております。

## ポイント

労働災害の防止のためには、作業環境の改善が重要です。そのためには必ずしも機械やロボットの導入といった手法によらず、工程やラインへの工夫や改善で大きな効果が得られる場合も多くあります。



ブロンズ賞

## 社会医療法人ペガサス

3

保健衛生業

従業員数  
300～

近畿



社会医療法人

ペガサス

**ペガサスが腰痛を徹底サポート！**  
～医師・理学療法士・作業療法士が専門性を活かして～

事業者名：社会医療法人ペガサス  
業界・業種：医療福祉  
従業員規模：300名～  
地域：近畿

専門的知識・技術を活かし、腰痛の予防と発生時のケアに力を注ぎました。職員の健康のみならず、患者さま、利用者さまへの安全確保、看護・介護・保育の質の向上や離職防止にもつながるものと考えられ、以下を実施しました。

## 「ペガサス腰痛予防体操」

医師、理学療法士、作業療法士の国家資格を持つ職員が、誰でも手軽にできる「ペガサス腰痛予防体操」を作成、動画で配信し職員に実施を促しました。



## 「理学療法士・作業療法士が介護職を現場指導」

腰痛を引き起こす様な無理な介助方法が行われていないか、介護の現場に向き、実際の労働環境で指導しました。



## 「ペガサス腰痛サポート制度」

腰痛になってしまった。そんなとき、仕事中でも電話一本で相談を受付、医師が診察し、理学療法士が疼痛の緩和、再発予防のための体操や日常生活での動作の工夫・指導を行い、早期社会復帰、再発予防にも取り組みました。これらは、福利厚生として職員に周知し活用されています。



## 「ペガサspartnerシップ制度」

提携の企業からの依頼に基づき、理学療法士が「腰痛予防講座」など出張講演を実施し、地域貢献も行っています。

- 2023年1月～2023年10月の期間での腰痛は職員1665名のうち1件(0.06%)のみであり、腰痛予防の効果が表れています。
- 理学療法士・作業療法士が介護職を現場指導」や「腰痛サポート制度」の新規依頼が毎月あり、腰痛予防のニーズが多くなることがわかり、今後も継続して啓発活動を続けます。
- 職員にアンケートを実施し、「継続してできそう」「動画を見ながらつづけることができます」「身体がスッキリしました」「仕事の合間や仕事おわりに診てもらえる」などの意見があり、今後も腰痛予防・ケアのサポートに理学療法士、作業療法士の専門職が中心となってすすめます。

## ポイント

法人内の専門家の能力を職員の労働災害防止対策のため活用されています。労働災害防止のためには、あらゆるリソースの活用が有効です。

## 関東ブロック賞



4

ユニ・チャーム株式会社

製造業

従業員数  
300～

関東



### オンラインストレッチ

全国・在宅勤務の社員も参加！  
正しい座り方と腰痛予防を学ぶ

事業者名：ユニ・チャーム株式会社  
業界・業種：製造  
従業員規模：約2,300名  
地域：全国

## 背景（課題・ニーズ）

筋骨格系の疾病損失日数が昨年比微増。今後、社員の平均年齢の上昇も予測されるため、**腰痛対策**が必要である。同時に、弊社は全国に事業所があり、少人数の拠点もあるため、**施策が全国に行き渡るような工夫**が必要である。

## 取り組んだプロジェクト内容

プロのストレッチトレーナーによる腰痛予防についての講座を企画。腰痛予防・改善のための正しい座り方、ストレッチを学ぶ。

- ★業務中、座位でも実施可能な内容
- ★参加者もカメラオンで一体感



★全国の社員・在宅勤務中の社員も参加できるよう、**Web実施**

★参加しやすい**昼の休憩時間**に実施

★三田本社は**パブリックビューイング会場**設営

## やってみての効果

実施後アンケートにて、行動変容につながった、自席・執務中でも実践できそうであるという感想が多数あった。

## 今後の目標や展望

周知方法を工夫し、参加人数を増加する。  
今後、イントラネットでアーカイブ配信も実施予定。

## 関東ブロック賞



5

株式会社 竹中工務店 北関東支店  
高田製薬株式会社北埼玉工場2号棟建設プロジェクト

建設業

従業員数  
100～299

関東



### 痛防止対策！ 身近な建設資材の重さは？

事業者名：(株)竹中工務店北関東支店  
業界・業種：建設業  
従業員規模：  
地域：関東/埼玉

自分が無理なく持てる資材の量をイメージすることで無理な運搬を抑制し、過信や慢心によって体を壊すことを防止します。

自分の力で持てる資材の量をご存じでしょうか。成人男性が問題なく持てる重さとしては**30kg程**ですが、身近な資材に換算するとどのくらいになるかをまとめました。休憩所や打合せコーナーなどに掲示して意識付けを行いました。

## 腰痛防止対策！ 身近な建設資材の重さは？



セメント1袋 25kg

鉄筋棒  
D13 長さ4m 7本で28kg  
D25 長さ4m 2本で32kg  
D35 長さ4m 1本で30kgコンパネ(900×1800)  
3枚 36kg

塗料2缶 32kg程度

枠組み足場  
W900枠 2枠で32kg串管パイプ  
長さ4m 3本で33kg

労働基準法では、成人男性で55kg以上の荷物は、2人以上で運ぶことが奨励されている。1人で持てる重さとしては、**概ね体重の40%**とされている。

【一人で持てる重さの目安】  
例：体重70kgの人の場合  
 $70 \times 0.4 = 28\text{kg}$   
**腰痛に気を付けよう！**

新潟米  
30kg石膏ボード(910×1820)  
12.5mm 2枚で28kg

## 関東ブロック賞



6

社会福祉法人ロザリオの聖母会

保健衛生業

従業員数  
300～

関東

腰痛災害防止のための介護設備・機器導入  
～利用者のQOL向上と介護負担軽減の両立に向けて～

事業者名：社会福祉法人ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ  
業界・業種：保健衛生業  
従業員規模：300～  
地域：千葉県

1. リフター導入のきっかけ  
脳性まひの利用者ご本人からトイレを自立したいとの希望があり、生活の質の向上の観点から職員がトイレ介助を行うようになった。介助にあたっては安全性確保のため職員2人体制で行ったが職員の腰への負担が大きいためリフターの導入についてご本人と一緒に検討することとなった。

2. 導入状況 グループホーム21ヶ所中 4ヶ所に設置  
・平成27年度 入浴用介護リフト 1台・スタンディングマシン 1台  
・平成28年度 入浴用介護リフト 2台（労働局助成金活用）  
・平成29年度、令和4年度 移動用リフト 各1台

3. 導入効果  
①利用者の負担軽減  
②介護職員の腰痛防止  
③転倒事故のリスク軽減、安全性確保  
④介助に携わる職員数2→1人 →防災、離職防止

4. 導入後の課題と課題への工夫  
①支援スピードが遅くなる →（課題への工夫）機器の作動時間を考慮した利用者への配慮と操作方法の統一  
②機器保管場所の確保 →整理整頓による場所の確保  
③設備投資費用、維持費の財源確保 →助成金の活用  
④機器の不具合時の対応 →機器専門業者と連携を図ることによる迅速な原状復旧  
災害時に備えた家庭用発電機の整備

機器導入前



機器導入後



## 関東ブロック賞



7

社会福祉法人同塵会  
特別養護老人ホーム日野サザンポート

保健衛生業

従業員数  
50～99

関東

社会福祉法人  
同塵会全スタッフがポジティブ参加  
「腰痛(コシータ)to腰楽(コシラック)」で予防促進!

事業者名：社会福祉法人同塵会  
特養日野サザンポート  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：約1,400  
地域：関東/神奈川

**取組みに至る背景** これまで、昼食休憩時にスタッフ個々が任意で実施していた腰痛体操。

ノーリフト（抱え上げない介護）の環境整備として、スライディングボード等の用具導入など、腰痛リスク軽減へ取組んで来たが、スタッフの腰痛予防に対する意識はそれほど高くなく、取組みに対する反応はネガティブな状況であった。

**取組み内容** 令和4年度より施設全体で取組む「スタッフが幸せ＝ご入居者も幸せ！」を合言葉にした特別プロジェクト「腰痛(コシータ) to 腰楽(コシラック)」を立ち上げ、楽しくポジティブな雰囲気大切に全部署スタッフが就労開始時に腰痛予防体操（「これだけ体操」【※1】）を積極的に実施励行している。

**取組み効果** 体操にかかる時間も9秒（3秒×3回）と業務への影響もなく、誰でも出来る手軽で簡単な取組みである為、休日などプライベートでも実践するスタッフもいる等、就労開始時の度に腰痛体操をする習慣が定着している。

**今後に向けて** 現在、スタッフ個々の腰痛予防への意識が向上し、安心安全な職場環境の整備に繋がり、結果としてプロジェクトを立ち上げた昨年度以降、腰痛労災のゼロ災が継続しており、今後も「腰痛to 腰楽」を合言葉に楽しくポジティブにゼロ災維持継続を推進していく。

①就業開始時のこれだけ体操 実施中の様子（写真画像）

（日勤帯 勤務開始時）

（夜勤帯 勤務開始時）

（事務所 勤務開始時）



②これだけ体操  
ポスター【※1】



## 関東ブロック賞



8

 社会福祉法人杏樹会  
 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館

保健衛生業

従業員数  
50～99

関東



～介護の標準化とテクノロジーを

活用した腰痛予防の取り組み～

背景（課題・ニーズ）

特別養護老人ホームではより重度の介護が必要な方への支援が求められています。その支援においてスタッフのスキルに依存するのではなく、機器やテクノロジー、アイテムの導入と使用の定着により介護の標準化を目指して開設より取り組みを行ってきました。

取り組んだプロジェクト内容

バッテリー完備で自走式、居室や浴室等、使用場所を限定しないパケットと、移乗用リフト6台を使用し全ユニット移乗介護を標準化しています。



やってみての効果と今後の目標や展望

リフトの導入定着の取り組みとしてメーカー講習員による定期的研修を設け、その研修動画を撮影し爽風館職員YouTubeへの限定公開でOJTとして活用しています。



HAL腰タイプ介護支援用2機とマッスルスーツソフトパワー3台をユニットに配備。入浴支援や中腰になる作業で使用しています。



体位交換時に少ない摩擦抵抗で比較的安易な力で実施できるスライディングシートを必要な方すべてのベッドの足元ボードポケットに配置し職員が標準的に使用しています。



リフトを用いた移乗助の標準化、スライディングシート使用による体位交換の標準化、装着型介護ロボット等を活用した標準化により開設から約8年間に取り組んだ成果として、介護の標準化により、施設における腰痛による労働災害の発生をゼロとしており今後も継続して取り組んでまいりたいと思います。

## 東海・北陸ブロック賞



9

## 株式会社ササキ

製造業

従業員数  
100～299

東海・北陸

**SASAKI**  
 Connecting trust more.

**ササキが考えるDEI(多様性)**  
 それぞれが公平に尊重されるために必要な仕組みづくり

 事業者名：株式会社ササキ山梨本部  
 業種・業種：製造業  
 従業員規模：100～299  
 地域：東海・北陸 / 山梨

背景（課題・ニーズ）

弊社ではワイヤーハーネス製造・加工を行っており「外皮剥き機」と呼ばれる機械を使用する。しかし、背の高い人は膝や股を曲げて作業して腰痛になるリスクがあり、また背の低い人は背伸びをした不安全作業に悩まされていた。「だれでも使いやすい」職場を目指し現場の社員で改善活動に取り組んだ。

取り組む前



現場では様々な社員が働いているが、それぞれの個性にあった設備を用意することは難しい。

- 背が高い人⇒腰をかがめて作業（腰痛・膝痛のリスク）
- 背が低い人⇒背伸びで作業（不安定作業）


**車ジャッキを  
取り付け！**  
**自分で高さ調整**


取り組んだ内容と効果



ジャッキアップで作業台の高さを自由に調整できるようになり、様々な身長の人が自分に合った高さで作業することができるようになった。

- 腰痛・膝痛防止
- 作業効率 up



今後の目標や展望

身長差などそれぞれの個性に関係なく働ける職場環境を目指した結果、社員の腰痛・膝痛防止だけでなく、作業効率向上にも繋がった。今後も、社員一人ひとりが日常の業務に潜んでいる様々なリスクの軽減を図り、多様な個性をもつ社員が生き生きと挑戦し活躍することができる安全な職場環境実現に向けて取り組んでいきたい。

東海・北陸ブロック賞



10	株式会社ササキ	製造業	従業員数 100~299	東海・北陸
----	---------	-----	-----------------	-------



立ち仕事もへっちゃら  
腰痛防止マットと机のかさあげ

事業者名：株式会社ササキ山梨本部  
業界・業種：製造業  
従業員規模：100~299  
地域：東海・北陸 / 山梨

背景（課題・ニーズ）

長いケーブルを広げて作業する現場では座って作業することができず、長時間立ちっぱなしで作業しなければならないことから、社員から足腰の痛みや、疲労感の声が上がっていた。そこで現場全体でどのようにすれば問題解決をすることができるのか、改善案を募集した。

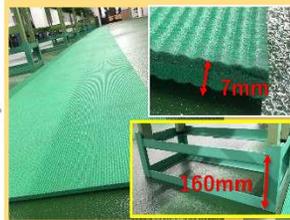
取り組む前



出来上がった製品は長机に広げて検査する必要があり、長時間立ちっぱなしで作業することになる…  
社員は各自でクッション性の高い靴を用意するなど対策していたが、腰への負担が軽減されていた。

足腰に負担がかかり、疲労・腰痛の原因になる可能性が！

取り組んだ内容と効果



立ちっぱなしで作業する場所に、長机に合わせて長さの「腰痛防止マット」と、あらかじめ人の身長に合わせて「かさあげ」設置

“7mm”のクッションマット  
“160mm”の底上げで  
足腰への負担が大幅に軽減

足が痛くならなくなった！

帰る時の疲労感が全然違う



立ちっぱなしが  
言にならなくなった

今後の目標や展望

今回の腰痛予防の取り組みによって、社員の職場環境が大きく改善されると共に、社員の集約力向上が見込まれている。

今後も会社では社員の声を活かした取り組みを継続し、日々職場環境の改善を行っていききたい。

東海・北陸ブロック賞



11	社会福祉法人 愛宕福祉会	保健衛生業	従業員数 300~	東海・北陸
----	--------------	-------	--------------	-------



セルフケア + 福祉用具活用 で腰痛予防

事業者名：社会福祉法人愛宕福祉会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：約1,500人  
地域：北陸/新潟

別添2-2

愛宕福祉会では、各事業所の機能訓練指導員等（35名）が法人職員の腰痛予防や福祉用具の利用促進・標準化等を重点課題として部会の活動を行っています。その活動の1つとして、法人職員に対し、腰痛予防エクササイズ・セルフケア、福祉用具の活用をテーマとした腰痛予防研修を定期的に行い、腰痛予防に取り組んでいます。

【研修内容】

- ・セルフケア研修：腰痛の原因、腰痛発生時の対応、コルセットの役割、道具を使用した腰痛予防、腰痛予防セルフケア（土台となる骨格の矯正、筋肉の柔軟性を高め緊張をとる、筋肉の弛緩、筋肉の衰えを防ぎ、筋肉を維持する）
- ・福祉用具研修：腰痛リスク回避のために①対象者の日常動作能力の把握と介助協力をお願い②作業姿勢・動作の見直し③福祉用具（機器・道具）の活用

腰痛予防のためのセルフケア

腰痛予防研修

今日のプログラム

- 1. はじめのあいさつ
- 2. 腰痛の原因とセルフケアの重要性
- 3. コルセットの役割について
- 4. コルセットの役割について
- 5. コルセットの役割について
- 6. コルセットの役割について
- 7. セルフケア



起立・移乗補助リフト

## 東海・北陸ブロック賞



12

社会福祉法人宣長康久会ささづ苑

保健衛生業

従業員数  
100~299東海・  
北陸

**NO！腰痛！NO！！労働災害！！**  
腰痛等労働災害のない福祉施設を目指して

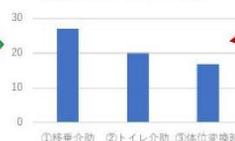
事業者名：社会福祉法人宣長康久会  
業界・業種：  
従業員規模：  
地域：

当法人では介護職員の腰痛予防に取り組み、何歳になっても安心して働ける法人を目指しています。

## 調査：

平成23年に腰痛予防委員会を設立し職員の腰痛予防に取り組んでおり、「利用者様はもちろん、職員の安全も確保されなければならない」との考えから職場における腰痛リスクを抽出。

腰痛を感じる時（人数）



## 結果

移乗動作、トイレ介助、体位変換のリスクが高いという結果に。

## 取り組み：

結果からリスクの高い介助動作に適した介護ロボット・福祉用具を検討・デモを行い導入。委員を中心に、研修・使用技術チェック等にて使用方法を周知。

## 結果：

リスクの高い動作に適した介護ロボットや福祉用具を活用することで、職員の負担は軽減したとの声が多く、ビギナー職員からベテラン職員まで腰痛や転倒などの労働災害なく業務することができています。

今後も職員が腰痛等の労働災害のない働きやすい法人を目指します！

2012年以降当法人の腰痛による離職ゼロ継続中！



## 近畿ブロック賞



13

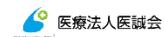
医療法人 医誠会

保健衛生業

従業員数  
300~

近畿

【腰痛予防部門】



## 業務の中に運動を取り入れ、持続性の強化を図る！

近年、介護職員の年齢層は上昇傾向にあり、常に首・肩・腰に痛みや違和感がある職員が増加している。多くの職員は日常生活の中で体操やストレッチ等、体を動かすことで体が楽になることは知っていても、それらを継続して行うことに難しさを感じている。

そこで老健で毎日実施している、利用者を対象とした体操に**職員も積極的に参加を促す**ことで、腰痛や首・肩の凝りを少しでも解消できる取り組みを実施してみた。



単独参加



複数参加

## 結果・職員の感想

- 家で1人で体操やストレッチをしても続かないので、職場で利用者さんと一緒にすることで続けて体を動かすことができています。
- 今までその日の担当者が1で行っていたが、やっぱり複数の職員が関わる方が盛り上がるし、腰痛予防にもなるので一石二鳥だと思う。

## 中国・四国ブロック賞



14

社会福祉法人 愛耕福祉会

保健衛生業

従業員数  
50～99中国・  
四国

### 保育現場における腰痛予防への取り組み ～専門家と共につくるAiko体操を通して～

事業者名：社会福祉法人 愛耕福祉会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：79名  
地域：中国/島根

## 背景（課題・ニーズ）

体の状態についてアンケートを実施したところ「腰痛・膝痛・肩こりで仕事に支障が出たことがある」との回答が全体の55.7%に及び、その大半が湿布・痛み止め薬・整体治療等の対策で、**痛みを我慢しながら日々の業務に携わっていた。**

地域のセーフティネットとして保育事業を継続するためには、「職員が健康で活き活きと働き続けることが重要である」と考え、CanCanvasに依頼し、職員が抱える健康課題について法人全体で取り組むこととした。

## 取り組んだプロジェクト内容

作業療法士等の職場見学と  
フィジカルチェックによる現状分析

- ・机や手洗い場など職場環境全てが子どもの身長に合わせてあるため、中腰姿勢での業務が多くなり身体への負担が増すことが分かった。
- ・フィジカルチェックの結果、体の回旋の左右差がみられ、非対称性という保育業務の特性が判明した。

グループワークによる  
課題抽出と対策立案

職場環境に起因する健康課題についてグループワークを行った。腰痛等の症状を訴える職員がいる一方、運動等を日頃から行っている職員は痛みが比較の少ないことが判明した。痛み等の予防改善に向けて、具体的な意見を出し合った。

## 健康課題解決に向けた仕組みづくり

- ①検証を基に、職員が抱える健康課題に**寄り添ったストレッチ体操（Aiko体操）**を専門家と職員が共同で開発した。
- ②職員が出演する動画を見ながら実践することで、「**自分たちの体操**」に愛着を持つ。
- ③ストレッチ体操を勤務終了5分前に毎日実践することで、**習慣化**を目指す。



## やってみての効果

開始1ヶ月後、職員から「足腰のだるさが軽減した」等、体の変化を感じる言葉が聞かれた。さらに開始4か月後には、腰痛・肩こり等**症状の改善**がみられ、労働損失額を1/2に削減できた。ストレッチ体操の時間が自分の身体と向き合う時間になり、精神的にも良い効果があらわれた。



## 今後の目標や展望

全職員がAiko体操を毎日実践し継続することで、「健康で活き活きと働き続けられる職場づくり」に取り組みます。また、普段の保育を行いながら子どもと職員が共に健やかになる「健康あそび体操」の開発も目指します。そして、保育業務特有の健康課題の解決に向け、弊社の事例を広く社会に周知して参ります。

15

イオン北海道株式会社

小売業

従業員数  
300～北海道・  
東北

別添1-2



### イオン北海道オリジナル準備運動で 体も心も準備OK！

事業者名：イオン北海道株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：18,693人（2023/2末）  
地域：北海道

総合スーパーやスーパーマーケットの店内作業はハードな作業がたくさんあります。  
一日1万歩以上歩いたり、重いものを何十回も持ち上げたり、何時間もずっと立ちっぱなしだったり…

## そこで…



従業員が継続実施しやすい内容であることを重視し、2分以内の運動にしました！

- ＊足・腰に負担をかけすぎない。
- ＊心地よく可動域を広げる。
- ＊どの年代にも対応できるゆったりリズム。
- ＊「さあ、働こう」という気持ちに切り変える。

普段、あまり運動する機会が無く、日常生活で使わない部分も動かすことが出来き、良い取り組みだと思えます。

従業員からは「やってよかった！」「気持ちが前向きになれる」とポジティブな意見が大半を占めています。

16	大洋建設株式会社	建設業	従業員数 100~299	関東
----	----------	-----	-----------------	----



当社は「感動と好奇心、を大切にした  
「つくり・人づくりの会社」です。

事業者名 : 大洋建設株式会社  
業 種 : 建設業  
従業員規模 : 124名  
地 域 : 神奈川県



**腰痛や肩こり予防への取り組み**



【課題】 長時間のVDT作業による腰痛や肩こり等の健康障害

業務の性質上、画面をよんだりPCで入力をしたり、考えながら作業をすることが多い部署です。また、書類の提出期限があるので、長時間のVDT作業となってしまうこともあります。腰痛や肩こりなどの健康障害を訴える職員のために現状の取り組みを整理し、さらなる取り組みを検討し改善を図っていきます。

**改善に向けた取り組み①**

【環境管理】正しい座り姿勢

※ノートPCスタンドやPC台とデスクトップ・キーボードの支給

**さらなる取り組み**

※椅子をバランスボールに変更等

**改善に向けた取り組み②**

【作業管理】1時刻に10分程度の作業休止・同一姿勢の改善

※各自が意識的に1時間に1回立ちこがったり、立作業をする

**さらなる取り組み**

※昇降式デスクの導入

**改善に向けた取り組み③**

【健康管理】体操やストレッチなどのリラクゼーション

※毎朝ラジオ体操の実施

※ウォーキングなどの適度な運動

※会社主催のスポーツイベントへの参加

**さらなる取り組み**

※マージボールで、足裏や肩腰のリラクゼーションタイムを設ける

17	社会福祉法人生活クラブ	保健衛生業	従業員数 300~	関東
----	-------------	-------	--------------	----



**法人内研修資料を活用した安全衛生活動  
～介護のポディメカニクス8原則等の周知～**

事業者名 : 生活クラブ風の村  
業界・業種 : 社会福祉施設  
従業員規模 : 1800人  
地域 : 千葉県内各地

安全衛生に係る情報を周知しました！  
安全意識を高めるために労働者に周知したい  
労災の情報や腰痛防止の対策等について、  
研修やITを活用して周知に努めています。

**法人内の労災事故を  
社内SNS (kintone) で共有**

**2. 床に足をつけて正しい座位をとる**

床に足をつけて座ること、  
その際の椅子の  
必要なこと

**「介護のポディメカニクス8原則」**

①介護者と要介護者の重心を近づける。  
近づけることで負担が軽減しやすくなる。

②要介護者の移動をスムーズに  
持ち上げず、水平に運ばせる。  
移動方向に足先を向ける。



※ご紹介の資料は法人内研修資料  
の一部抜粋です

18

株式会社 日本ネットワークサポート 播磨工場

製造業

従業員数  
50～99

近畿

【腰痛予防部門】



## 腰をかかめない作業姿勢の確保による腰痛防止

事業所名：(株)日本ネットワークサポート播磨工場  
業種：製造業  
従業員数：80人  
地域：近畿/兵庫

背景（課題・ニーズ）

毎日の整備や仕上げ作業を行なうとき、腰をかかめた作業姿勢により、常に腰への負担があったため、負担軽減施策を模索していた。

取り組んだプロジェクト内容

腰への負担軽減は「腰をかかめない」という基本に立ち返ることにした。  
立ったまま腰をかかめずに作業をするには、立ったままの姿勢とした作業台を工場内にて製作した。作業台は重量物に耐えられる台が必要であったことから、試行・調整のうえ現在のものとなった。



やってみての効果

作業員は腰への負担が大幅に減少したと評判が高く、さらに足元がすっきりしたことで転倒防止にも寄与している。

19

社会福祉法人あかつき福祉会

保健衛生業

従業員数  
100～299

近畿



## 「全体」「個別」アプローチの組み合わせで腰痛予防の推進

社会福祉法人あかつき福祉会

(施設所在地) 大阪府箕面市  
(事業) 障がい福祉サービス  
(職員数) 125名

(これまで) ① 1～2年ごとに腰痛予防の専門家を講師に招き腰痛予防研修会の実施

職員「全体」  
(対応の一般化)

② 腰痛の労働災害発生時、産業医や作業療法士等の専門家に事案を報告⇒再発防止のアドバイスももらった上で、法人の全職員に労働災害事案の概要と専門家の再発防止アドバイスを周知



(令和5年度～) ③ 腰痛の労働災害を被った職員が実際に利用者介助を行っている様子を作業療法士に見てもらい機会を設け、作業療法士から個別に腰痛を引き起こさないための介助方法等を指導・アドバイスしてもらう

職員「個別」  
(対応の集中化)

取り組み始めたところであるため効果等については今後確認していく必要があるが、「全体」「個別」アプローチの組み合わせで腰痛を患う職員を1人でも減らしていく

## 5. 安全な職場づくり部門



## ゴールド賞

## 社会福祉法人 蓬愛会

1

保健衛生業

従業員数  
300～

関東



### 安全な介護の職場づくり 言語や文化の多様な外国人介護職員への 安全衛生対策の「見える化」

事業所名：社会福祉法人 蓬愛会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：約480名  
地域：関東/栃木県

## 背景（課題・ニーズ）

当法人では、増加する外国人介護職員への安全衛生対策に力を入れている。外国人が働く全ての施設において、言語や文化の多様性を踏まえ、「見える化」を実現し、「ゼロ災」に取り組んでいる。

## 取り組んだプロジェクト内容

## ①安全衛生教育の様子やテキスト

外国人職員への母国語を使用した  
安全衛生の意識付け



## ②ピクトグラムを用いた張り紙

母国語を使用してより理解できるように  
「見える化」をした



## ③意識付け用の貼り紙や名札

「Aない声かけ運動」により職員同士の  
コミュニケーションの向上につながっている



## やってみての効果

漫画による基礎研修、自国の言語入りピクトグラムにより興味関心が高まり、「Aない声かけ運動」を職員同士が声をかけあうことで、さらに安全衛生への意識が浸透してきている。対策を「見える化」することで、現在、外国人介護職員の「ゼロ災」を継続している。

## 今後の目標や展望

危機管理に対する意識は文化や慣習の違いによって差異がある為、この基本の取り組みを繰り返し継続することで「ゼロ災」活動を推進していく。

## ポイント

外国人労働者の方にもわかりやすい母国語やマンガ、図などによる安全衛生教育により、労働災害防止を図っています。労働者の安全の確保が、利用者の安全・安心につながります。



## シルバー賞

## 株式会社カインズ

2

小売業

従業員数  
300～

関東

CAINZ

安全な職場環境を自律的につくる  
店舗安全推進活動

事業者名：株式会社カインズ  
業界・業種：小売  
従業員規模：約25,200人  
地域：関東/埼玉

## 背景（課題・ニーズ）

- ・2022年3月より店舗メンバーによる「自律的な店舗安全推進活動」を開始
- ・2年目を迎え、ワークショップ不参加メンバーへの周知方法に課題

## 目的

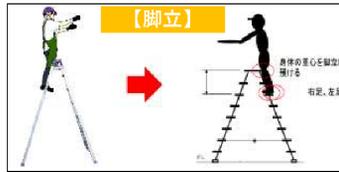
- ・店舗ごとの課題に対し、店舗メンバーが**自律的に**、より安全な店舗環境をつくり、安全意識の醸成をする

## 取り組んだプロジェクト内容

- ・隔月（奇数月）に「安全対策ワークショップ」を開催し、「ワークショップで決まった事」を掲示+毎月2万人以上が実施するKYTで入力  
⇒ワークショップに参加メンバーに対する周知が格段に進化



## 【重点テーマ】



## 【KYTとの連動】



## やってみての効果

## 【定量的効果】

- ・2021年 労働災害件数：112件 2022年 労働災害件数：117件
- ・2023年 労働災害件数：84件（前年比72%、前年差▲33件）※3月～10月末現在の比較

## ポイント

労働災害の防止のためには企業の取組だけでなく、労働者の主体的な参画が重要です。そのための仕掛けづくりをうまく進められています。



## ブロンズ賞

# マックスバリュ東海株式会社

3

小売業

従業員数  
300～

東海・北陸

### 【安全な職場づくり部門】



## 正しい作業手順を動画で理解し 労働災害防止へ

事業者名：マックスバリュ東海(株)  
業界・業種：小売業  
従業員規模：約20,000人  
地域：中部/静岡

### 背景（課題・ニーズ）

2022年3月～8月の期間において労働災害が前年より改悪となったことから、労災意識向上の一環として動画コンテンツを作成。

### 取り組んだプロジェクト内容

本年度は生産性向上を会社目標としており、効率的な働き方を推進するため、作業効率を中心とした動画コンテンツの作成を進めていたが、そこに労働災害防止に向けた「安全」の視点も入れることにより、労災意識の向上を図った。作成した動画は、バックルーム編と売場編の2本となり、全従業員が視聴できるように社内イントラネットに投稿。現在、新入社員の基礎教育に活用したり、労働災害の多い店舗に視聴させる等で活用を行っている。労働災害の原因の多くが慌てていたり気を緩めたりすることにより正しい作業手順を逸脱することにより発生しているケースが多く、この動画を通じて、安心安全の確保と生産性向上に繋げていきたい。



### やってみての効果

2023年9月～10月の期間においてはまだ数値結果には表れていないが、これまでの書面での周知よりもわかりやすいという声が多く、視聴した方の労災意識は向上している。課題は動画コンテンツの周知と教育時間の確保である。動画の周知については、毎週の人事部からの連絡事項で動画コンテンツの紹介を行っている。教育時間については年間計画に組み込むことで全従業員に視聴させていく。

### 今後の目標や展望

更に動画コンテンツを充実させ、安心安全と生産性向上を共に実現していく。

## ポイント

動画ツールを活用し、安全衛生教育を効率的・効果的に実施されています。



## ダイヤモンド賞

## ASKUL LOGIST株式会社

4

運輸業

従業員数  
300～

関東

ASKUL Logist

動画マニュアルで標準化（全国30拠点以上）

事業者名：ASKUL LOGIST株式会社  
 業界・業種：一般貨物自動車運送・  
 倉庫業  
 従業員規模：3,607人  
 地域：東京都

## 背景（課題・ニーズ）

- ①日々の入職者への雇入れ時の安全教育のバラツキがある。属人化しているので仕組化することが必要。（関東の拠点）
- ②少人数の拠点で、効率の良い教育が必要（関東の拠点）
- ③多様化する人材（外国籍、障がいのある社員）が増えていくなかで、理解しやすい教材を整備していくことが必要（九州の拠点）

## 取り組んだプロジェクト内容

各拠点毎で、それぞれの課題解決に動画安全マニュアルを作成。その後、複数拠点の取り組みを最終的に統合。理解しやすいマニュアルで仕組化、効率化を実現して、全社で標準化することが出来た。（紙マニュアルから動画マニュアルへ）



## やってみての効果

各拠点の良い取り組みを共有することにつながり、会社全体の安全の管理レベルが向上。教育工数が削減され、教育品質は向上。自動翻訳もついている仕組なので、外国籍社員教育も品質向上。安全性向上に繋がっています。

## 今後の目標や展望

すべての社員にとっても安全で働きやすい職場を実現することを目指します。

## ポイント

動画ツールを活用し、安全衛生教育を効率的・効果的に実施されています。

北海道・東北ブロック賞



5	イオン北海道株式会社	小売業	従業員数 300～	北海道・東北
---	------------	-----	--------------	--------

別添1-2

**AEON** セーフティシューズで安全・安心！  
従業員を「挟まれ事故」から守ろう！  
イオン北海道株式会社

事業者名：イオン北海道株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：18,693人（2023/2末）  
地域：北海道

店舗では、商品を運搬する際、「台車」や「カートラック」を使用します。  
重たい商品を運搬する機会が多い業種のため、**使用頻度を削減せず**に、事故発生削減を目指しました。

**「台車」や「カートラック」のタイヤに足を挟めてしまう事故が多発！**

そこで該当部門担当者従業員  
約3,500名に**セーフティシューズ**を  
導入

導入後の事故件数 **50% 削減**

従業員の声  
・想像していたものと違う！デザインもいいし、軽くて歩きやすい！  
・安心して作業を進められます。

好評です

北海道・東北ブロック賞



6	イオン北海道株式会社	小売業	従業員数 300～	北海道・東北
---	------------	-----	--------------	--------

別添1-2

**AEON** 全員参加のヒヤリハット！  
みんなの職場をみんなで守ろう！  
イオン北海道株式会社

事業者名：イオン北海道株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：18,693人（2023/2末）  
地域：北海道

・昨年労働災害の発生件数が非常に多かった店舗  
・今年労働災害を多く発生させている店舗

**労災対策強化店舗**

まずは自店の「危険」を共有をするため、**全員参加のヒヤリハット**を実施。（Formsを使用）

・多くの従業員がなんとなく感じていた「危険な場所」を数値化することで、意識するようになった。  
・今までは声に出すことをためらいのあった従業員も**全員参加**をした効果で、様々な意見集約ができた。  
・**管理者だけでは気が付かなかった**不具合がわかり、店舗巡視時のチェック箇所に活かすこと出来た。

**労災対策強化店舗  
労働災害発生件数昨年比 45%**

北海道・東北ブロック賞



7	社会福祉法人みゆき福祉会	保健衛生業	従業員数 100~299	北海道・東北
---	--------------	-------	-----------------	--------

こまめな水分補給で熱中症予防

社会福祉法人みゆき福祉会  
業界・業種：保健衛生業  
従業員規模：100~299  
地域：北海道・東北

**背景**

熱中症が社会現象ともなる現代で、介護現場で働く職員は水分補給の時間も確保できない状況にあります。そこで、全職員が気兼ねなく水分補給ができる、健康で安全な労働環境の整備が必要と考えました。

**取組み**

職場の共通認識として水分補給を掲げ、水分補給の時間を堂々と確保してもらえるよう、安全衛生委員会でポスターを作成。お風呂場の前や各部署の職員が目につく場所に貼りだし、意識を高めてもらう。

2019年

2022年

2023年

**効果**

毎年違ったポスターを作成し貼りだすことで、取り組みを1度で終わらせず、常に意識してもらえるように工夫しました。職員がマイボトルを持ってお風呂介助に向かう様子が見られます。水分補給は職場の方針であることを明らかにするものであり、新人職員も気兼ねなく水分補給ができています。

関東ブロック賞



8	日東精密工業株式会社	製造業	従業員数 100~299	関東
---	------------	-----	-----------------	----

激突!! ドアの向こうに危険!  
~ワッと、ヒヤッとを防止せよ~

事業者名：日東精密工業株式会社  
業種・業種：製造業  
従業員規模：111人  
地域：関東/埼玉

**背景（課題・ニーズ）**

向こう側が見えない工場への扉。押して開けたら「ワッッッ！」って悲鳴！大事には至らなかったが、もし製品を移動している台車にぶつかったら...そんな危険を察知できるアイテムを導入しました。

**取り組んだプロジェクト内容**

ドアの両側に人感のセンサーライトを設置することで、ドアの向こう側の見えない人を察知。

警告音と光で知らせてくれるので、開閉時の危険を防止できるようになった。

各工場の見えない扉に設置しています！

**やってみての効果**

導入して、最初は聞きなれない音に戸惑いもありましたが、音と光で主張してくれるので、扉を開けるタイミングを確かむことができ、ヒヤッとする事もなくなりました。

**今後の目標や展望**

目標『0災!』を目指し、今後も安全な職場づくりに努めます！

関東ブロック賞



9	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	従業員数 300～	関東
【安全な職場づくり部門】				
<h2 style="margin: 0;">安全ミニ動画活用による 類似災害、重篤災害の防止</h2>		事業者名：東芝インフラシステムズ 社会システム事業部 業界・業種：建設業 従業員規模：約2,000人 地域：関東		
背景（課題・ニーズ）		目的		
過去の災害事例を回覧しても、朝礼で注意喚起しても、忘れたころに類似災害が発生している		動画をみて作業中に思い出していただき、災害を起こさない意識付けを行う。		
取り組んだプロジェクト内容				
<p style="text-align: center;">安全ミニ動画（サイネージ上映状況）</p>	<p style="text-align: center;">建設部門 安全 オリジナルキャラクター</p>	過去の災害事例などを基に、建設部門の安全オリジナルキャラクターを使用して短いマンガ動画を製作。安全教育、休憩時間、該当作業がある時の朝など、デジタルサイネージで放映することで、繰り返し流すことによる、基本ルールの浸透刷り込み効果を期待。（1タイトル2分～4分程度） 現場作業員に向けとし、動画を見て作業中に思い出していただき、災害を起こさない意識付けを図る。（現在2タイトル製作）		
やってみての効果				
現場作業員の方からは、「わかりやすい」「親しみやすい」など好評を得ている。				

関東ブロック賞



10	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部	建設業	従業員数 300～	関東
【安全な職場づくり部門】				
<h2 style="margin: 0;">フィールド安全推進事例の紹介</h2>		事業者名：東芝インフラシステムズ 社会システム事業部 業界・業種：建設業 従業員規模：約2,000人 地域：関東		
背景（課題・ニーズ）		目的		
・労働災害防止のため、安全意識の高揚を図りたい。		現場安全パトロール時に見つけた好事例・創意工夫事例を各現場、関係協力会社に展開し、現場安全意識の底上げを図る		
取り組んだプロジェクト内容				
		現場安全パトロールを実施した際、改善指摘事項だけを挙げるのではなく、好事例や創意工夫されている事例も収集している。安全な職場づくりを目指すため、その好事例や創意工夫事例を他現場でも参考として活用していただくため、毎月発行している安全ニュースの別冊として不定期に発行し、情報展開している。（安全ニュースは関係協力会社にも配信し、現場作業所・作業員詰所でも掲示している）		
やってみての効果				
関係協力会社も含め、安全ニュースに関するアンケートを実施した。その際、この好事例・創意工夫事例の展開を有益であるとの意見を多数いただいている。				

関東ブロック賞



11

SOMPOひまわり生命保険株式会社

金融業

従業員数  
300~

関東



SOMPOひまわり生命

事業名：SOMPOひまわり生命保険株式会社  
業種・職種：金融・保険  
従業員規模：約2,700人  
地域：関東/東京

「SOMPOひまわり体操」制作・健康応援セミナー開催で安全衛生強化！

【背景】

当社は、お客さまの健康を応援する「健康応援企業」の確立をビジョンに掲げており、そのためにはまず社員とその家族が健康でなければならないと考え、健康経営に積極的に取り組んでいます。健康経営において、社員の安全衛生強化のため、運動不足解消や労働災害防止の目的で、各種施策を実行しています。

★「SOMPOひまわり体操」の制作・展開★

運動不足、ストレス等の当社の健康課題を解決することを目的とし、日常で気軽に取り組めるような簡単な動作を中心に10ステップで心身のリフレッシュを促すオリジナル体操「SOMPOひまわり体操」を制作、展開しています。体操の動きは健康診断データや社員アンケートなどから当社の健康課題を分析して構成し、また労働災害防止を意識した、腰痛予防・改善、筋強化、認知症予防等の要素も取り入れました。さらに、当社をイメージするカラーや当社キャラクターなどを多用し、ゴルフ好きの社員が多いことからゴルフスイングの動作を取り入れるなど、愛着を持って実践できる工夫をしています。個人、職場単位、社内外のイベント等で実施し、運動不足の解消、労働災害防止のみならず、コミュニケーションの活性化にも役立っています。体操は社員だけでなくお客さまや取引先の皆さまに加え、広く一般の方に視聴・実践いただけるよう、動画をYouTubeで公開しています。

★効果★

社内アンケートでは体操を実施することで、「運動になった」、「気分転換になった」などの感想が多く挙がり、心身のリフレッシュにおいての効果が認められています。また社員向けに定期的に行っているアンケート結果より体操の導入前後で運動習慣者比率※が7.8%増加しており、運動習慣の定着により、今後の安全衛生への寄与が期待できます。



※運動習慣者比率の推移

2023年 1月	2023年 8月
33.1%	40.9%

(社員向けアンケート結果より)

★「転倒・腰痛予防セミナー」の開催★

社員の健康課題のトップである「運動不足」の解消、また改正高年齢者雇用安定法による、さらなる高年齢者の就業機会の確保推進および労働災害の中で特に増加傾向といわれている「転倒」を防止・予防するための体づくり、腰痛等によるプレゼンティズム低減を目的とした「転倒・腰痛予防セミナー」を開催しました。

★効果★

事後アンケート結果より、年齢を重ねることにより起こる体の変化について学だけでなく、自身の筋力や敏捷性を知ることができ、日頃から意識してエクササイズを取り入れるなど、転倒しやすい身体づくりが実践されていることが分かりました。今後社員の行動変容に加え、職場の労働災害を防止する効果が見込まれます。



【今後について】

引き続き社員の健康維持・増進に向けた取組みを実施することで、社員のヘルスリテラシー向上を図り、運動不足解消および腰痛・転倒などの労働災害防止に繋がります。

関東ブロック賞



12

イオンリテール株式会社

小売業

従業員数  
300~

関東

意識から変えよう「ご安全に」活動

事業名：イオンリテール株式会社  
業種・職種：小売業  
従業員数：11,000人  
地域：全国



製造業の視察を通して「おつかれさま」よりも「ご安全に」という言葉で挨拶を交わし、常日頃から危険や労災への意識が高いことを学ばせて頂きました。当社でも意識から変えようということで、まずは朝礼の締めの挨拶で実施しています。

### 労働災害のない職場づくり 「今日も1日ご安全に活動」

◆◆ 合同朝礼や昼礼等の締めくりに、全員で声掛けに取り組みましょう ◆◆

**未然防止**

**再発防止**

**意識改革**

<背景と目的>  
小売業の労働災害は増加傾向にあり、国をあげての課題となっています。  
イオンリテール・イオンリテールストアでも、多くの労働災害が発生しており、安全な職場環境の実現にむけて、様々な取り組みを実施しています。  
設備面や手順整備の対策に加えて、労働災害を削減するためには、ケガをしない意識を高めることも欠かせません。  
そこで、『安全に業務を行い、無事に自宅に帰りますよ』という意識を全員で持っていただけるように、「今日も1日ご安全に」の声かけ活動を始めていきます。  
皆さんも声を掛け合い、『今日もケガをしないぞ』という意識を持って、業務に取り組んでいきましょう。

今日も1日ご安全に頑張りましょう！！

挨拶訓練

連絡事項

①.....

②.....

③.....

この後は、各部署・チーム単位で朝礼を実施してください。

それでは、従業員同士、お取引先様、お客さまへの快い挨拶と、全員1日ご安全に。

本日も、おおいに頑張りましょう！（頑張りましょう！）

意識改革  
近道行動の撲滅

関東ブロック賞



13

イオンリテール株式会社

小売業

従業員数  
300~

関東

可視化がポイント！ 同種災害は二度と発生させない

企業名：イオンリテール株式会社  
業種：小売業  
従業員数：11万人  
地域：全国



【同種災害防止対策書】

業務上災害発生時は、「同種災害再発防止対策書」を作成し、その内容を基に安全衛生委員会で原因と対策を議論し、掲示板に掲示することで店内で情報共有を実施

■同種災害再発防止対策書（全社共通）



- 字が多い
- 読まないと分からない
- 読むのに時間がかかる
- 文章力によって受取方が変わる

【掲示用フォーマット追加】

全社共通フォーマットに加え、「再発防止対策シート」(右下)により、発生状況と対策のBEFORE/AFTERを写真付きで表現することで、従業員が共通認識しやすい工夫を実施

■業務上災害再発防止対策シート



品出し時に床に置いてあった商品段ボールに躓いて転倒した事案  
→床に置くことは禁止し、品出しの台はカット台車を使用するルールにして再発防止

関東ブロック賞



14

イオンリテール株式会社

小売業

従業員数  
300~

関東

みんなで考えよう 労災防止委員会の設置と実施

企業名：イオンリテール株式会社  
業種：小売業  
従業員数：11万人  
地域：全国



当社では、安全衛生に特に労災について削減できるように取り組みました。基本の徹底はもとより、**新たな視点・多角的な視点・皆の知恵**により従業員の安全な職場作りを実現するために、「**労災防止委員会**」の設置を行いました。

**毎週第三水曜日 労災防止委員会実施内容**

**メンバー**

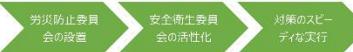
- ・各グループ1名以上委員を設定（パート社員中心）
- ・半期に一度、メンバーを改変し、新たな視点を入れる

**内容**

- ・事前に各グループMGRにヒヤリハットの報告を求める
- ・グループ分けし、1日2回開催（各30分）
- ・実際に店舗内部を巡回しながら、危険箇所を確認する
- ・報告を受けた**危険箇所**・委員会で出た**危険箇所**は**すぐに改善**する

コーナーミラーの設置	トイレの手すり（支え）設置	照明の追加
視野が狭い所、見通しが悪い所があるので、たまにぶつかりそうになる	ドアの塗装が剥がれているということは、トイレを使用する人がこぼして靴を脱いだりしているということで支えが必要	小さい什器の保管場所で似ている物も多いので暗いと間違いやすい危険。明るくしてほしい。

改善した箇所は安全衛生委員会で報告 意見の出た危険箇所は議題にし、より良い改善へアプローチ



日付	場所	発見内容	改善状況	担当
2023/01/10	店舗A	商品段ボールが床に放置されている	カット台車を使用するルールを徹底	安全衛生委員
2023/01/17	店舗B	トイレの手すりが壊れている	手すりを取り付け	安全衛生委員
2023/01/24	店舗C	照明が暗い箇所がある	追加照明を設置	安全衛生委員
2023/01/31	店舗D	商品棚のミラーが設置されていない	コーナーミラーを設置	安全衛生委員
2023/02/07	店舗E	商品棚の塗装が剥がれている	塗装を塗り直し	安全衛生委員
2023/02/14	店舗F	商品棚の照明が暗い	追加照明を設置	安全衛生委員
2023/02/21	店舗G	商品棚のミラーが設置されていない	コーナーミラーを設置	安全衛生委員

**まとめ**

- ・できるだけ多くの視点で店内を確認する  
→性別・年代別の視点による危険箇所の差
- ・早めに対策を打ち結果をすぐに返す  
→伝えればやってくれると思わせる
- ・基本対策を継続し、環境を維持する  
→道路の確保、定位置管理

関東ブロック賞



15

株式会社IHIエスキューブ

通信業

従業員数  
300~

関東

【安全な職場づくり部門】



株式会社IHIエスキューブ

背景（課題・ニーズ）

デスクワーク中心の業務特性を考慮し、2018年度より、肩こりや腰痛予防、心身のリフレッシュに効果的なストレッチを組み合わせたオリジナル「グッドコンディション体操」を毎日、始業時の5分間実施していた。オリジナル体操の導入から4年が経過し、体操のマンネリ化や在宅勤務下での運動不足の背景を受けて、オリジナル体操の新バージョンを今年度より導入することとなった。

取り組んだ内容

従来より毎日職場で実施しているオリジナル体操について、「少しでも みんなで 楽しく継続できる運動」をテーマに次の効果全てを組み込んだ体操を新たに導入した。

＜グッドコンディション体操(新Ver.)の特徴＞

①短時間でも運動効果\*のある体操筋トレ&ストレッチ要素の組み合わせ

筋肉豊富な下半身や体幹バランスを整える動き複雑な動作をあえて組み込み、脳の認知機能を刺激できる動き

\*運動効果：全身や脳の血流を促し、意欲や集中力UP、代謝UPなど

②みんなで楽しく、表情豊かに実践できる体操

リズムカルかつ多彩なテンポの音楽で、楽しさを取り入れた動き



体操動画オープニング映像 研修時も、受講者全員、体操でスタート

やってみての効果

2018年度の導入1年後の2019年度末に集計した健診時の問診アンケートにおいて、導入前に腰痛を訴えていた従業員のうち、6割が腰痛の改善を確認した。また、始業時に実施することで、「始業へのメリハリがつく」などの声もあった。

新バージョンは2023年10月から順次導入しているため、導入効果は未評価だが、「これまでと同じ5分間でも体が温まる」「全身に力がいみなぎる感じがする」など短期効果を実感する声が聞かれている。

今後の目標や展望

新バージョンの展開を通じて、全職場で毎日5分の運動習慣の確立を目指す

関東ブロック賞



16

株式会社カクヤス

小売業

従業員数  
300~

関東

なんでも酒や  
カクヤス

e-ラーニングを活用し、  
安全衛生年間教育を実施！

事業者名：株式会社カクヤス  
業界・業種：小売業  
従業員規模：約4,700人  
地域：関東/東京

背景（課題・ニーズ）

新型コロナウイルスが流行しオフラインでの研修やOJTなどの実施が困難になったため、新たな教育ツールとしてパソコン・スマートフォン等からe-ラーニングを活用して安全衛生年間教育を実施、定期的に見直しを図ることで従業員の安全と健康の更なる確保に努めています。

取り組んだプロジェクト内容

- ① 季節性や労働災害の発生状況を考慮して、本社にて安全衛生年間計画を前年の第4四半期中に策定。
- ② e-ラーニングに掲載する資料および当該内容の理解度を図る確認テストを作成し、原則実施月前月の25日にイントラを活用して配信。
- ③ 全従業員は原則実施月中に実施することで実施記録を残す。
- ④ 本社にて実施状況を確認し、遅れが生じていれば実施を促す。



実施月	安全衛生年間計画	実施内容
4月	労働災害防止、現場の改善性	暑熱予防の教育
5月	カゴ車、パワーカート等の安全	熱中症予防の教育
6月	ヒヤリ・ハット事例	飲料禁止の教育
7月	トラックの急ブレーキ時の対応	換気扇の教育
8月	新機知覚機（ICRF）	換気扇による呼吸器の教育
9月	リスクマネジメントの教育	換気扇による呼吸器の教育
10月	換気扇（ICRF）の教育	換気扇による呼吸器の教育
11月	換気扇（ICRF）の教育	換気扇による呼吸器の教育
12月	—	—
1月	コロナウイルスの教育	生活防衛教育の教育
2月	スライディングドアの教育	換気扇による呼吸器の教育
3月	換気扇（ICRF）の教育	換気扇による呼吸器の教育

やってみての効果

実施後、一部従業員へのヒアリングの結果、「自分のペースで学習できる」「学習状況がすぐにわかる」「確認テストで習得した知識を整理できる」といった意見がありました。

今後の目標や展望

実施率は向上したものの100%に至ってはいないため、100%の実施を目指します。また掲載内容について継続的にモニタリングを実施し、従業員からの意見や要望の収集を行い改善に繋げます。

関東ブロック賞



17

一般社団法人日本芸能従事者協会

その他

従業員数  
100~299

関東



背景 (課題・ニーズ)

・会員(団体、個人、学生・未成年):約52,000人 ・各年調査で労災が約7割、ハラスメント約7割、パワハラ約9割起きている ・フリーランスであるため、事故防止の教育の機会が取りづらく、職場での安全衛生管理が行き届いていない

耳で聴く安全衛生  
Ars Workers Talk Labo  
(podcast番組)

事業者名:一般社団法人  
日本芸能従事者協会  
業界・業種:芸能  
会員規模:約52,000人  
地域:東京/全国

目的

安全衛生教育が行き渡りにくい芸術・芸能界のフリーランスに、啓発のきっかけを作り、事故や精神疾患の原因となるハラスメントを予見することで未然に防止する

取り組んだプロジェクト内容

スマートフォンやパソコンで便利に使えるポッドキャストを運用し、いつでもどこでも実施できる安全衛生の啓発を毎週更新して実施する



多彩なゲスト

【対象人数】

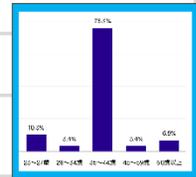
#04.05 Guest: 黒澤世莉(旅する演出家) ナビゲーター: 森崎めぐみ(俳優)  
演劇の現場をバージョンアップする!  
「ハラスメントのない稽古場作り」「劇場には危険がいっぱい!」  
#02 Guest: 笠原恵実子(美術家)  
「美術分野のハラスメント調査 可視化された課題」  
#01.03 Guest: 水谷八重子(新派俳優)+武蔵芳照(東京健康リハビリテーション研究所所長/東京大学名誉教授)  
「ネコと転倒」「転倒のメカニズム」「芸能界の転倒予防」  
#00Guest: 深田晃司(映画監督)「芸術・芸能業界の安全衛生とは何か?」 ※ 毎週木曜日更新

会員: (52,000人) ほか  
URL:  
<https://open.spotify.com/show/2OYGz7ehqMaZso5fsDAXI?si=25e4a818554d4b34>

やってみての効果

【効果】

「わかりやすい!」「誰も取り組んでいなかった!」「一人じゃない」の声が届きました。  
事故の多い現役世代(35歳から44歳)に高確率でリーチ!(75.9%)



関東ブロック賞



18

社会福祉法人 彩光会 あげぼの

保健衛生業

従業員数  
100~299

関東



組織での再発予防  
～介護を続けるための復帰プロセス～

事業者名:社会福祉法人 彩光会  
業界・業種:医療・福祉  
従業員規模:200人以上250人未満  
地域:関東

背景 (課題・ニーズ)

コロナに罹患した職員が在宅療養中に咳をしたことでぎっくり腰を発症。3週間の休みを経て復帰も痛みが残る状態に。  
「早期復帰<今後も続けられるための復帰=介護人財の継続的な確保」と考え、復帰プログラムを立案した。

取り組んだプロジェクト内容

- ① アンケートの実施
- ② アンケートの分析
- ③ 復帰後1週間での被験者評価
- ④ フロア管理者との共有
- ⑤ 復帰プログラムの作成(5段階)



復帰  
プログラム1ST

復帰  
プログラム表紙

やってみての効果

- 【当事者への効果】
  - ・ 復帰後の再発不安の軽減。
  - ・ プログラム化した事での留意点が明確になる。
- 【管理者への評価】
  - ・ 相互チェック方式としたことでの振り返り(対策)時間の増加。
- 【他の介護職員】
  - ・ どこまでやらせていいのか「現在地」把握と共有が容易に。  
=不必要な不平不満が出なくなっている。

今後の目標や展望

- 【本書式の活用】
  - ・ 本事例が初事例であるため、活用の中で制度を上げる必要がある。
  - ・ 意識しすぎると当事者の精神的負担になる可能性もあるため、フィードバックは必須と言える。
- 【腰痛そのものの予防】
  - ・ 再発防止以前に、腰痛予防の為に仕組みや体制確保も並行。
  - ・ アンケート結果を基にしながら腰痛リスク分布図の作成も視野。

関東ブロック賞



19

社会福祉法人三育ライフシャローム若葉

保健衛生業

従業員数  
100~299

関東



ちょっとした工夫と気遣いで、もう「痛い」  
思いはしません！  
—小窓つき扉へ変更—

事業者名：シャローム若葉  
業界・業種：高齢者福祉  
従業員規模：35人（3事業所106人）  
地域：千葉市若葉区

事業所単位規模では、当法人では安全衛生委員会設置義務は該当しないものの、①従業員の安全②権利を守り③職場環境の柔軟な見直し、が経営の安定・職員の定着に繋がると考え、自主的に安全衛生委員会を設置。⇒安全衛生委員の役割、目的を理解するために衛生管理者資格を取得。⇒経営責任者、労務管理責任者などへ提言を行う。

**改善事例**：以前より一部事業所において、事務室と隣接する会議室への出入り時に職員がドアにぶつかり、事故が頻繁に発生していた。使用されていたドアが旧タイプのもので、注意喚起だけではあまり成果は上がらず、小窓が付いた物への変更を安全衛生委員会より会社へ提言、変更した。

【従来のドア】



【交換後の扉】



このように  
メリハリを  
つける



開ける扉側には小窓付

開ける事のない扉側には  
小窓なしの従来通りの扉

**課題とまとめ**：安全衛生の活動を実践していく上で、予算計上しなければならない事案については、特に経営者の理解を得る事が鍵となる。そのためには、対策をしないことによる弊害、被害等（損害賠償など）の事例を用いて安全衛生委員に説明し、安全衛生委員会の責務を委員が十分理解し、従業員の安全を守る代弁者になる必要がある。

そうした委員等の姿勢や経営者との交渉にあたる態度等を通じて、安全衛生に真摯に取り組む姿勢は、会社のイメージアップに繋がり、職員から会社への信頼に繋がることについて、経営者に理解してもらうことに留意している。

東海・北陸ブロック賞



20

株式会社ササキ

製造業

従業員数  
100~299

東海・  
北陸

**SASAKI**  
Connecting trust more.

DXを活用した安全衛生週間  
スローガンを動画配信

事業者名：株式会社ササキ山梨本部  
業界・業種：製造業  
従業員規模：100~299  
地域：東海・北陸 / 山梨

背景（課題・ニーズ）

掲示板としてサイネージ・アンドン【デジタルモニター】を導入

「どうすれば従業員に周知できるか」を議題に挙げ、安全衛生委員会で具体的な取り組み方法を検討

旧工場：スローガン壁に掲示

過去の取り組み



掲示しても読んでもらえない…  
どうすれば、安全意識の高揚と、  
日常的な安全活動の定着を  
図ることができるのか？

従業員を巻き込んでスローガン動画を撮影

取り組んだプロジェクト内容



ゼロ災で  
行こう

従業員が出演する動画を配信することで、  
興味・関心を持ってもらうことが狙い

撮影したスローガンをサイネージで動画配信

やってみての効果



ゼロ災で  
行こう

身近な従業員が映ることで関心アップ  
音声による呼びかけ配信、耳からの情報で  
安全意識を浸透させることができた

今後の目標や展望

SDGsの観点からペーパーレス化が加速し、掲示・回覧物なども紙媒体からデジタル媒体へ移行した。これに伴い、今まで紙媒体で情報を得ていた従業員に対し、どれだけ分かりやすく情報発信できるかが課題となった。サイネージ・アンドンで情報発信することで、従来より早く・どこでも情報を得られる利点を有効活用し、安全衛生週間スローガン啓蒙活動が活発になった。今後も社内全体の安全意識向上と職場事故0件継続を目指す。

東海・北陸ブロック賞



21

藤原工業株式会社

建設業

従業員数  
10～29

東海・  
北陸



藤原工業株式会社

背景（課題・ニーズ）

みんなで城のぼり 楽しく体づくり  
安全で健康にたてもものづくり

事業者名：藤原工業株式会社  
業界・業種：建設業・設備工事業  
従業員規模：約25名  
地域：東海・北陸／三重県

当社では、現場においてヒヤリハット事例を収集し蓄積しているが、その最も多いものが「現場にてつまづきそうになった」といった転倒災害についてのものであった。また、ラジオ体操は毎日やっているものの、それ以上の週に1度の運動習慣がなかなか時間が取れないという背景があり「運動習慣の大切さ」は理解しているが、その最初の1歩を踏み出すハードルが高いという課題があった。また、従業員同士の健康についてなかなか話し合う時間が取れないままであった。

プロジェクト内容とその効果

社員全員でお互いの健康について話し合いながら、伊賀上野城にのぼるハイキングを計画した。履きなれたスニーカーでみんなで歩くことによって、それぞれの歩幅やスピードの違いを話しながら交流を深めるだけでなく、「どんな時につまづきやすいか」ということについて年代を跨いでコミュニケーションをとることができた。また、この城のぼりをきっかけにお互いの健康について気遣いあい・声を掛け合いながら仕事を進めるだけでなく、趣味として山登りを始めた社員や夕方に散歩をするという健康習慣をつくることができたものもいた。  
「安全をすべてに優先する」という当社方針のなかで、健康は安全への第一歩であるという考えに基づき、今後も楽しく「体づくり」をしながら「たてもものづくり」をしていきたいと考えている。



東海・北陸ブロック賞



22

イオンリテール株式会社  
北陸信越カンパニー

小売業

従業員数  
300～

東海・  
北陸

別添2-2

事業者ロゴ

ヒヤリハット報告の簡易化と対策のスピード化による労働災害未然防止

事業者名：イオンリテール株式会社  
北陸信越カンパニー  
業界・業種：小売業  
従業員規模：10600  
地域：新潟、長野、北陸

● 労災発生後に、危険かもしれないと気付いていたが対策が遅れ労災につながる案件があった。また危険箇所があっても、なかなか情報があがってこない。（ヒヤリハットボックスが活用されていない）危険箇所の情報を確実に吸い上げるには⇒誰でも簡単に報告できることが大切⇒後方に付箋貼付場所を設置

小売業の労災状況の共有と注意喚起

ヒヤリハット活動  
危険箇所を発見したら、書いて貼ってください。小さなことでもOK！  
-いつ、どこで、どうしていた時  
-ヒヤリとした内容 など

危険箇所に気付いたら付箋に記入し添付



誰でも気付いたときにすぐに簡単に情報を貼れる場所を作る

<記入内容>  
-いつ、どこで、どうしていた時、ヒヤリとした内容

ミーティングでの情報共有

ミーティングの前にヒヤリハット情報を回収し、ミーティング時に共有

対策の実行

即、対応できるものはスピーディに対応  
対応に時間のかかるものは「いつまでに」実施するか決める  
放置しない。仮対応可能か？

-ミーティング、安全衛生委員会

対策実施状況の報告

安全衛生委員会での報告、ヒヤリハット情報貼付場所での掲示

近畿ブロック賞



23	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	従業員数 300~	近畿
----	------------	-------	--------------	----



**利用者と一緒に運動習慣と介護予防  
～ペガサス健康クラブ～**

事業者名：社会医療法人ペガサス  
業界・業種：医療福祉  
従業員規模：300名～  
地域：近畿



サービス付高齢者向け住宅「ペガサスロイヤルリゾート」では、日々の運動習慣の定着と介護予防を目的として平日毎日午前8:30から 30分程度体操と起立着座運動を行っています。体操と起立着座訓練を行っているのはペガサスロイヤルリゾートの入居者と入居者を見守る業務を担っている見守り隊の職員（高齢者）です。健康クラブに参加された方には、クラブカードに出席ポイントを押し印して、ポイント数に応じて素敵な商品と交換できるようにして、インセンティブを設けて継続参加できるように工夫しています。





月に一度、理学療法士や看護師などが測定し、運動の効果を評価しています。評価項目は血圧、握力、体脂肪測定、6分で何メートル歩けるか、起立30回を何分できるか等です。毎日約20人の利用者と職員が参加し、日々の運動習慣の定着を図っております。

近畿ブロック賞



24	ロイヤルホームセンター株式会社	小売業	従業員数 300~	近畿
----	-----------------	-----	--------------	----



**実行力を高める！安全教育  
(教育コンテンツの漫画化と動画化)**

事業者名：ロイヤルホームセンター(株)  
業界・業種：小売  
従業員規模：約4,000人  
地域：近畿/大阪

【資料作成例：安全な職場づくり部門】

背景（課題・ニーズ）

- ・フォークリフト事故件数の増加（2022年）⇒マニュアル違反が起因した事故が大半を占める。
- ・マニュアル（活字）離れ（理解度・実行力の低下）⇒活字中心の教育コンテンツを見直す。

目的

- ・フォークリフト事故「ゼロ災害」の達成
- ・フォークリフト安全週間を定め、新コンテンツを用いてマニュアル遵守のための啓発活動をおこなう。

取り組んだプロジェクト内容

目と耳に直接的に訴えかけ、理解のスピードを上げ、且つ理解を深めることで「実行力」を高める⇒安全週間に向けて以下のコンテンツを配信

漫画コンテンツの配信  
※教育漫画は隔月発行（フォークリフト編は2022年10月発効）



動画コンテンツの配信  
(作業指揮者編・指差呼称編など 2023年2月より順次配信)



安全週間前に研修も実施しました



やってみての効果

- ・第1回フォークリフト安全週間（2023年4/1～4/7）⇒**ゼロ災害達成**
- ・第2回フォークリフト安全週間（2023年10/1～10/7）⇒**ゼロ災害達成**
- ※2023年累計事故件数も減少傾向⇒2023年10月末時点で前年同月比△40%

今後の目標や展望

- ・漫画コンテンツの定期発行の継続（隔月配信/安全以外のテーマ含む）
- ・KYT活動および過去の事故事例の動画化（事故事例動画2件進行中）
- ・マニュアルの動画化（行動に伴う手順の動画化）

近畿ブロック賞



25

京都生活協同組合

小売業

従業員数  
100~299

近畿



23上期労災ゼロ月間の取り組み

事業者名： 京都生活協同組合  
業種・業種： 商業/小売業  
従業員規模： 約3,600人  
地域： 近畿/京都

背景（課題・ニーズ）

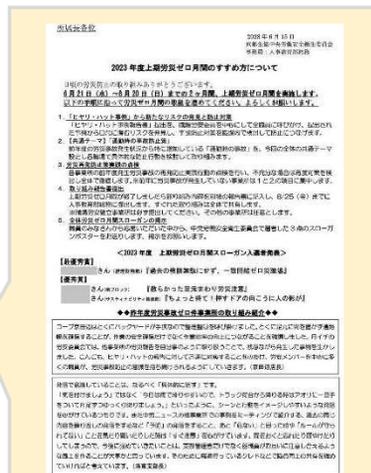
当組合では、労働災害に加え、通勤災害も含めて防止対策を講じています。昨年度は、通勤時に事故にあう例が多く（労働災害と通勤災害の合計の約25%）、その約半数が転倒事故となっていました。

取り組んだプロジェクト内容

- 毎年2回、「労災ゼロ月間」を設定し、組合全体で災害防止に取り組んでいます。
- 上記の背景から、2023年度上期の「労災ゼロ月間」には、「通勤時の事故」防止と「ヒヤリ・ハット事例共有改善」を中心に取り組みました。
  - ・ 「ヒヤリ・ハット事例報告書」提出を、職場労安委員を中心に全職員に呼びかけ
  - ・ 特に増加している「通勤時の事故」を、今回の全体の共通テーマを設定し各職場で具体的な防止行動を検討
  - ・ 前年度発生した労災事故の再発防止実践行動の点検と、対策徹底
  - ・ 労災ゼロ月間スローガンのポスター作製と掲示

やってみての効果

結果、通勤事故は1件(被害事故)、ヒヤリ・ハット事例は256件提出され職場内で共有されました。全体で70%の事業所で労災ゼロとなり、特に店舗部門では17事業所中15事業所で労災ゼロを達成しました。



九州・沖縄ブロック賞



26

株式会社 LIXIL 有明工場

製造業

従業員数  
300~

九州・  
沖縄

LIXIL 「Workplace」を利用した  
動画KYによる危険感受性の向上

事業者名：株式会社 LIXIL 有明工場  
業種・業種： 製造業  
従業員規模： 820名  
地域：九州/熊本

背景（課題・ニーズ）

- ・ 数人でチームを組んで実施するのが一般的
- ・ 従来のKYTで使用イラストや写真ではイメージしづらいことがある

取り組んだプロジェクト内容

社内コラボレーションツール「Workplace」に60秒前後の動画をアップし、各自のパソコンやスマートフォンで視聴して危険予知トレーニングを全従業員が実施する

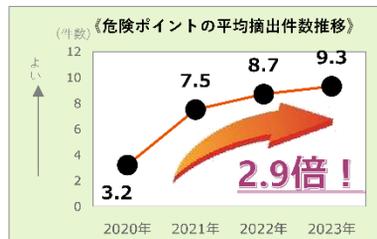


目的（狙い）

動画の中の作業や職場に潜む危険性や有害性等の危険要因を発見し解決する能力を高める

やってみての効果

2020年より開始して、危険ポイントの平均抽出件数が3.2件/人から9.3件/人に向上  
\* 外国人実習生を含む



九州・沖縄ブロック賞



27

KMバイオロジクス株式会社

製造業

従業員数  
300～

九州・  
沖縄

健康にアイデアを

kmb

危険感受性を高める充実の活動を！  
～安全・全員参加型・職場密着【現場KY】～

事業者名：KMバイオロジクス株式会社  
業種・業種：医薬品製造販売業  
従業員規模：2,029人  
地域：熊本

背景（課題・ニーズ）

労働災害発生危険性の高い部署であるうえに、数年前に休業災害が発生。安全衛生活動を推進はしていたものの、マンネリ化の改善、より自分たちの職場に密着した自主的な活動の必要性が求められた。

取り組んだプロジェクト内容

作業現場へ向かい、作業方法・機械設備・作業環境を見ながら、作業の中に潜む危険の特定とその対策について全員で出し合っ安全を先取りする活動  
使用ツールは「作業のイメージシート」「グループ&担当割くじ」「現場KY活動シート」。  
テーマとなる作業を知らないメンバーでもあらかじめ「作業のイメージシート」で共有を行ってから現場へ向かい危険予知活動を実施することで、よりKYに集中できる。最後は各グループのKY結果の共有と指差し呼称で終了となる。互いのグループの結果を聞くことで新たな視点も生まれる。この活動で指摘された事項はすぐに改善できる点、予算が必要な点さまざまあるため、計画的に改善作業も実施する。  
また、社員・パートタイマーに問わず主体的に参加するよう、チームリーダー・発表者・書記は毎回「くじ」で決定する等、工夫を行った。



やってみての効果

危険予知に関する熱意がある。安全に現場でKYが出来る、くじによる担当変動制を採用し職場全員の参加意識が高まる。活動リーダーも気付かなかった箇所が洗い出されたり、課員の危険感受性の高まりを感じている。

今後の目標や展望

すでに他職場の方にもこの活動に参画していただき概ね好評であった。一部の方だけが取り組むのではなく全員で自分たちの部署の危険箇所を洗い出し、改善するというサイクルが出来上がっている。今後も月一回の活動を継続し、多くの部署にも参画いただき、この活動を拡充して参りたい。

28

中山機械株式会社

製造業

従業員数  
50～99

北海道・  
東北

マグネット式パトライトで、ヒヤリハットを未然に防ぐ！



問題点と対策

工場内では大声で注意喚起をしても重量物運搬中のクレーンに気付かず、近寄ってしまうことがあった。そこでマグネット式のパトライトを導入し、運搬物に取付けることで、視覚的にも注意喚起ができるようになり、周辺の第三者に対する安全性が向上した。

マグネット式パトライト



マグネット式のパトライトを運搬物の両端に取り付けることで、視覚的に危険を伝える。



導入後

視覚で注意が伝わるため、ヒヤリハットを未然に防ぐことができた。

結果

重量物で特に長尺なものを運搬中に、作業者が十分に安全を確保した距離で吊荷の存在に気付くことができたようになったことで、吊荷に近づくことがなく、より安全性が向上した。

29

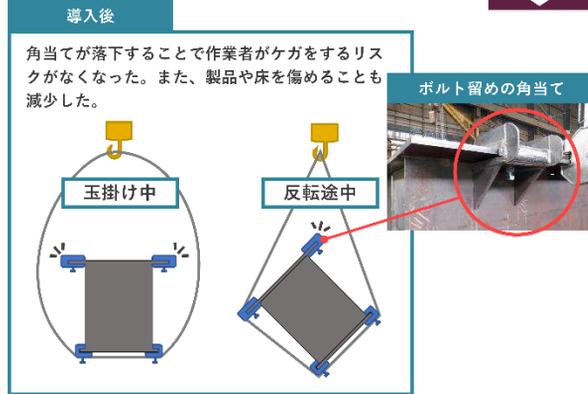
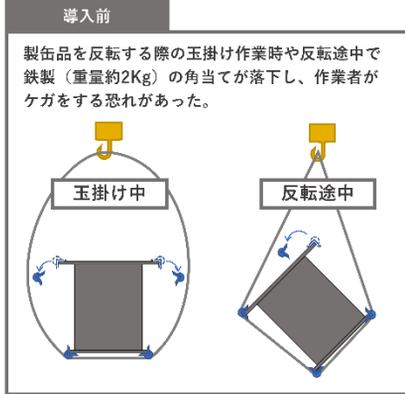
中山機械株式会社

製造業

従業員数  
50~99

北海道・東北

反転しても外れない！ボルト留めの角当てで落下を防ぐ



結果

玉掛け中や反転中でも角当てが落下することがなく、作業者の安全が確保出来るようになったことにより、反転作業に集中して取り組めるためより安全な反転作業が可能となった。

30

東芝インフラシステムズ株式会社  
社会システム事業部

建設業

従業員数  
300~

北海道・東北

TOSHIBA

維持管理上の安全べりり表示

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部  
業種：建設業・機械  
従業員規模：2,000人  
地域：北海道・東北/宮城

背景（課題・ニーズ）

維持管理上の安全を意識し、表示による見える化を図った。コントロールセンタに「モーター定格電流」「試運転時電流」「サーマル設定」及び「シーケンス番号」を表示し、現場での数値と異常の有無を確認できる。電極水位の表示は、ポンプ運転停止時の水位が現場で分かるため、運用及び異常時の確認ができる。石綿含有分析結果の表示は、経年によって不明なることを防止し、恒久的に情報（実施内容・分析結果）の共有ができる。

運転管理上のべりり表示	電極水位の表示	石綿含有分析結果の表示
<p>コントロールセンタ 全員</p> <p>カードケースとタブレット使用</p> <p>・「モーター定格電流」「試運転時電流」「サーマル設定」及び「シーケンス番号」を表示した。</p> <p>・計測値と現場での数値の比較で異常の有無を現場で確認できる。</p>	<p>電極設置場所に表示</p> <p>現場操作盤に表示</p> <p>・電極式水位を現場に表示し見える化した。</p> <p>・ポンプ運転停止時の水位が現場で分かるため、運用及び異常時の確認ができる。</p>	<p>マグネットとボルトチェーンの吊り下げ表示</p> <p>分析結果表示</p> <p>図面</p> <p>・石綿含有の有無と分析結果をサンプリング場所に表示した。</p> <p>・サンプリング対象物が分かるように採取状況写真も添付した。</p>
<p>発注者様からのアンケートで好評をいただき、他サイトでも拡大展開中。</p>	<p>更新時の目的にもなるため、社内で標準化し、他サイトでも拡大展開中。</p>	<p>分析を実施した全箇所に表示することで維持管理及び将来工事を安全に実施することが出来る。</p>

31

株式会社竹中工務店 東北支店  
ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所

建設業

従業員数  
100~299

北海道・東北



## 外国人就労者の言語能力の見える化

事業者名：株式会社竹中工務店  
業界・業種：建設業  
従業員規模：約7,750人  
地域：東北/福島

背景（課題・ニーズ）

- ・外国人就労者と日本語でどの程度コミュニケーションが取れるのかわからない。
- ・外国人就労者の指示事項についてどの担当者に意思疎通を取ればいいのか不明。

目的

- ・外国人就労者と会話する際の配慮もしやすく、コミュニケーションの活性化を目的

取り組んだプロジェクト内容

外国人就労者の日本語能力の記載した腕章を身に着け、コミュニケーションを取る際の見える化を図る。

作業所での見える化

指導担当者



外国人就労者



日本語レベル

外国人就労者の日本語理解レベル

**読む**

- 読字が極めて理解できる
- 上級書字を理解できる。ムラカキがわかる
- 十分な読解力がある

**会話**

- 日本人とほぼ同等に会話ができる
- 状況に対してフツツとできる
- 単語の発音ができる
- 会話できないが、意図は理解できる

**書く**

- 漢字が十分に書ける
- カタカナが書ける
- 簡単な文章が書ける



やってみての効果

【定量的効果】

- ・外国人就労者とのコミュニケーションが取りやすくなり、現場での無事故無災害達成中（延労働時間：164,057時間）※外国人就労者:74人

32

株式会社竹中工務店 東北支店  
ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所

建設業

従業員数  
100~299

北海道・東北



## 作業員入場シールによる識別

事業者名：株式会社竹中工務店  
業界・業種：建設業  
従業員規模：約7,750人  
地域：東北/福島

背景（課題・ニーズ）

- ・どの方が高所危険作業就労不可なのか分からない。
- ・現場で特に配置や作業内容を注意して見なければならない作業員が分からない。

目的

- ・高所危険作業就労不可の見える化を図り未然に労働災害を防ぐ

取り組んだプロジェクト内容

新規入場者教育時に「一般」「未熟練工」「高齢者」ごとに新規入場者教育修了証のシールを配布し高所危険作業就労不可の人の見える化を図る。

【新規入場者教育終了証シール】



【現場作業状況】



高所危険作業就労不可の見える化

やってみての効果

【定量的効果】

- ・新規入場者数：1300人 → 着工当初から現場での無事故無災害達成中(2023年4月~2023年10月末時点)（延労働時間：164,057時間）

33

株式会社竹中工務店 東北支店  
ヒロセ電機新郡山工場建設工事作業所

建設業

従業員数  
100~299

北海道・東北



思いをかたちに 未来へつなぐ

## 多目的アスレチックコーナーの設置

事業者名：株式会社竹中工務店  
業界・業種：建設業  
従業員規模：約7,750人  
地域：東北/福島

### 背景（課題・ニーズ）

- ・朝礼時の体操だけでは筋や関節を柔軟にする運動が足りない
- ・体調・運動能力の「見える化」ができるようにしたい
- ・墜落制止用具の正しい二丁掛け替え方法を実演により指導したい

### 目的

- ・充実した準備運動と体調確認、安全遵守教育を作業前に実施し、未然に労働災害を防止する

### 取り組んだプロジェクト内容

多目的アスレチックコーナーを設置し、ストレッチ・バランス歩行・墜落制止用具の使用実演を協力会社まで含めた全作業員が毎日実施する



### やってみての効果

#### 【定量的効果】

- ・無事故無災害達成中（延労働時間：164,057時間）※実施した累計人数：約1,300人、延べ人数：2万人以上

34

イオン北海道株式会社

小売業

従業員数  
300~

北海道・東北

別添1-2



## 北海道でも油断大敵！ 熱中症防止対策！

事業者名：イオン北海道株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：18,693人（2023/2末）  
地域：北海道

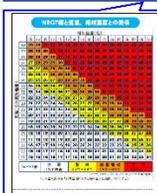
北海道が「夏涼しくて、すごしやすい」と言われたのは過去のこと…。連日の30度超えなど、厳しい暑さが続きました。北海道だからと油断せず、耐性がないからこそ、熱中症防止対策に徹底的に取り組みました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
「熱中症とは…」 周知期間	温度・湿度計 設置準備期間	温度・湿度計 設置確認期間	ポスター作成 教育資料作成	取組強化月間	→

熱中症の症状・推察に加え、「判断基準」を伝え「見える化」

作業場以外で、暑くなる場所の聞き取り→温度計の購入

各店毎の必須設置ポイントと、各店毎別設ポイント共有



\*\*\* 必須設置ポイント \*\*\*

① 食品作業場	デリカ（フレイバー）、オープンのある作業場
② 食品販売作業場	インスタアベニュー（オープンのある作業場）
③ 食品販売作業場	フロアリーストックコーナー
④ 食品販売作業場	食品のストックコーナー
⑤ 食品販売作業場	飲料・住居のストックコーナー
⑥ 食品販売作業場	食品のストックコーナー（食品、食品の多い場所にも設置推奨）
⑦ 食品販売作業場	食品のストックコーナー（食品、食品の多い場所にも設置推奨）
⑧ 食品販売作業場	食品のストックコーナー（食品、食品の多い場所にも設置推奨）

今年度は「WBGT値」を周知し、各店に事前に表と温度計を用意するように指示。温度計・湿度計の設置場所を周知し、発生しやすい箇所を共有。

### 夏のゼロ災害運動2023 重点取組項目

**重点取組① 熱中症対策**

- ・ 暑熱時の熱中症対策
  - ① 暑熱時の熱中症対策
  - ② 暑熱時の熱中症対策
  - ③ 暑熱時の熱中症対策
  - ④ 暑熱時の熱中症対策
- ・ 暑熱時の熱中症対策
  - ・ 暑熱時の熱中症対策
  - ・ 暑熱時の熱中症対策
  - ・ 暑熱時の熱中症対策



厚生労働省の資料も活用

結果  
熱中症による労働災害

👍 0件

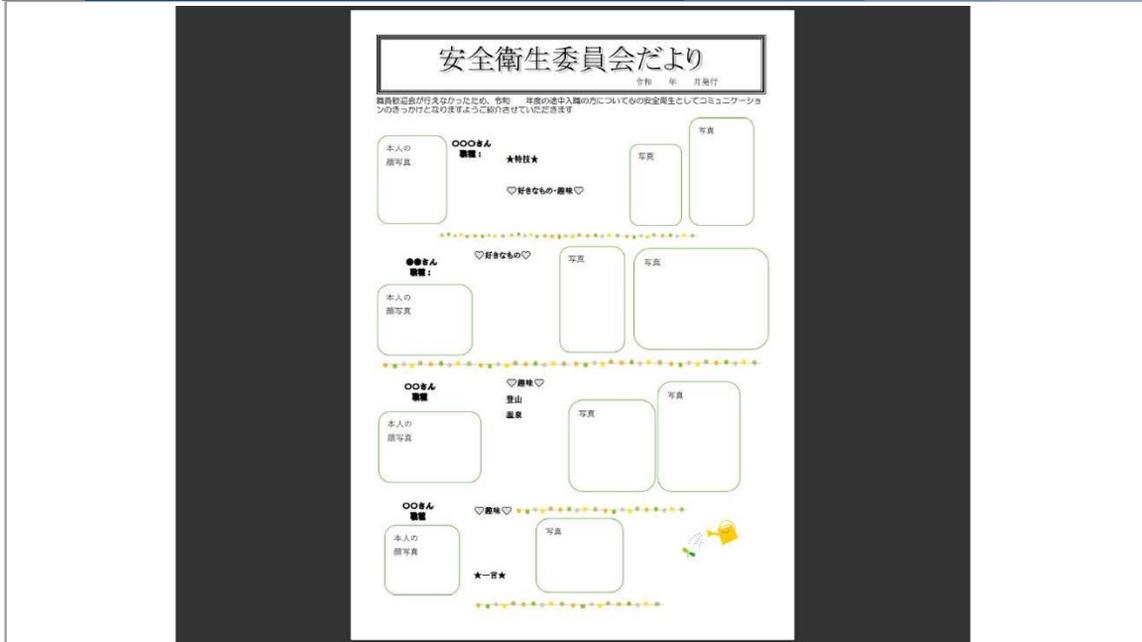
35

社会福祉法人みゆき福祉会

保健衛生業

従業員数  
100~299

北海道・  
東北



36

株式会社フコク

製造業

従業員数  
300~

関東



## 災害事例を活かした危険予知、 リスクアセスメントの活性化

事業者名：株式会社 フコク  
業界・業種：製造  
従業員規模：1,400  
地域：関東

### 背景（課題・ニーズ）

当社は「安全最優先」を経営方針に定め、労働災害防止に取り組んでいます。最近の労働災害原因の多くは、不安全作業や不安全箇所の見逃しによるものであり、職場での危険予知トレーニングを強化してきました。これを更に効果的に、全員参加で取り組める活動とするために、実際に起きた災害事例をもとにしたKYTシートを作成しトレーニングを始めました。

### 取り組んだプロジェクト内容

海外拠点を含むフコクグループ全体からの災害報告(写真)をもとにKYTシートを作成。災害を自身のものとして感じられる危険予知活動を始めました。各職場でこのシートを使って全員参加の危険予知トレーニングを行っています。

#### KYTシート



自身のことで感じにくい  
クワの重さや高さがわからない  
災害状況がつかみにくい

↓  
KYTトレーニングをやっても、  
不安全作業がなくなる  
不安全行動が見逃される

#### 新KYTシート



身近な危険箇所を直感できる  
クワの重さや高さがわかる  
災害状況がわかる

↓  
KYTトレーニングにより、  
作業による危険を予知できる  
不安全行動を指摘できる

### やってみての効果

情性的に簡単な指摘や抽象的な対策が提案されることがあったKYTトレーニングでしたが、実際の災害事例に触れることで、真実に原因や対策が話し合われる様子が見られるようになった。

### 今後の目標や展望

今回採用したKYTシートに、災害発生の頻度、災害の重大度を評価する仕組みを盛り込み、わかりやすく職場のリスクアセスメントができる環境を作り、災害防止を進めていきます。

37

カジマメカトロエンジニアリング株式会社  
川越事業所

製造業

従業員数  
100~299

関東

 カジマメカトロエンジニアリング  
KAJIMA MECHATRO ENGINEERING

# 粗相ゼロ!

～男性従業員の安心とトイレの清潔を～

事業者名：カジマメカトロエンジニアリング  
業界・業種：製造業  
従業員規模：約250人  
地域：関東/埼玉

## I)背景/分析

新たに設置された男性用トイレで粗相が発生していました。この状況では、男性従業員の身体的および心理的安全が確保されていないと言えます。さらに、割れ窓理論によれば、たった一つの汚れからハラスメントや犯罪行為につながる可能性があるという研究結果もあります。

分析したところ、年齢が50歳未満の人々からの「改善してほしい」という意見が集中していることから、50歳以上の年齢層が的を外していることが考えられます。この仮説に基づき、私たちはナッジ理論を活用して改善後を実施することとしました。

## II)改善内容



男性用トイレ（正式名称：大形ストール小便器）に、一風変わったシールを貼り付けました。まずは、焚き火シールです。このシールは、粗相が起きない絶対安全な場所を示しています。さらに、驚くことに、この焚き火シールは温度が上昇すると消える仕組みが施されています。これによって、消火訓練も可能となりました。

また、トイレを利用する際、人々は何が悩みや将来のスケジュールについて考えることが多いそうです。特に50歳以上の方にはこの傾向がより顕著です。心理学的には、このような悩み目に向けるとき、視線は右下にゆるやかに移動すると言われています。そこで、視線の右下に「一歩前へ」というシールを貼り付けました。

## III)改善効果

**改善効果** ■粗相が起きない絶対安全な場所を示す焚き火シールにより、男性従業員がトイレ利用時に安心感を得ることができるようになりました。

■粗相がゼロになり、トイレの清潔さと快適さが向上することにより、男性従業員の職場満足度や労働環境が向上しました。

■トイレ利用時に悩みや将来のスケジュールに目を向ける人々に対して、視線の右下に貼り付けられた「一歩前へ」というシールは、自己成長や目標達成への意欲を高めてくれると好評でした。

■トイレ内に思いやりと前向きなメッセージが存在することで、従業員のメンタルヘルスやモチベーションの向上に寄与しました。

**効果金額** 【a.費用】シール代2,740円 労務費250円（詳細略） 計2,990円  
【b.改善前】清掃費用（労務費込）3,300円/月（詳細略） 計3,300円

a-b=0.9ヶ月で費用回収達成 以降**3,300円/月のコストリダクション**に成功

## IV)私達の願い

今回はトイレの問題ですが、この改善を他の問題にも広げて、従業員が本当に心地よく働ける職場環境を作り上げることが大切です。**トイレの改善は、始まりに過ぎません。それは会社全体に広がり、私たちが共に築いていける素晴らしい職場へとつながるのです。** 私たちは、今後もこのようなSS活動を進めていきたいと思えます。



KME公式キャラクター：メカト君

38

株式会社 鐵建

製造業

従業員数  
50~99

関東

### 【安全な職場づくり部門】

 TEKKEN

# 安全・5Sパトロールの実施 ～未然に事故を防止するために～

事業者名：株式会社 鐵建  
業界・業種：建築鉄骨製造業  
従業員規模：50~99  
地域：関東

## 背景（課題・ニーズ）

安全・5Sパトロールは、安全と5Sを重視するという会社の方針から、20年間継続している。

## 取り組んだプロジェクト内容

年に2回、パトロール隊が交代でマニュアルに従って全職場をパトロール⇒200以上の指摘事項をまとめ、全社員に配布⇒各職場の担当者が指摘された箇所を改善⇒改善内容を朝礼で発表。



パトロールメンバー



パトロールの風景



指摘事項



改善発表風景

## やってみての効果

中央労働災害防止協会から無災害記録証を授与されるなど大きな労働災害もなく、社員の安全意識は高い。また、5Sに対する意識も高く、挨拶については、来客に対してはもちろんのこと、安全と明るく職場づくりを目的に社員同士のあいさつについても重視している。

## 目的

①安全、②生産性向上、③社会性認知を目的に、**全社員に安全と5Sの重要性を認識させる。**

## 今後の目標や展望

大きな労働災害はもちろんのこと、ハイインリッヒの法則を意識しながら小さなけがやヒヤリハットもないような職場を目指したい。また、無災害記録の日数も伸ばしていきたい。さらに、5Sについても、他社の模範になれるような企業を目指したい。

39

株式会社 鐵建

製造業

従業員数  
50～99

関東

【安全な職場づくり部門】



## KY・ヒヤリハット報告の表彰 ～未然に事故を防止するために～

事業者名：株式会社 鐵建  
業界・業種：建築鉄骨製造業  
従業員規模：50～99  
地域：関東

背景（課題・ニーズ）

令和4年度は、小さな労災ですが19件も発生してしまいました。また、今までは優秀な業務改善報告のみを表彰していました。未然に事故を防止することを目的にKY・ヒヤリハット報告も表彰対象にしました。

取り組んだプロジェクト内容

今まで、社員全員が年に2回業務改善報告を提出し、朝礼で発表していました。その中で優秀な作品を表彰していました。労災事故が多発したため社員全員に注意喚起する目的で、朝礼で労災報告するとともに、KY・ヒヤリハットも朝礼で報告し、事故防止に役立つ優秀な作品を表彰しました。

選考基準

- 【ヒヤリ】①誰にも起こりうるヒヤリハットである
- ②的確で分かり易い教訓が考えられている
- 【KY】③日常作業の中に潜んでいる危険を予知している
- ④原因を深く考え対策が考えられている
- 【総合】⑤日常作業の安全対策、危険回避の指針として役に立っている



目的

ハインリッヒの法則を意識しながら小さなけがや事故を削減することを目的とする。

やってみての効果

令和4年度は、労災件数が19件も発生してしまいました。今年度は、擦り傷など休業を伴わない労災が4件に減りました。また、ほとんど提出のなかったKY・ヒヤリハット報告が半年で11作品提出されました。社員全員の労災0への意識が高まったと思います。

今後の目標や展望

大きな労働災害はもちろんのこと、ハインリッヒの法則を意識しながら小さなけがやヒヤリハットもないような職場を目指したい。また、KY・ヒヤリハット報告が積極的に提出される職場環境を構築し、無災害記録の日数も伸ばしていきたい。

40

神鋼鋼板加工株式会社

製造業

従業員数  
50～99

関東



## 安全見える化活動

事業者名：神鋼鋼板加工株式会社  
業界・業種：製造業  
従業員規模：約60人  
地域：関東/千葉

安全活動の「周知徹底、意識づけ」「風化防止」を目的に、2020年度より安全に関する見える化活動を推進

※安全見える化とは、労働安全や危険防止に関する種々の掲示や呼びかけをあらゆる場所で行い、否応なく目に入る仕組みづくり

【具体例1】デンプラ貯蔵への導入/活用  
・生産状況の把握を目的に設置したカメラへ無災害記録、社内優秀表彰、各人の安全人間宣言を表示、「コップイン」装置に関する啓発にも活用（工場内に7箇所、事務所1箇所設置）



【具体例2】安全・品質モニターの作成と配布  
・過去の災害発生日/内容、無災害継続日数、社内優秀表彰等を記載したポスター「モニター」を作成し、社内各所に掲示すると共に、全従業員へ配布



【具体例3】鏡つきカメラの導入/活用  
・死角が生じないよう工場内20箇所にTVカメラを設置し、映像は7ヶ月程度保管  
・不安全行動の徹底リณรงค์や危険予知訓練に活用



【具体例4】掲示等による見える化  
①個人安全目標の掲示（A4判1書き台）  
②表彰らばら「ト」の設置  
・例えば、お客様工場見学のお礼状等を掲示  
③フタ、列灯、片橋型カメラへのLED3色の取り付け

41

北野建設株式会社

建設業

従業員数  
300～

関東



## 労働災害防止 オリジナルポスターの作成

事業者名：北野建設株式会社  
業界・業種：建設業  
従業員規模：約560人  
地域：東海・北陸

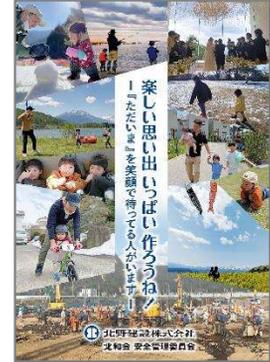
### 取組みのきっかけ

弊社本社を所管する長野労働局では、「労災による死亡者数を、悲しみをゼロに」を合言葉に死亡・重篤災害撲滅を目指しています。この合言葉に弊社も感銘を受け、オリジナルポスターを作成しました。

### ポスターに込めた思い

- 安全管理室より社内の部門横断的な若手ワーキンググループ〔COM会〕に検討を依頼し、安全管理室・COM会共同で制作を開始しました。
- メンバーより、「家族や大事な人への思いが労災減少につながるのではないか」という意見があり、「家族」をキーワードに検討を進めました。
- 「あなたの帰宅を笑顔で待っている人がいます。だからこそ、死亡・重篤災害を絶対起こさない。」との思いを込め、キャッチコピーを「楽しい思い出いっぱい作ろうね!」「ただいま』を笑顔で待ってる人がいます」と決定し、社員や現場作業員から広く写真を募集し、ポスターを完成させました。

作成したポスターを全店（長野エリア、東京エリア）の現場へ展開し、事務所や休憩所へ掲示を行いました。社員及び現場作業員一同、家族への思いや災害撲滅への思いを強くしています。



42

ミサワホーム株式会社

建設業

従業員数  
300～

関東

### 【資料作成例：安全な職場づくり部門】



## 建築現場における危険予知活動の実施

事業者名：ミサワホーム株式会社  
業界・業種：建設・住宅  
従業員規模：2,033人  
地域：関東/埼玉

### 背景（課題・ニーズ）

住宅の新築現場における建設災害の撲滅。

### 取り組んだプロジェクト内容

全作業員が毎日、作業前に危険予知活動を実施し、「本日の危険予知活動表」に内容を記入しています。このシートをファイリングした『安全衛生ファイル』には、その他にも現場に入る初日に安全作業の心得を確認して署名する「新規入場者教育」や足場作業前の点検の際に使用する「外部足場作業前点検票」も綴じられています。このファイルは竣工後に回収し、記入内容を全てチェックして、実施状況の確認を行っています。



### やってみての効果

撲滅までは行っていないが、以前よりは減少傾向にあります。

### 今後の目標や展望

100%の実施と無災害の1年以上継続。

43

株式会社OKUTA

建設業

従業員数  
100~299

関東

## OKUTA 業務時間内の仮眠を推奨する「パワーナップ制度」

### 概要

2012年3月から「パワーナップ制度」を実施し、昼食休憩以外の午後の時間帯で、自分が眠いと感じたタイミングで仮眠をとることを全社員に推奨しています。時間は15分~20分程度とし、深い眠りに入りすぎない最適な長さを採用しています。

### 背景

午後には眠そうな社員を見た弊社代表が、「寝ても良いのに」と考えたことが発端です。建設業界では従来から、職人が昼食後に昼寝をして午後の仕事への集中力を高める習慣があります。効果は科学的にも実証されており、業務効率UPや居眠り運転防止、脳の活性化や心と体の健康にも寄与すると判断し導入しました。元々ユニークな社風がある当社でも、導入当初は「本当に寝ていいの?」と、寝づらい雰囲気もありましたが、上席者が率先して仮眠をとることで、気兼ねなく利用できるようになりました。



事業者名：株式会社OKUTA  
業界・業種：建設業  
社員数：273名  
地域：首都圏



### 実施状況

コロナ禍以降から全社員を対象に在宅勤務を推進しており、会社のデスクや営業車をはじめ、在宅時は自宅でも自由に制度の利用が可能です。全社員の約3割が常的に活用しており、年に数回行う営業会議や全社員会議、社内研修などの場合には必ず一定の仮眠時間を設定し、全社員が活用する機会を設けています。

### 成果

制度開始以降、社員の居眠り運転による自動車事故は0件。業績は制度によって悪化することなく右肩上がりに成長し、2022年度決算は76億200万円で過去最高売上を更新。社員の8割以上が制度に好意的です。眠気が原因のミスや、集中力が下がってしまう時間が大幅に減り、社員からは「業務効率が上がった」、「「眠ってはいけない」というストレスがなくなった」、「無理をしない働き方が身に着いた」などの意見があがっています。日常的には使用しない社員からも、「体調がすぐれない日には助かる」といった声があります。

44

河本工業株式会社

建設業

従業員数  
100~299

関東



## お客様や就活生に対し、河本工業の安全衛生活動を効率的にアピールしたい！

### 1 背景

- お客様や就活生に対し、手軽に安全衛生活動をアピールしたい。
- 安全衛生活動の取り組みについて、熱意を感じてもらいたい。
- 社内の安全意識の統一を図りたい。



キラリ☆安全2023

事業者名：河本工業株式会社  
業界・業種：総合建設業  
従業員規模：240人  
地域：関東/群馬

### 2 取組み内容

- お客様や就活生等に対して、安全衛生活動を効率的にアピールするため、令和3年5月に安全衛生動画作成を開始。
- **令和3年11月に『キラリ☆安全』（YouTube）が完成。**
- 発注者である民間企業・国土交通省や県市町村の担当者並びに労働行政機関等に『キラリ☆安全』を視聴後のご意見やご感想をお聞かせいただき、弊社の安全衛生活動に関心を持っていただいた。

➡ 頂いたご意見をもとに改訂版を作成

**令和5年3月『キラリ☆安全2023』を発表！**

### 3 効果があった点、意識した点

- **お客様から弊社の安全衛生活動について、より深いご理解と関心を持っていただいた。**
- **安全衛生活動の見える化により、社員・協力会社の安全衛生意識が高まった。**
- **安全衛生活動に対する熱意がお客様に伝わり、弊社に対するメリットを感じていただき、企業活動に繋がった。**

45

大洋建設株式会社

建設業

従業員数  
100~299

関東



大洋建設

当社は「感動と好奇心。を大切にしたいづくり・人づくりの会社です」

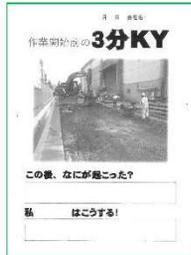
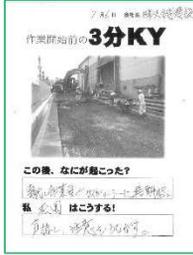
事業者名 : 大洋建設株式会社  
業種 : 建設業  
従業員規模 : 124名  
地域 : 神奈川県

「3分KY運動」「セーフティリボン運動」の更なる進化を図るための活動

「第14次労働災害防止推進計画」の下、建設業労働災害防止協会神奈川支部では「かながわ安全強化計画」が策定されました。「墜落、転落災害の防止」「セーフティリボン運動」「3分KY運動」「安全行動宣言運動」の実施が推奨されています。そこで、これらの活動を形骸化させないためにそして更なる進化を図るために、優秀な作品（活動）に対し表彰することにより活性化を図っています。

1. 目的

各作業所にて「作業開始前3分KY」運動の展開を充実させ、同様の災害発生を予防し、危険予知の感受性及び一人ひとりの意識の向上を図る。また、「セーフティリボン」運動により一人ひとりの目線で危険の見える化を行い災害防止に努める。



2. 活動

3分KY用紙に描かれたイラスト、写真等の災害事例を基に「どうなったか、どうしてそうなったか、そうならないためにはどうする」をフリートークにて危険予知を行い、防止対策の検討を行う。ピンクリボン運動は現場での作業中や巡視中に危険と思われる箇所やヒヤリと感じた箇所にピンクリボンテープを巻付け注意喚起をする。



3. 展開

毎月25日締めで作品を収集し優秀作品を選び掲出する。役員にて優秀作品の中から月間優秀作品を選ぶ。優秀作品にはポイントが付与され、年度終了時にポイントの高い現場や職員は表彰される。また、月間優秀作品の中から年度終了時に年間優秀作品として表彰する。

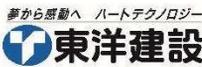
46

東洋建設株式会社 関東建築支店  
東洋・川口土建特定建設工事共同企業体  
加須市上樋遣川倉庫新築工事

建設業

従業員数  
50~99

関東



夢から感動へ ハートテクノロジー

高所作業車上昇時の  
「挟まれ防止ブザー」使用による  
挟まれ災害防止

事業者名 : 東洋建設株式会社 関東建築支店  
東洋・川口土建特定建設工事共同企業体  
加須市上樋遣川倉庫新築工事

業界・業種 : 建設業  
従業員規模 : 50~99人  
地域 : 関東

背景（課題・ニーズ）

- ・高所作業車を上昇させる際は上部への注意が散漫になる場合がある
- ・天井等に挟まれた場合は頭だけでなく首の損傷も考えられ重篤な災害になる恐れがある

目的

- ・高所作業車の注意不足というエラーを工学的方法で防止して、挟まれ災害を防ぐ。

取り組んだプロジェクト内容

挟まれ防止ブザー「はさまれん棒」を使用して、高所作業車上昇時に天井が接近して挟まれのおそれが発生した時にブザーとランプで警告する。



やってみての効果

【定量的効果】

- ・全工期を通じて高所作業車に係る、挟まれ災害ゼロを達成。

47

株式会社萩原工業

建設業

従業員数  
10~29

関東

【安全な職場づくり部門】



## 地域にマーケットインする 安心安全な現場づくり

事業者名：株式会社萩原工業  
業界・業種：建設業  
従業員規模：12人  
地域：関東/群馬

背景（課題・ニーズ）

- ①周辺住民から「山地工事のためどのような工事をしているのかわからない」と声があった
- ②区長から「工事概要を理解し、住民へ説明したい」と要望を頂いた

目的

地域住民のご要望や困りごとを把握し、安全対策を実施したい

取り組んだプロジェクト内容

【課題・ニーズの把握】



地域住民へヒアリング  
アンケートの実施

【対策①】 周知内容・方法の選定



毎月の広報誌で工事情報を共有  
回覧板にて周辺住民へアプローチ



+αの情報を提供  
(ハザードマップ等)

【対策②】 理解を深める



現場見学会の実施

やってみての効果

【定量的効果】

- ・ 回覧件数：98世帯
- ・ 現場見学会：1名（区長）

【定性的効果】

- ・ 第三者災害の防止に努めた
- ・ 区長からの一言「工事への理解が深まりました。」

48

イオンリテール株式会社

小売業

従業員数  
300~

関東

## 労働安全衛生ニュース - 労災特別号 - の発行

事業者名：イオンリテール株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：11万8千人  
地域：全国



当社では、労働安全衛生に関する旬な話題（健康診断・ストレスチェック等）をニュースとして発行しています。今年度はそれに加え、**労災事例から学ぶ**をコンセプトに全国的に発生が多い労災事象を取り上げて、事故内容と発生件数、気を付けなければいけないこと、新たな対策について全従業員が定期的に周知出来る環境を作りました。

+

追加

49

株式会社トーコン

運輸業

従業員数  
300~

関東



## みんなに伝わる安全の見える化

事業者名：株式会社トーコン  
業界・業種：物流業務請負  
従業員規模：349名  
地域：関東/神奈川

### 背景（課題・ニーズ）

多国籍の従業員が多く、言葉の違いから守ってほしいルールがうまく伝わらず、事故や破損に繋がることがあった。

11事業所に対して、9事業所に多国籍の人が在籍している。  
全従業員数に対する多国籍の人の割合は**20.6%**

### 取り組んだプロジェクト内容

安全唱和を作り、日本語・ローマ字・英語で表記をしたカードの作成・配布

### やってみての効果

日本語・ローマ字・英語で作成したことで多国籍の人にわかりやすかったと言ってもらえた。  
現在実施率**91%**

### 目的

ルールを、日本語・ローマ字・英語で正しく伝える事で理解してもらい、安全につなげる

### 作成した安全唱和カード



### 朝礼時の唱和の様子



### 今後の目標や展望

今後も新入社員に唱和カードを配布し、実施率を100%とするために、各事業所に半年に一度メールをして、実施についてフォローする。

50

親和エンジニアリング株式会社

電気通信  
工事業

従業員数  
10~29

関東



## ヒヤリハットの活性化活動

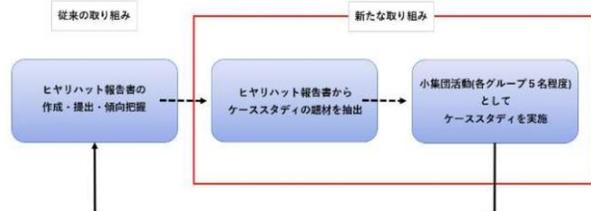
事業者名：親和エンジニアリング株式会社  
業界・業種：電機系エンジニアリング  
従業員規模：27名  
地域：関東

### ＜背景＞

請負先の事業所内で従業員が点在しており、全員参加の安全活動の場が少ない。さらに、昨今の情勢により、全員が一同を介した毎月の全体会議が行いにくくなった。  
代替として、従来から行っていたヒヤリハット報告書を発展させた小集団活動を行うようになった。

### ＜取組の内容＞

従来から行っていたヒヤリハット報告書は傾向把握(集計)までに留めていたが、新たな取り組みとしてヒヤリハット報告書をケーススタディの題材として活用することを始めた。



### ＜ヒヤリハット報告書の一例＞



### ＜効果＞

ヒヤリハット報告書を題材にしたケーススタディを行うことで、些細な危険に対しても問題解決に注視する能力を養うことが出来た。小集団活動を行うことによって、従業員同士のコミュニケーションを図る場としても活用され、結束力向上にもつながっている。

51

株式会社西行土木

建設業

従業員数  
50～99

東海・  
北陸



## 事故0を目指して ～現場の見える化～

事業者名：株式会社西行土木  
業界・業種：建設・トンネル工事  
従業員規模：約60人  
地域：北陸・福井

背景（課題・ニーズ）

資格を必要とする重機・車両について、事故防止の観点から無資格者による運転を防止したかった。

取り組んだプロジェクト内容



各機械に取扱責任者の正・副、有資格者を氏名だけでなく、顔写真及び資格証を掲示することで、他作業班や現場に不慣れな方も誰が操作しているかが一目瞭然となり、万が一無資格者が運転していた場合でも、誰でもすぐに注意できるようになりました。

やってみての効果

無資格者が操作することによる事故発生を予防することができました。また、資格取得できるよう前向きに作業に取り組む従業員が増えたように感じます。

今後の目標や展望

今後も継続して、現場の見える化を進め、無事故無災害の継続を目指します！

52

株式会社西行土木

建設業

従業員数  
50～99

東海・  
北陸



## 事故0を目指して ～現場の見える化～

事業者名：株式会社西行土木  
業界・業種：建設・トンネル工事  
従業員規模：約60人  
地域：北陸・福井

背景（課題・ニーズ）

重機使用時に不具合と思われる事象が発生した際に、無理に作業を続けることで発生するトラブルを防止したかった。

取り組んだプロジェクト内容



各機械仕様書をQRコード化して掲示した。トラブル時だけでなく、使用時に不明な点があった際にもすぐにスマホで確認ができるようになり、故障や事故発生を抑止できた。

やってみての効果

経験の浅い作業者でもその場で仕様書を確認することができ、事故の抑止だけでなく、重機の故障を防ぐことができました。

今後の目標や展望

今後も継続して、現場の見える化を進め、無事故無災害の継続を目指します！

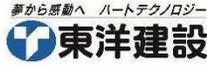
53

東洋建設株式会社 名古屋支店  
令和3年度 設楽ダム設楽根羽線3号橋左岸  
下部工事

建設業

従業員数  
10~29

東海・  
北陸



## 作業所独自ルールの取り決めと「見える化」による安全職場づくり

事業者名：東洋建設株式会社 名古屋支店  
令和3年度 設楽ダム設楽根羽線  
3号橋左岸下部工事  
業界・業種：建設業  
従業員規模：10~29人  
地域：東海/北陸

### 背景（課題・ニーズ）

- ・工事現場にはそれぞれ独自の危険のポイントがあるが特定が不十分
- ・日々変化する現場独自の危険のポイントが職員・作業員に十分周知できていない

### 目的

- ・作業所独自ルールを都度検討することにより職員が認識し日々掲示等により作業員へもすり込み安全な職場を作る。

### 取り組んだプロジェクト内容

現場独自のルール「作業所ルール」を取り決め、朝礼看板などにも掲示を行い、働く人全員に作業所ルールをすりこみ、安全意識を向上させる。



### やってみての効果

#### 【定量的効果】

- ・11月10日現在、約20か月無事故無災害を継続中。

54

株式会社日本ネットワークサポート  
佐野工場

製造業

従業員数  
50~99

近畿



## バッテリー式運搬車両の警告音の変更による安全性の向上

事業者名：株式会社日本ネットワークサポート 佐野工場  
業界・業種：製造業  
従業員規模：73名  
地域：近畿/大阪

### 背景（仮題・ニーズ）

当社佐野工場では製品を運搬するため複数台の運搬車両を所有している。運搬車両はバッテリー式であり走行時は静音のため、周囲の作業員や他の運搬車両に対して自車の存在を知らせる警告音が鳴るようになっている。しかし、全ての車両の警告音が同じであるため「複数台同時に稼働した場合に曲がり角等で他の車両音を自分の車両音と聞き違えて衝突する危険がある」との声が現場作業員から挙げられた。

### 取り組んだプロジェクト内容

複数台同時に稼働する可能性のある作業場の運搬車両を全て異なる警告音になるように設定を変更した。



死角でも警告音の違いで車両の接近に気づき、危険予知ができる。

### やってみての効果

警告音の違いにより運転手同士が接近に気が付くことができ、互いの動きに注意しながら作業ができる。また、周囲の作業員も複数台稼働していることを認識できるので、危険予知ができる。

### 今後の目標や展望

今後も現場の声を大切にし、安全最優先で働きやすい職場環境を形成していく。

55

## 株式会社日本ネットワークサポート 滋賀工場

製造業

従業員数  
50~99

近畿



### フォークリフトへの「スピード警告装置」の導入について

#### 背景（課題・ニーズ）

弊社構内では、車両制限速度を「10km/h」と定めているが、一部のフォークリフトには「速度メーター」が装備されていないため、自身が走行させている車両の現在速度が把握できない状態であった。

#### 取り組んだプロジェクト内容

フォークリフトおよびサイドフォークリフトへ制限速度を超過した場合に作動する警報装置を設置した。

- ・第1段階：スピードが10km/hになるとアラーム音が鳴る
- ・第2段階：スピードが15km/hになるとパトライトが作動（パトライトの点灯は周囲にも見える位置へ取付ける）

#### やってみての効果

スピードの見える化により、操縦者自身がスピード超過を確認できるようになったため、制限速度内での走行が可能になった。

事業者名：株式会社日本ネットワークサポート 滋賀工場  
業界・業種：金属製品製造業  
従業員規模：96名  
地域：近畿/滋賀

#### 目的

フォークリフトのスピード抑制のため「見える化」を目的に設置



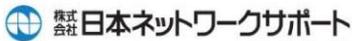
56

## 株式会社日本ネットワークサポート 滋賀工場

製造業

従業員数  
50~99

近畿



### みんなで工場をキレイに！ 「滋賀工場クリーン運動/4S」の取り組み

#### 背景（課題・ニーズ）

全従業員が各所属「管理（作業）建屋」の垣根を越えて精力的に清掃活動を行っていく趣旨のもと「滋賀工場クリーン運動/4S」を実施。

#### 取り組んだプロジェクト内容

間接部門（事務員）であっても、作業スペースを1回/月、30分程度清掃作業を行う。

#### 清掃内容

- (1) 手すり、窓ガラス、備品・装置等の拭き掃除。
- (2) 床面清掃。
- (3) その他危険が伴わない4S作業。

■各管理建屋の安全衛生リーダーはあらかじめ次月の清掃範囲と内容を決定し、清掃に必要な機材等を事務局に報告する。



■報告を受けた事務局は、間接部門の応援先（各作業場）の配置を調整し、周知を行う。



■清掃当日、作業場毎の作業責任者は、所属員および応援者に対して、清掃箇所や注意事項等の説明を行う。



■清掃作業員は、作業責任者の指示に従い清掃作業を実施。



#### 今後の目標や展望

私たちの職場は、所属に関係なく全員が一丸となって快適な職場環境が維持・向上するよう継続して取り組んでいきます！



曇りがちであった窓ガラスや手すり、床面の清掃を行ったことで、現場の作業員が気持ちよく作業が出来るようになったことに加えて、整理・整頓等への意識も向上したことで、より安全な職場環境になった。

その結果

57

社会福祉法人 川福会

保健衛生業

従業員数  
300～

近畿

## 施設（館内）事故防止のための危険箇所調査



高齢者福祉施設という業務の特性から、介護上の転倒事故の防止や工夫は実施しているが、当法人の事業所に置いて、建築物の構造的な問題による転落事故が発生。また、BCP計画の策定から、避難経路の導線調査をあらためて行った結果、防犯上の対策を含めた、建築物が起因となる職員及び入所者への事故の防止を検討するための取り組みを実施することとした。

### 取組内容

① 各施設より建物の平面図に番号を振り、要確認箇所の図表を作成。



② 平面図に振った各階の番号をもとに、現地確認の一覧を作成。一覧には割り振った番号を記載し、現地確認の際に今現在の箇所を確認しているか、一目で分かるよう工夫。

階	確認箇所	確認結果
1F	エレベーター	確認済
1F	廊下	確認済
1F	トイレ	確認済
1F	洗面所	確認済
1F	キッチン	確認済
1F	作業室	確認済
1F	倉庫	確認済
1F	玄関	確認済
1F	駐車場	確認済
1F	その他	確認済

③ 現地調査用の記録は全箇所を網羅しているため、内容をまとめたものを作成し、施設への改善提言を実施。各施設より建物の平面図に番号を振り、要確認箇所の図表を作成。

提言・提案にて、各施設が対策を実施。

### 実施効果

提言・提案により、各施設において、注意喚起の掲示や、カバーの設置(角など)を実施し事故を防止している。  
また、防犯対策として、施設の強化やサムターンカバーの設置・防犯ブザーの取り付けを行うなどの工夫がなされた。  
一方、構造的な死角等については、対策可能な箇所については家具などで塞ぐ等にて対応を行っている。  
今回の調査実施により、職員と入居者の安全性を高めることに繋げることができたと考えている。

58

東洋建設株式会社 四国支店  
金機岸壁改良工事

建設業

従業員数  
10～29

中国・四国



## 「IDガードマン」設置による 重機との接触災害防止

事業者名：東洋建設株式会社 四国支店  
金機岸壁改良工事  
業界・業種：建設業  
従業員規模：10～29人  
地域：中国・四国

### 背景（課題・ニーズ）

- ・重機の作業半径内への立入は禁止されているが、誤って立入り接触する災害が後を絶たない
- ・ヒューマンエラーを防止するための工学的な防護措置が望まれている

### 目的

- ・作業半径に誤って立ち入った場合、第1段階で警報を発生し、第2段階で重機を機械的に停止させ接触災害を撲滅する。

### 取り組んだプロジェクト内容

バックホウに警報装置を取り付け、RFIDタグを持った作業員が3mまで近づくとパトランプと警報で知らせ5mまで近づくと機械を停止させる。



### やってみての効果

- 【定量的効果】
- ・工期9か月、無事故無災害を達成。

59

リライアンス・セキュリティー株式会社

警備業

従業員数  
100~299

中国・  
四国

【安全な職場づくり部門】



Reliance Security Corporation  
リライアンス・セキュリティー株式会社

## 社員の健康と命を守る経営

【熱中症対策】

重傷者0を継続する取組

事業者名：  
リライアンス・セキュリティー株式会社  
業界・業種：警備業  
従業員規模：224名  
地域：中国/広島

背景（課題・ニーズ）

◎2007年に熱中症重症者発生 ◎「警備業」は「農業」「建設業」に次ぐ死傷災害の発生 ◎大切な社員から絶対に殉職者を出してはいけない！

取り組んだプロジェクト内容  
毎年7月-8月に熱中症対策集中巡察  
【対面での体調確認・安全指導】

対策資料配布・周知徹底、熱中症対策講習会参加、熱中症対策巡察実施（体調確認・指導）、ボカリスエット・水・塩タブレット配布、経口補水液準備、熱中症対策キット装備、メッシュ素材キャップ導入、高通気性ヘルメット・安全ベスト・制服導入、ドリンクホルダー導入、業務用冷凍庫導入⇒氷配布、夏用クールマスク導入、社内安全講座開催、空調ベスト・冷感クールTシャツ導入



やってみての効果

- 2008年以降重症者0を継続中
- 中等症・軽症の発生率低下
- 警備業のマイナスイメージ払拭
- 社員を大切にする会社の認知拡大
- 夏季の応募数・採用数増加
- 健康経営優良法人ホワイト500認定

先進的な安全衛生の取組をしている事業場として、広島労働局長が初めての企業訪問。取組を広島労働局のホームページで紹介。

今後の目標や展望

2023年は気象庁観測史上1番暑い夏  
2024年は異次元の熱中症対策

2023年度取組



冷感クールTシャツ導入

60

KMバイオロジクス株式会社

製造業

従業員数  
300~

九州・  
沖縄

健康にアイデアを



## 熱中症危険予報シートで熱中症対策

暑熱環境作業の多い職場における細やかな声掛け

事業者名：KMバイオロジクス株式会社  
業界・業種：医薬品製造販売業  
従業員規模：2,029人  
地域：熊本

背景（課題・ニーズ）

屋外作業、暑熱環境下における作業が多く、コロナ禍ではさらにマスク着用により熱中症リスクが高い職場である。飲料物の提供や空調服の着用推奨など対策は実施してきたが、日々の気象情報による危険レベルの情報共有やWBGT値が高い場合の作業指針・推奨携行品などが示されていなかった。

取り組んだプロジェクト内容

- ◆「菊池施設管理課 熱中症危険予報」シートを作成し、気象予報を元に、9時・12時・15時のWBGT値の変動を日々の朝礼で確認する運用とした。
- ◆環境省HP記載の「WBGT値と運動に関する指針」を参考に、菊池施設課の高WBGT値時の作業指針・推奨携行品を定めた。

やってみての効果

◆毎朝礼時各時間の危険度を把握できることにより、作業計画の時間帯の変更指示やこまめな水分補給や休憩等の必要性をわかりやすく共有できた。期間中熱中症の症状の発生はなかった。熱中症は正しく対策を行うことで防げる！との理解が深まり、自発的な熱中症対策が実行できた



朝礼時

本日9時-12時は「警戒～嚴重警戒レベル」です。  
15時はWBGT値が31℃以上となり「危険レベル」です。この時間帯の屋外作業は避けるか、2人作業をお願いします。また、塩飴・ドリンク・空調服を携行し熱中症を防止して下さい。

今後の目標や展望

- ◆熱中症対策が必要な時期には繰り返しこのシートを用いて継続使用していく。同様の環境での作業がある部署には展開可能と考える。

61

KMバイオロジクス株式会社

製造業

従業員数  
300～

九州・  
沖縄

健康にアイデアを

kmb

保護具着用宣言！

～保護具着用の動機付けは  
毎朝礼時の自己申告スタイルで～

事業者名：KMバイオロジクス株式会社  
業界・業種：医薬品製造販売業  
従業員規模：2,029人  
地域：熊本

背景（課題・ニーズ）

保護具着用は個人に委ねられており、第三者による確認は難しい状況にあった。社内方針でも保護具着用の徹底はうたわれており、自部署における着用促進の取り組みの導入を検討した。

取り組んだプロジェクト内容

◆日常管理板の一角に課員個人毎にイラストを準備し、当日使用する保護具のステッカーを自身のイラストの上に貼り、当日に必要な保護具を想定・申告する。自身の着用の意識付け、また第三者の目に触れることで着用を促す仕組みを開始した。ステッカーは貼りっぱなしではなく、日々更新するスタイルとし、着用意識を高める取り組みである。

◆管理板の前で課員が集まり確認しあうことでコミュニケーションも生まれる。



やってみての効果

◆当日の作業に使用予定の保護具を想定、確認、自己申告することにより自主的に保護具着用する習慣が身につけている。「今日はこちらとこれ」と言い聞かせながらステッカーを貼っている様子が見られ、有効な動機付けとなっている。

今後の目標や展望

◆特別なツールは不要で、紙、プリンター、ラミネート加工、マグネット、ホワイトボードなど身近なもので作成が可能。人物イラストは所属する課員の名前に修正すればどの職場でも利用が可能。顔写真などを利用するとより効果的と考える。実際この取り組みを目にした他部署よりツールの提供依頼があった。今後も普及させていきたい。

62

オムロン太陽株式会社

製造業

従業員数  
50～99

九州・  
沖縄

【資料作成例：安全な職場づくり部門】

OMRON

障がいのある人ない人が働ける安全な職場づくり

事業者名：オムロン太陽株式会社  
業界・業種：製造業  
従業員規模：81人  
地域：九州/大分

背景（課題・ニーズ）

障害のある人が半数働く職場において、ISO45001システムを軸に、個々の課題提起、改善により安全安心の職場にして、精神障害や高齢者の就労を進めていきます。

取り組んだプロジェクト内容

- ①ISO45001の運用
  - ・職制で活動できるよう、システム組織、安全衛生委員会の運用を実施。これにより、個々の情報を取得と改善を展開が可能になった。
  - ・少人数で活動できるよう、システムの再構築
- ②リスクアセスメントの実施
  - ・原労務サイトのリスクアセスメントを参考に、全社リスクアセスメントの実施
  - ・想定を含む、ヒヤリハットの提出 一人1件提出の目標化と改善対応
- ③安全衛生委員・安全管理者による定期的な安全パトロール
  - ・安全衛生委員によるパトロール 1回/月、安全管理者によるパトロール2回/月
- ④他社の災害事例の共有
  - ・他社での災害情報を入力し、社内に展開。災害発生予防の徹底を図る

①2023年度外部審査  
指摘事項はないが、改善案をいただき、是正対応中

②2022年度リスク件数  
I・690件 II・520件 III、IV、V・0件

2023年度リスク件数  
新たな方法で全面見直し中

③2022年度パトロール結果  
改善の機会 105件 (8.8件/月)

④他社事例：転倒（階段からの転落）  
他社の休業1日の災害事例から、社内では、両手が塞がる場合、エレベーター利用を推奨し、階段に段の高さを数値で見える化



やってみての効果

- ①新たな方法でのリスクアセスメントでは、以前発見できなかった危険源を発見。（例：清掃用洗剤の危険性や階段掃除の方法で、リスクレベルIII以上を確認）
- ②ISO45001や安全衛生委員会のメンバーが職制そのもので指揮命令できるため、わかりやすくなり、情報の浸透など進んでいる。

今後の目標や展望

システムの最適化と、リスクアセスメント展開、早期の改善に努めます

63

## 東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部

建設業

従業員数  
300～

九州・  
沖縄

**TOSHIBA**  
東芝インフラシステムズ株式会社

### 入口ドアに室内の開口部深さを表示することによる安全意識の向上

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社  
業界・業種：建設  
従業員総数：約19,000人  
地域：九州

#### 背景（課題・ニーズ）

工事現場において、扉を開けた向こう側に開口部がある事は多く存在するため、入室する扉に注意喚起の表示を行っていたが、第三者も含め開口部に対する危険意識をより一層感じてもらう事が課題となっていた。

#### 取り組んだプロジェクト内容

電気室の入口扉やEPSの扉に安全標識を掲示し注意喚起することは行っていたが、より危険意識を持ってもらうため、開口部の深さを記載した。入室する際に「危険度合い」を数値的に把握することができ、墜落制止用器具などの保護具の着用の必要性を事前に認識させることができた。



#### やってみての効果

・電気室やEPSに入る前に開口部深さを数値として掲示することで、誰もが扉の先ほどの程度の危険が潜んでいるかの予備知識を得る事が出来る。作業員はもとより第三者に対する安全意識の向上について効果を実感でした。

64

## 東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部

建設業

従業員数  
300～

九州・  
沖縄

**TOSHIBA**  
東芝インフラシステムズ株式会社

### 落下防止網の取付による マンホール作業時の安全対策

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社  
業界・業種：建設  
従業員規模：約19,000人  
地域：九州

#### 背景（課題・ニーズ）

マンホール（ハンドホール）内での作業において、作業中は蓋が開いたままとなる。建設業における災害のうち、多くを占める落下事故を防止するうえで、安全対策を施してもなお落下防止に留意することが必要であった。

#### 取り組んだプロジェクト内容



マンホールの蓋に、**落下防止網**を用いて**転落防止措置を実施**した。

#### 【課題】

- ・作業の都合上、マンホール蓋が開いたままとなる。
- ・作業エリアを囲うなど安全対策を施しても、落下の危険性はゼロにはならない。

#### 【解決策】

- ・アンカーにより網目状の金属製内蓋をマンホール内に取付け、必要な時だけ開閉する仕組みとした。

#### やってみての効果

もし誤って足を踏み入れても絶対に落ちない構造となり、転落の可能性がゼロとなった。また、下に人が居る状態において、工具など物の落下も防止でき、安全対策の効果を実感できた。

#### 今後の目標や展望

今後も継続して、転落事故防止の徹底に努めます！

## 6. エイジフレンドリー部門





# ゴールド賞

## 株式会社サッポロライオン

1	飲食業	従業員数 300～	関東
---	-----	--------------	----

【資料作成例：エイジフレンドリー部門】



### ～エイジフレンドリーな 職場の実現に向けて～

事業者名：株式会社サッポロライオン  
業界・業種：飲食店  
従業員規模：約3000人  
地域：関東/東京

#### 背景（課題・ニーズ）

最近の調査で、60歳を過ぎても「働きたい」と考えている人が、全体の81.8%を占め、65歳を過ぎても「働きたい」と考えている人が50.4%を占めています。こんなリアルな数字を目にすることがありました。  
そんな現状の中、企業が**健康経営**に注力し、重要な働き手であるシニア雇が元気に長く勤め続けられるようになれば、スキルのある従業員の労働人口（経験に裏付けられた多くの知見と高度な能力・技能を持ちあわせた労働力として欠かせない存在）の減少を抑えることができるのでは...

#### 取り組んだプロジェクト内容

そこで・・・サッポロライオンでは、2022年度より主に60歳以上の再雇用者の方を対象に、「シニアの健康チェック」の取組みを開始致しました。今年で2年目に突入しております。

やはり、若い方に比べ筋力や敏捷性などの運動能力や視力・聴力の低下、また高血圧や糖尿病などの病気を持つ割合も高くなっているのは現実です。  
産業界の意見を聞きながら、毎年お誕生日に健康相談室にて対面orリモートにて「シニアの健康チェック」を実施しております

#### ★保健師さん健康チェック内容

- 1.健康診断結果・病気の治療状況の確認
- 2.自覚症状や業務上困っている点などのヒアリング
- 3.閉眼片足立ちテスト・5回立ち上がりテスト（体力チェック・転倒リスク評価として）
- 4.現場の聞き取り（他の従業員からみてどうか?!）
- 5.仕事の合同をみて実施しているので時間は長くても15分程度です。

#### やってみての効果

実際：実施している店舗スタッフより 言



飲食店各店舗の環境も限られており、今までなかなか顔を合わせてお話しする機会がなかった方々と対面やリモートを利用して、面談することで、治療状況の把握や体力面での不安、自覚症状などをお伺いし、注意いただきたい事項などお話しする機会ができました。元氣ハツツな方もいらっしゃれば、肩の痛みや膝痛などを抱えながらも業務を頑張っている方もいらっしゃいます。飲食店において立ち仕事は1日長時間にわたります。ホール業務、調理業務において筋力低下による転倒、判断力低下による切傷、火傷など、労働災害事故を招くことにも繋がります。  
また、他にも適正体重を維持する、栄養バランスの良い食事をとるなど、食習慣や食行動の改善などの相談にもなっております。ご自身の体の状況を再確認していただく機会になればと思います。



## ポイント

シニアの社員の方の体力の状況等のチェックと、体力の維持向上のためのきめ細やかな支援など、安心して働ける環境を整えられています。



シルバー賞

社会医療法人ペガサス

2	保健衛生業	従業員数 300～	近畿
---	-------	--------------	----



体力測定で健康促進に繋げる環境づくり

事業者名：社会医療法人ペガサス  
 業界・業種：医療福祉  
 従業員規模：300名～  
 地域：近畿

職員の健康増進と職場での高齢者を含めた労働安全と健康確保のために法人として何か取組みができないかと考え、堺市スポーツ推進課と一緒に職員向け体力測定会を開催

3日で214名（18歳～69歳）が参加し、職員の現在の体力状況の把握を行った。

「学生の時ぶりに体力測定を行い、楽しかった」「体力の無さを感じた」など、結果は色々でしたが、楽しく取り組んでいました。



休憩時間や退勤後に自由に利用できるトレーニングルームを開設し、運動できるように器具を整えました。



自発的に運動や筋肉トレーニングを行う職員が増えた。運動をするようになり、ご飯がおいしくなったと好評。トレーニングの効果検証ができるように年に1回体力測定会を継続して開催し、トレーニングの効果を確認する。今後、更なる取り組みにつなげてまいります。

ポイント

職員の方の体力チェックと体力向上の支援を行うことで、労働災害の防止につながられています。



# ブロンズ賞

## 東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部

3	建設業	従業員数 300～	北海道・東北
---	-----	--------------	--------

**TOSHIBA**

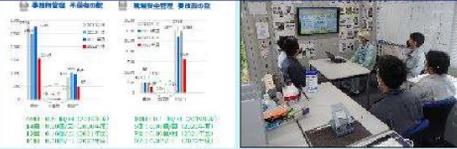
### 気づきを工夫に改善に！ 経験や年齢層を超えて創る安全職場

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部  
業界・業種：建設業・電機  
従業員規模：2,000人  
地域：北海道・東北/宮城

#### 背景（課題・ニーズ）

「安全パトロールの結果や統計」、「事故事例」から自職場を見直し、安全改善を日々推進している。その中でベテラン作業者やお客様（維持管理様）の目や脚部のエイジングに照準を合わせ、幅広い年齢層に適応する改善を行った。歩行中の改善は「階段からの滑落、露出電線管での躓き転倒防止」、施工中の改善は「見やすさ、確認しやすさ」を追求した。また、工事完成後の改善は、お客様が無意識に安全歩行が出来るように配慮した。改善内容は、稼働した全サイトから選抜した。

#### 「安全パトロールの結果や統計」「事故事例」から 安全対策を展開



#### 2. 歩行中「見やすさ、確認しやすさの追求」

- ・風車と吹き流しを取付け（排気状況が一目瞭然）
- ・滑り止めテープの両端に蛍光テープ（範囲の明確化）
- ・プラスチック製丸札に刻印文字（文字の鮮明化）

#### 3. 維持管理「無意識に安全歩行」

- ・地面上の基礎に歩廊を取付け（安全歩行）
- ・支持材の角にクッション材（接触防止）
- ・床面の電線管を天井敷設に変更（躓き防止）

#### 1. 歩行中「滑落・躓き防止」

- ・段数をカウントしながら下りる
- ・電線管にクッション材（視認性向上）

## ポイント

安全パトロールの結果や事故・ヒヤリハット事例から、高年齢の方の労働災害のリスクを見積もり、リスクを低減させる様々な対策を展開されています。

北海道・東北ブロック賞



4

株式会社 ササキ 宮城本部

製造業

従業員数  
100~299

北海道・  
東北

【資料作成例：安全な職場づくり部門】

**SASAKI** かご台車の改善による高齢者の作業性向上

事業者名：株式会社ササキ  
業界・業種：製造  
従業員規模：-  
地域：東北/宮城

背景（課題・ニーズ）

- ON / OFF 表示の見誤りによるロック忘れ、その要因からくる誤作動への影響
- 表示確認時に文字が見えにくい為、中腰・しゃがみ込みでの確認作業によるケガや作業効率への影響

やってみての効果

- ON が識別で判断できるためロック忘れが減少し、取扱効果で誤作動防止にも繋がった  
◎品質パトロール時の指摘減少 改善前3件→0件(返1回)
- ストレスのかかる体勢での確認が減少し、表示の判断を即座にできるため作業効率も上がった  
◎怪痛、関節痛の声(かご台車時) 改善前10件→改善後0件

今後の課題

かご台車を使用することは製業には当たり前の事でもある為、情報戻はしっかりと行い各工程での作業効率に繋げていきます。また、かご台車での課題点他にも漁々ある為、問題を洗い安全に使用できる環境作りを継続して取り組んでいきます。

取り組んだプロジェクト内容

従来のタイプ

- ON / OFF が見えにくい
- ※立った状態だと刻印が見えにくい  
陰になる・薄暗い場所だと余計見えにくい



現在のタイプ

- ON / OFF が色で判別できるように蛍光赤色に塗装
- 高齢者他でもストレスなく即座に作業できるようにした



関東ブロック賞



5

清水建設株式会社 東京支店

建設業

従業員数  
300~

関東



いつまでも元気に働くために！

[ 高齢作業員のリスクを認識してもらう為、そして健康維持の為のポスターを作成し、作業場に掲示 ]

事業者名：清水建設(株) 東京支店  
業界・業種：建設業  
従業員規模：2,249人(東京支店)  
地域：関東/東京・埼玉・茨城・栃木・群馬・長野・山梨

背景（課題・ニーズ）

建設業の就業者は年々減少しており、若年層の建設業離れが顕著であるため、他産業に比べ高齢化が進んでいる。そのような状況の中、高齢作業員の技術や知識・経験は重要であり、引続き必要な人材として働いていただく為高齢作業員のリスクを見極める必要がある。

取り組んだプロジェクト内容

高齢作業員は「身体機能の低下」により、怪我や事故の「リスクが高く」なる。「どのような機能がどれくらい低下する」のか、機能が低下することによって「どのようなリスクが増す」のかを、**高齢作業員**の方々自身に自覚して頂き、**事業者と一緒に働く仲間が高齢作業員への配慮や適正配置**を行なえる様に、「**分かり易いポスター**」にして掲示（デジタルサイネージでの発信も含み）し、「**気をつけて欲しい**」事を含めて周知すると共に、注意喚起を図った。また、作業所を統括管理する**元方事業者**（当社担当者）に、どのような**安全管理**が必要なのかを**再認識**してもらうことも、「もう一つの目的」としている。

やってみての効果

高齢作業員の方々自身の、「身体機能低下への認識」や「リスクに対する意識の高揚」が見られるようになった。また協議会などの連絡調整の場での、「作業場の照度確保等の**作業環境改善の意見**」が、以前より活発に出される様になった。また当社職員を含めた「若手の方々」にも、高齢作業員への気遣いが見られるようになった。

いつまでも元気に働くために！

高齢化による危険に対する機能の低下と、それによって増えるリスクを視覚的にわかりやすく示した。

体調管理、健康管理について、注意してもらいたいことを示した

東海・北陸ブロック賞



6

株式会社バンブー苑

建設業

従業員数  
10~29

東海・北陸

造園業者が開発した 身体能力テスト  
フィールドワークポテンシャルテスト

事業者名：株式会社バンブー苑  
業界・業種：建設業  
従業員規模：10-29  
地域：東海・北陸

**実際に測って調べれば良いじゃないか**

2-4は筋力（負荷がかるると業務に必要） 負荷ストレス

5-8は柔軟性（並行作業の可塑性） 背骨リスク

9-11は持久力（長時間作業） 回復能力

12-13は身体感知（自分の体の形状・位置認知） 視力・書き込みミス

14-15は記憶力（説明を聞いても覚えられないもの） 連絡能力

17-18はバランス（荷物を持って歩く、階段、姿勢） 配置の制限

**課題発見のきっかけ**

建設現場への新規入場では、血圧・年齢をチェック 一意味ある？  
草取りのおばさんは70歳でもできているのに・・・  
自社の女性現場作業員は木にも登る職人になっている。なぜ普通にはできないのか？

**取り組んだ結果**

実際に社内で測定すると、お互いの違いに驚いた  
重いものを運ぶときには手伝わすという優しさが生まれた  
そして、何より学生の憤りを思い出して楽しかった

**サービスを販売することにした**

宮城県仙台市 清掃業者様  
高年齢が強いが、業務によってから身体能力が良い人がいて驚いた。  
特徴が強い人は本当に少なかったことが分かって良かった。楽しかったです

茨城県笠岡市 製造業者様  
外国人従業員もいて、同じようにテストできる心配があったができた  
高齢者が少なかったので年齢的に良い評価が多かった

大阪府和泉市 小売業者様  
出向業務を行う従業員に実施したが、若くても課題が見つかった人がいた  
ことは意外だった

**社会情勢と課題**

高齢従業員の事故は会社が叩かれる  
一人手不足なのに高齢者採用に手を出せない  
今後、年金支給開始年齢が高齢化の方向  
働かないと食っていけない・・・

**結論、身体能力測定は**

企業にも従事者にも良い  
企業は責任を担い、管理職に委ねる。  
従業員は今の自身を知る事ができる

そして日本の社会にも良い  
人手不足、労働環境のミスマッチの解消の第一歩としての業務

九州・沖縄ブロック賞



7

オムロン太陽株式会社

製造業

従業員数  
50~99

九州・沖縄

【資料作成例：エイジフレンドリー部門】

**OMRON 高齢者を含む多様性を考慮した健康経営**

背景（課題・ニーズ）

少子化が進む現在、障がいのある人による戦力化のほか、経験度の高い高齢者の戦力化が必要となっている

取り組んだプロジェクト内容

高齢者を含む多様性を考慮した（障がい者、高齢者）健康経営を行っており、業務改善もあるが、だれもが参加できる健康に関するイベントを実施。

①オムロングループ全体で取り組む健康経営「健康づくりを加速する」で、Boost5.。これに参加・・・FIG1 ②自身の血管年齢を知って、健康活動活性化 1回/年実施・・・FIG2  
③健康弁当（1食の塩分3%以下）を提供し、塩分 控えめの食事を提案 1回/年・・・FIG3 ④Eスポーツとしてボーリングゲームで体を動かす！を実施 1回/年・・・FIG4  
⑤リアルスポーツとして風船バレーで、だれもが参加して楽しむ！ 22年度・・・FIG5

**Boost 5 3つの目標**

1. 健康：週に3回以上の運動実施  
2. 栄養：1食あたり1食塩分3%以下  
3. 健康：BMI値を25未満に維持  
4. メンタルヘルス：精神状態ストレスを  
うきく付合わせ  
5. 生活習慣病リスク：6時間以上8時間未満の  
睡眠時間をもとに会社定員！

2022年度 血管年齢スコア			
性別	血管年齢	チェック値	1022点未満
男性	21-30	5	4%
女性	11-60	14	72%
のべ人数	21-40	4	8%
改善目標へ	0-20	5	6%
計		41	

FIG1

FIG2

項目	A	B	C
1. 健康	週に3回以上の運動実施	週に3回以上の運動実施	週に3回以上の運動実施
2. 栄養	1食あたり1食塩分3%以下	1食あたり1食塩分3%以下	1食あたり1食塩分3%以下
3. 健康	BMI値を25未満に維持	BMI値を25未満に維持	BMI値を25未満に維持
4. メンタルヘルス	精神状態ストレスをうきく付合わせ	精神状態ストレスをうきく付合わせ	精神状態ストレスをうきく付合わせ
5. 生活習慣病リスク	6時間以上8時間未満の睡眠時間をもとに会社定員！	6時間以上8時間未満の睡眠時間をもとに会社定員！	6時間以上8時間未満の睡眠時間をもとに会社定員！

FIG3

FIG4

FIG5

やってみての効果

「当社は、床のフラット化など、車いすなど障害を持った方の安全配慮を進めていたが、結果として、高齢者にとっても安全な職場となっている。そこで、健康経営として、健康に関してイベントを開催。約8割ほどの参加をいただくなど関心を持ってもらえた。おかげさまで、現在のところ、病気、腰痛、転倒など災害となる事象は出ていない。

今後の目標や展望

イベントによって、健康に関心を持ってもらうだけでなく、さらなる健康につながる行動になるような仕掛けも検討、実施したい。

九州・沖縄ブロック賞



8

オムロン太陽株式会社

製造業

従業員数  
50~99

九州・  
沖縄

【資料作成例：転倒災害防止部門】

OMRON 多様な人が働く職場での転倒防止

事業者名：オムロン太陽株式会社  
業種・業種：製造業  
従業員規模：81人  
地域：九州/大分

背景（課題・ニーズ）

歩行困難な人や高齢の方が働く職場では転倒が起こりやすいため、転倒防止の環境を整える必要がある。

取り組んだプロジェクト内容

リスクアセスメントや想定合むヒヤリハット、職場巡回と、現場から、転倒になりうる危険源を特定。1つづく改善を実施

1. 全館がフラットな構造。例：玄関の下履きと上履きの境界の設置ゼロ。タイルやマットの色で区分。FIG1
2. スリッパによる転倒防止のため、フロアマットの活用
  - ①従業員出入口に高性能マット、雨天時の雨水溜り込みによるスリッパ防止。FIG2
  - ②トイレ内の手洗い傘による水気によるスリッパ防止。FIG3
3. 階段利用での転倒、転落防止
  - ①手すり利用の指図と表示。FIG4
  - ②段差を数字で視覚化。FIG5
  - ③衝突による転倒防止のアラートの設置。FIG6



FIG1



FIG2



FIG3



FIG4



FIG5



FIG6

やってみての効果

- 転倒災害はゼロゼロ、両手が濡れる場合のエレベーター利用を推奨しているが、適用して使えない場合があるため、エレベーター利用を推奨する表示を追加した。
- 通見学のお客様が転倒しないように、見学の履物もノンスリッパで押のある履物に変更していただいた。転倒防止について意識向上が見られるようになった。



今後の目標や展望

階段掃除は、上から下へと行うが後ろ向きで下がり危険なため下から上にルール変更を依頼。このように非定常時などのリスクについても特定して改善を進める。



## 7. 企業等間連携部門





# ゴールド賞

## イオンリテール株式会社 × 日本理学療法士協会

1	小売業ほか	従業員数 300～	関東
---	-------	--------------	----

### イオン1分間体操の実施

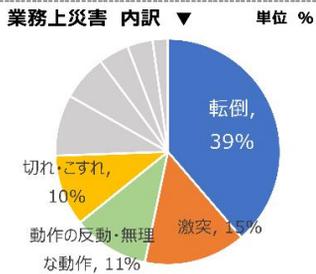
所属省名：イオンリテール株式会社  
業界・業種：総合小売業  
従業員規模：11万8千人  
地域：全国



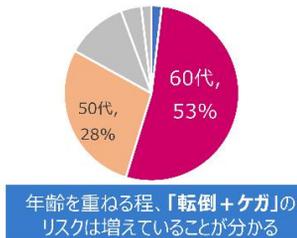
当社の労働災害は2021年を境に増加に転向しました。

中でも転倒災害は小売業全体で増加傾向となり、当社でも同じように増加傾向となりました。そこで、(公社)日本理学療法士協会様、イオン(株)と連携・監修して頂き、小売業の働き方や就業環境、働いている人の特徴を計測した上で改善に取り組みました。

#### ■休業4日以上災害事故の型分類



#### ■転倒の年代別内訳 ▼



#### ■改善スケジュール

体力測定会実施 → 測定結果からテーマ別セミナー・個別相談会実施 → 測定結果から体操を立案 → 体操の導入・効果検証

#### 40代以上の従業員の体力測定結果

片脚起立 (40cmから立ち上げはなし) 47% (227名/486名)

閉眼片脚立位 (5秒以下) 57% (274名/486名)

両方に該当する方は全体の32% 転倒リスク高い

40代以上の従業員の約3割に下肢筋力・姿勢保持力低下がみられた

#### 転倒・腰痛予防セミナー & 個人相談会のご案内

転倒・腰痛予防セミナー & 個人相談会のご案内

■セミナー 転倒・腰痛予防セミナー (1時間) (毎月1回)

■セミナー 個人相談会 (1時間) (毎月1回)

テーマは転倒・腰痛予防

#### からだ 軽やか〜 1分間体操

同日出勤時間の人たちと一緒に実施

#### ■実施 検証結果

23年度 転倒災害発生件数292件 (同規模昨年対84.1%)

『1分間体操』を実施しなかった者と比べて、実施者では転倒歴のある者が約12%低下するなど、転倒労災リスクが軽減する可能性が示された



#### その他にもこんな効果が!!

一緒にやろうとコミュニケーションの場に!

より笑顔で売り場へ!

## ポイント

企業と転倒災害等の防止に関する専門家集団とが連携して、体力チェックや転倒予防体操等を導入し、転倒リスクの低減を図られています。



# シルバー賞

## ANAホールディングス株式会社 × 有限会社マスターピースコンソート

2	運輸業ほか	従業員数 300～	関東
---	-------	--------------	----



### ピラティスの要素で「正しい身体の使い方」を学ぶ！



事業者名：ANAホールディングス株式会社  
 業界・業種：運輸  
 従業員規模：連結従業員数 40,507名 (2023年3月31日現在)  
 地域：関東/東京

【背景（課題・ニーズ）】

アフターコロナの生産量回復に伴い、空港や機内で働く社員を中心に腰痛をはじめとする労災等の件数が増加していることから、外部講師として業務委託をしているピラティスマスタートレーナー監修のもと、動画コンテンツを作成・配信した。

【取り組んだプロジェクト内容】

①ピラティスの要素に基づき、基本的な立ち姿勢や歩き方から学べる動画コンテンツを作成。併せて、日常的に「〇〇しながら」取り組める体操を考案し、「エスカレーターを使ってふらはぎ伸ばし」「電車で座りながらも伸ばし」「スマホを見ながら鎖骨ほぐし」など、5分以内で手軽に実践できる身体づくりプログラムを設計し、配信した。  
 ②空港・機内で働く社員特有の動きに焦点を当て、「正しい身体の使い方」を指導する動画を作成した。業務上の日常的な動きにおいて、腰痛防止のために意識すべきポイントを動画で解説している。また、業務の隙間時間に簡単に取り組むことが出来るストレッチなどを実践することでケガをしない身体づくりに取り組んでいる。

**本日の30分セミナーの流れ**

- 1: 身体の正しい動かし方の意識を知る
- 2: 負担のかりにくい動作と負担のかりやすい動作の違い
- 3: 機内で出来る簡単30秒「セルフケア」

**NGポイント**

- ・骨盤を前にスライドさせる
- ・上を見る

**腰を丸める⇒腰を反らすの流れがNG**

OHSへの手荷物収納 OKな姿勢

※OHS=座席上の手荷物収納スペース

【やってみての効果】

これまで毎日当たり前に行っていた動作に対して「正しく身体を使う」という気付きを得ることで、身体の動かし方を日常的に意識する習慣が身につく、安全かつ健康に働くことができる環境づくりに繋がっている。

【今後の展望】

航空会社のみならず、取引先や社外関係者などにも、「座りながら」の打ち合わせの機会を活用して「正しい身体の使い方」の行動化を促すことでこの取り組みの実践対象範囲を広げていきたい。

テーマ：お家で食事中座りながらの尻伸ばし編

座りながらできる

同じ姿勢のまま食事をしている方が多いと思います。



## ポイント

企業と腰痛災害等の防止に関する専門家が連携して、怪我の防止に効果的な体操等を開発し実践することで、労災リスクの低減を図られています。



## ブロンズ賞

シャープ株式会社  
× UNTRACKED株式会社/  
株式会社ユーフォリア

3

製造業ほか

従業員数  
300～

近畿

SHARP

### 転倒リスク計測・予防セミナー ～運動へのきっかけを作り、コケない身体づくりへ～

事業者名：シャープ株式会社  
業界・業種：製造業  
従業員規模：約18,000名（国内連結）  
地域：近畿/大阪

#### 背景（課題・ニーズ）

厚生労働省の調査によると、転倒で最も多い原因が「何もないところ/足のもつれ」によるものであり、また、運動習慣がない人のうち、男性で45%、女性で38%の人が「改善するつもりはない」と回答している。このことから、当社では転倒予防のためには従業員自身の意識改善から必要だと考え、運動に取り組むきっかけを作り、転倒しない身体づくりを行ってもらうための施策に取り組んだ。

#### 取り組んだプロジェクト内容

##### ① 転倒リスク計測会を実施し、“自己認識”する

1分で身体・感覚機能から転倒リスクを計測するシステム<sup>※</sup>を活用し、50代以上を中心とした従業員計300名を短期間で計測。結果レポートでは転倒リスクをランクと推定年齢で可視化。転倒を自分ゴト化し意識を高めることができた。

##### ② 計測会後にセミナーを実施し、コケない身体づくりへ取り組み

転倒予防の意識付けの講義に加え、参加者全員でできる簡単な運動を実施<sup>※</sup>。各自の計測結果に応じた1日10分のできるトレーニングを作り、動画サイトから提供。家や仕事場で運動を行ってもらうよう働きかけた。

※株式会社ユーフォリアと協力



#### やってみての効果

実施後のアンケート結果（回答数：121名）では、  
・運動習慣<sup>※1</sup>がない人の約76%が「日々の運動に取り組もうと思う」、約79%が「セミナーに満足」と回答<sup>※2</sup>  
・数日化されていると目標になる、定期開催をしてほしい、職場で運動実施しているなどの反響  
⇒今回の取り組みで運動を習慣化させるための行動変容を起こすことが出来た

※1 運動習慣：1日30分以上の運動を2日以上実施し、1年以上継続（厚生労働省「国民健康・栄養調査」参照）  
※2 5（そう思う）～1（そう思わない）の5段階評価で、5.4と回答した割合。なお、「日々の運動継続あり」で2.1と回答した割合はわずか約5%のみ

#### 今後の目標や展望

現在、運動の継続率及び改善プログラムによる転倒リスク低減の効果を検証中(23年12月末に完了予定)。会社での定期的な計測・改善の実施に取り組み、社内だけでなく全国の転倒予防に貢献したい。

## ポイント

企業と専門的なサービスを提供される企業が連携し、テクノロジーを活用して社員の転倒リスクを見える化・気づきを促し、転ばない身体づくりを促進させることで、転倒リスクの低減を図られています。



# ダイヤモンド賞

一般財団法人サンスター財団  
× 株式会社ルネサンス

4	製造業ほか	従業員数 300～	近畿
---	-------	--------------	----

## SUNSTAR

転倒災害リスク低減を目指して！  
(株)ルネサンス様と新しい体操を開発！

事業者名：一般財団法人サンスター財団  
業界・業種：その他・製造業  
従業員規模：約1,600人  
地域：近畿/大阪

### 背景（課題・ニーズ）

サンスターループの従業員の平均年齢は年々高くなりつつあり、安全衛生上の課題である転倒労災が近年増加しており問題でした。転倒災害の発生件数は2018年8件、2019年5件、2020年4件あり、転倒予防の施策が求められた。

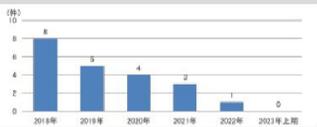
### 取り組んだプロジェクト内容

2021年7月にスポーツクラブを運営する(株)ルネサンス様、健康運動指導士の監修のもと転倒リスクの低下を目的とした「サンスター体操」を開発しました。業務開始前に「サンスター体操」の動画・音楽を各事業所で流したり、テレワークの従業員にはオンラインでも参加できるようにしています。



### やってみての効果

サンスター体操導入後は、転倒災害は減少傾向にあり、2023年上期(1～6月)は0件となりました。



### 今後の目標や展望

現在「サンスター体操」の実施率は6割程度と高くなく、実施率を上げる取組みを継続して参ります。また、従業員の転倒予防のための体力を認識してもらうための体力測定を実施して参ります。その結果、従業員の転倒災害の発生を年0件を目指します。

## ポイント

法人とフィットネス企業とが連携して業務内容とマッチしたオリジナルの転倒予防体操を開発・現場導入し、転倒リスクの低減を図られています。



# パール賞

一般社団法人大垣労働基準協会  
×大垣ミナモソフトボールクラブ

5	その他	従業員数 1~9	東海・北陸
---	-----	-------------	-------



キャラクター【コロバン】

**2023 西濃 STOP! 転倒災害プロジェクト**

わたしたちは 転倒災害ゼロを目指す企業を応援します!

大垣労働基準監督署 (一社)大垣労働基準協会 大垣ミナモソフトボールクラブ

事業者名：(一社)大垣労働基準協会  
業界・業種：地域の全業種  
従業員規模：249事業場(参加宣言)  
地域：東海北陸/岐阜県(西濃地域)

---

**背景(課題・ニーズ)**

3年連続で西濃地域(当協会管内)の労働災害が増加。全ての業種の共通課題「転倒災害防止」をテーマに、地域あげての取組を展開する

取り組んだプロジェクト内容 **行政と協会、地域企業が協同で支えるクラブチーム「大垣ミナモソフトボールクラブ」が力をあわせて!**

**参加宣言呼びかけ ⇒ プロジェクトプレーボール集会 ⇒ 249事業場の参加宣言 ⇒ 1日労働基準監督署長 ⇒ ゲームセット集会**

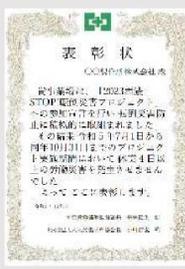
**取組事例集の配布 研修&クラブ選手による始球式 参加事業場にポスター配布 クラブ選手が職場巡視 無災害事業場表彰**











**やってみての効果**

- ・10月末現在で地域の転倒災害は前年同月比25件(26.5%)減、労働災害全体でも171件(34.7%)の大幅減少を達成!
- ・参加宣言事業場から「職場での転倒災害の意識付けが進んだ」との声が多くあり、中には「『プロジェクト期間なんだから』と言って不安全状態や不安全行動への声かけや自主的改善が進んだ」との声もあった。

## ポイント

地域の企業がスポーツチームと連結しつ一つ丸となって転倒災害などの防止の啓発に取り組まれています。地域全体で労働災害防止にコミットされています。

関東ブロック賞



6 株式会社ケーズホールディングス × 株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント 小売業ほか 従業員数 300～ 関東



労働災害防止のための体づくり&運動習慣のきっかけづくりイベントの開催

事業者名：株式会社ケーズホールディングス  
業界・業種：商業  
従業員規模：300～  
地域：関東

背景（課題・ニーズ）

腰痛や転倒などの労働災害を防止するためには、正しい作業動作や姿勢、手順等の教育が大前提ですが、加えて従業員の「労働災害を起こさない体づくり」を行う必要があると考え、従業員の筋力アップと運動習慣のきっかけづくりを目的とした、楽しく参加できるイベントの開催を企画しました。

取り組んだプロジェクト内容

男子プロバスケットボールB.LEAGUEの茨城ロボッツ様から、ストレンクス&コンディショニングコーチ大塚健吾様と中村ジャズ選手を講師としてお招きし、ストレッチや筋力トレーニングなどのエクササイズを従業員向けに開催しました。  
イベントはオンラインでライブ配信を行い、多数の従業員が参加しました。  
※当日参加できなかった従業員向けに、アーカイブ配信も行いました。



やってみての効果

従業員からは「気持ちよく運動できた」「休憩の時など仕事の合間にもできる」「普段運動していなかったのをこれをきっかけに毎日やってみよう」等の感想がありました。労災防止のためには、普段からケガをしにくい体づくりが大切であることを楽しく学ぶことができ、あわせて運動習慣の意識向上に繋がりました。

今後の目標や展望

従業員を一番に大切にするという経営方針のもと、従業員の健康保持や増進に向けた取組みを積極的に推進し、従業員が健康で楽しく働ける会社作りに取り組んでまいります。

関東ブロック賞



7 生活協同組合ユーコープ × UNTRACKED株式会社、神奈川労働局、神奈川県、横浜市 小売業ほか 従業員数 300～ 関東

【企業等間連携部門】



地域保健と職域保健の連携に基づく骨健康度測定会開催

事業者名：生活協同組合ユーコープ  
業界・業種：小売業  
従業員規模：約6,500名  
地域：神奈川県、静岡県、山梨県

目的・背景

「職場」において転倒災害が高水準で推移していること及び「地域」においても高齢化の進展により転倒事故が増えていることを踏まえ、それぞれの課題である「転倒」を主眼として、行政と民間企業が連携・協力し、従業員及び地域の住民を対象とした骨健康度測定会を開催することで、転倒しない又は転倒しても怪我をしないような健康づくりの促進を図ります。

取り組んだプロジェクト内容

<取り組み内容>  
骨健康度測定会を開催し、骨健康度の測定結果に基づき、横浜市から派遣された保健師や栄養士から保健栄養指導を行いました。また、UNTRACKED（株）様による転倒リスク可視化装置体験を行いました。（神奈川労働局、神奈川県からは事前準備、当日の運営に参加）  
<開催概要・当日参加者>  
日 時：2023年10月13日（金）11時～14時  
場 所：ユーコープ ハーモス荏田店（横浜市） 店内  
参加者：店舗従業員34名、店舗利用者43名。



骨健康度測定

保健栄養指導

転倒リスク可視化装置の体験

評価

・骨密度改善に向け具体的な運動や栄養について知る機会となり、従業員の健康保持増進意識の向上、労災の予防啓発につながりました。  
・地域利用者からも「保健師や栄養士から保健栄養指導を受けることができ良かった」との声が寄せられ、地域での健康増進、ヘルスリテラシーの向上につながりました。

今後の目標や展望

ユーコープは、持続可能な地域社会づくりに向け、継続して地域・行政・諸団体と協同して参ります。また、職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境を構築していきます。

## 関東ブロック賞



8	ミカサ金属株式会社 × 株式会社ユーフォリア	製造業ほか	従業員数 50~99	関東
---	---------------------------	-------	---------------	----

**現場従業員の体調のヒヤリハットを防ぐ！  
ミカサ金属様におけるフィジカルサポート革命**

事業者名：株式会社ユーフォリア  
業界・業種：情報通信業  
従業員規模：50~99名  
地域：関東/東京

**実施背景**  
ミカサ金属様の課題

- 過去、優秀な現場従業員がぎっくり腰のために営業に異動 = **中小規模企業としては大きな損失** + **本人の働きがいの喪失**
- “労災として顕在化していなくても”不調は何かしら抱えているはずで、不調の見える化・悪化予防に着手したい

**取り組み内容**

アスリートが実践するコンディショニング管理術を応用した「ウェルネスプログラム（今回は肩こり腰痛対策）」をミカサ金属株式会社（大阪/製造業）様へ導入

実施した内容（2ヶ月間 | 2工場・81名）

体調の見える化

専用アプリを用いた  
コンディショニングの見える化  
+ 専門家からのアドバイス

現場作業の遂行に必要な  
身体機能を評価  
(柔軟性、筋力、バランス能力 etc.)

改善アクション

個別のコンディショニングや  
不調に合わせた  
エクササイズ動画提供

月1回専門トレーナーを  
派遣し個別指導を実施

結果

肩こり改善実感

73%

腰痛改善実感

68%

生産性向上実感

52%

ご担当者様 (社長)

毎日の簡単な運動だけで、身体機能の評価結果も向上したのは驚きました。「カラダの調子が良くなり、生産性が向上した」という声もあり、経営としては大満足です。

▶▶▶ 今後の展望
「年間を通じたプログラムの継続実施」 + 「投資対効果の検証」 → **労働寿命の延伸** + **人手不足解消**・**業績UP**の実現

## 近畿ブロック賞



9	株式会社名古屋銀行 × ミズノ株式会社	金融業ほか	従業員数 300~	近畿
---	------------------------	-------	--------------	----

**名古屋銀行様との  
行員様 & お得意先様の健康応援の取組**

事業者名：ミズノ株式会社  
業界・業種：製造  
従業員規模：3,421人  
地域：近畿/大阪

【資料作成例：企業等間連携部門】

背景（課題・ニーズ）

名古屋銀行様とミズノは、行員の皆様、および、お取引先の皆様の健康増進のため、スポーツフェスを開催。その中で、加齢要因の転倒リスクと関連がある「歩行速度・歩幅」の測定や、日常に運動を無理せず取り入れる「ながら運動講習会」等、様々なイベントを実施した。

取り組んだプロジェクト内容

<経緯>  
ミズノでは、働き世代の健康増進のため、運動を切り口にした様々なプログラムを提供しており、昨今は特に「歩行」に着目し、歩行をスポーツの視点から分析。加齢要因のつまづき・転倒リスクと関連がある「歩行速度・歩幅」を出張で簡単に測定できるシステム【Motion DNA】を開発した。  
名古屋銀行様は、コロナ禍で社内外の対面コミュニケーションに課題を持っており、健康への意識づけをキーワードに、社内外のコミュニケーションが活性化されるようなスポーツフェスを企画。働き世代が自身の健康・歩行に興味を持つきっかけとして、Motion DNAをイベントにて実施いただいた。

<参加者>  
行員様とご家族、お得意様とご家族がご参加。うち、Motion DNA測定にて約270名の方を計測。

やってみての効果

アンケートでも「とても有意義だった」「歩行にも能力など色々あると知った」等の声をいただき、働き世代の方が「歩く力」に目を向けるきっかけとなった。

今後の目標や展望

スポーツ分野で培った技術を生かし、今後も働き世代の健康課題を解決する技術を開発する。特に歩行においては、①若年層やプレシニアのうちから歩行に目を向ける ②弱っている方を早期スクリーニングする ③個々の歩きの特徴に合わせた運動指導をする という発見〜改善までの流れを確立させる。

Motion DNAの詳細説明はこちらのHPへ

85

10

大洋建設株式会社  
× 横浜市戸塚土木事務所

建設業ほか

従業員数  
100~299

関東



当社は『感動と好奇心』を大切にした  
自づくり・入づくりの会社です

【地域との連携事例】

ハマロードサポーターへの参加

ハマロードサポーターとは？

市民や地元企業などからなる自主的に構成されたボランティア団体が、土木事務所との連携により身近な道路の清掃・美化活動を継続的に行うもの。

- 👉 活動は月に1回！会社周辺を見回り清掃活動を行い、街の美化に努めています。
- 👉 本活動を通し、街の美化はもちろんのこと、危険察知も行き、住みやすい街づくり活動を行っています！



事業者名 : 大洋建設株式会社  
業種 : 建設業  
従業員規模 : 124名  
地域 : 神奈川県

11

東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部 × 自治体、同一機場内の関係企業

建設業ほか

従業員数  
300~

九州・  
沖縄



VR機器を使用した関係者を含めた機場全体での安全体感教育を実施

事業者名：東芝インフラシステムズ株式会社  
業種・業種：建設  
従業員規模：約19,000人  
地域：九州

背景（課題・ニーズ）

数年前より、作業現場における安全教育の質向上を目的とし、作業員に対してVR機器を用いた安全体感教育を実施している。危険行為や事故による被災を疑似体験疑似体験することで安全に対する意識が一段向上する事が分かった。そこで、当社作業員のみならず、監督員を含めたお客様や、同一機場内でプラント設備を運転する作業員の方々も参加いただき、機場全体の安全活動を実施した。

取り組んだプロジェクト内容

座学による安全教育を実施をVR機器を使った体感教育に変えたが、当社作業員向けの安全教育であった。



・当社作業員以外のお客様や機場内の関係者に対しても、VR機器を用いた安全体感教育へ参加を呼びかけ、多数参加頂いた。  
2022年度～2023年度で計10回（9自治体）実施し、149名に参加頂いた。



やってみての効果

仮想空間で実際に作業をしている環境に居ながら、事故などの被災を疑似体験ができるため、座学や動画視聴による教育より学習効果が高いことが分かっていった。今回の取り組みとして、お客様や同一機場内で作業する方々にも参加していただいた。安全意識の向上に繋がるコメントを多くいただき、当社だけでなく、関係者も含めた機場全体での安全活動として効果を実感できた。